

平成 20 年版

事業概要



財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 財団法人広島原爆障害対策協議会(略称「広島原対協」)の概況

| | |
|-------|---|
| 1 目 的 | 1 |
| 2 事 業 | 1 |
| 3 沿 革 | 1 |

II 組 織

| | |
|-------------------|---|
| 1 広島原爆障害対策協議会の組織図 | 6 |
| 2 役 員・評 議 員 | 6 |
| 3 職 員 | 7 |

III 施 設

IV 平成20年度事業計画

| | |
|-----------------------|----|
| 1 被爆者の健康管理事業 | 9 |
| 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業 | 10 |
| 3 被爆者の援護福祉事業 | 10 |
| 4 高齢者医療確保法等による健康診査事業 | 11 |
| 5 健康増進事業 | 12 |
| 6 健康教育事業 | 12 |
| 7 広島市健康づくりセンターの管理運営 | 12 |
| 8 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力 | 13 |

V 予 算

| | |
|------------|----|
| 1 平成20年度予算 | 14 |
| 2 予算の推移 | 15 |

VI 平成19年度事業実績

| | |
|------------------------|----|
| 1 健康診断事業 | |
| (1) 被爆者健康診断 | 16 |
| ア 被爆者一般・精密検査の実施 | 16 |
| イ 平成19年度被爆者一般・精密検査実施状況 | 17 |
| ウ 被爆者がん検診等の実施 | 23 |
| エ 平成19年度被爆者がん検診等実施状況 | 24 |
| オ 原爆被爆者二世健康診断の実施 | 31 |
| (2) 老人保健法健康診査等 | 32 |
| ア 老人保健法健康診査等の実施 | 32 |
| イ 平成19年度老人保健法健康診査等実施状況 | 33 |

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 2 | 被爆者の健康管理に関する調査研究事業 | |
| (1) | 調査研究の実施 | 43 |
| (2) | 第48回原子爆弾後障害研究会 | 43 |
| (3) | 被爆者健康診断資料の収集整理と活用 | 43 |
| (4) | 検診結果の統計処理 | 43 |
| (5) | 文献の収集及び資料の刊行 | 43 |
| 3 | 被爆者の援護福祉事業 | |
| (1) | 被爆者相談 | 44 |
| (2) | 被爆者の援護措置 | 44 |
| (3) | 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営 | 45 |
| 4 | 健康増進事業 | 48 |
| 5 | 糖尿病予防対策事業 | 51 |
| 6 | 健康教育事業 | 53 |
| 7 | 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力 | 55 |
| 8 | 平成19年研究業績 | 56 |

VII 資 料

| | | |
|---|-------------------------|----|
| 1 | 年賀寄附金配分金による実施事業 | 59 |
| 2 | 日本自転車振興会補助金による実施事業 | 60 |
| 3 | 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業 | 60 |
| 4 | 広島県補助金による実施事業 | 61 |
| 5 | 広島市補助金による実施事業 | 62 |
| 6 | 日本高等学校教職員組合等からの寄付金 | 63 |
| 7 | 全国から寄せられた寄付金 | 64 |
| 8 | 核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品 | 68 |
| 9 | 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品 | 68 |

I 財団法人広島原爆障害対策協議会（略称「広島原対協」）の概況

1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び治療の対策並びに原爆障害者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆障害者の治療の研究及び原爆被爆生存者の実態調査
- (3) 原爆被爆者の生活相談及び生活援護並びに原爆障害治療に必要な援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの管理の受託
- (5) 原爆被爆者の健康診断その他の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始した。

| | |
|-------------|---|
| 昭和 28 年 1 月 | 「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置 |
| 昭和 29 年 1 月 | 被爆者の合同診察を開始 |
| 2 月 | 原爆障害者の実態調査を実施 |
| 10 月 | 事務局を広島市民病院内に移設 |
| 昭和 30 年 5 月 | 原爆乙女 25 名の渡米治療に協力 |
| 昭和 31 年 4 月 | 「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可 |
| 9 月 | 原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設 |
| 昭和 32 年 9 月 | 第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞 |
| 昭和 33 年 2 月 | 原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始 |
| 11 月 | お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定 |
| 昭和 34 年 6 月 | 第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 36 年 4 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成 |
| 5 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設 |
| 6 月 | 第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 7 月 | 被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始 |
| 8 月 | 『広島原爆医療史』を発刊 |

| | |
|--------------|---|
| 昭和 38 年 10 月 | 「広島原爆被爆者健康管理所」を開設 |
| 11 月 | 第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 39 年 3 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成 |
| 9 月 | オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃集団検診を開始 |
| 昭和 40 年 10 月 | 第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊 |
| 昭和 42 年 5 月 | 精密健康診断車(ひかり号)を購入 |
| 6 月 | 日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始 |
| 昭和 43 年 7 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成 |
| 10 月 | 第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 11 月 | 自動分析機(オートアナライザー)を設置 |
| 昭和 44 年 2 月 | 日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成 |
| 3 月 | テレビジョン X 線カメラを設置 |
| 8 月 | 勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊 |
| 昭和 45 年 4 月 | 子宮がん検診を開始 |
| 5 月 | 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成 |
| 6 月 | 第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 46 年 3 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成 |
| 6 月 | 第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催 |
| 昭和 47 年 5 月 | 全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置 |
| 昭和 48 年 4 月 | 広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成 |
| 6 月 | 第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 8 月 | 被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業) |
| 昭和 49 年 5 月 | 自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入 |
| 7 月 | 広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成 |
| 12 月 | 肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置 |
| 昭和 50 年 4 月 | 勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始 |
| 6 月 | 第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 51 年 6 月 | 胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設 |
| 昭和 52 年 6 月 | 第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 53 年 7 月 | 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X 線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X 線装置を更新整備 |
| 8 月 | 勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始 |
| 昭和 54 年 4 月 | 被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業) |
| 6 月 | 第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |

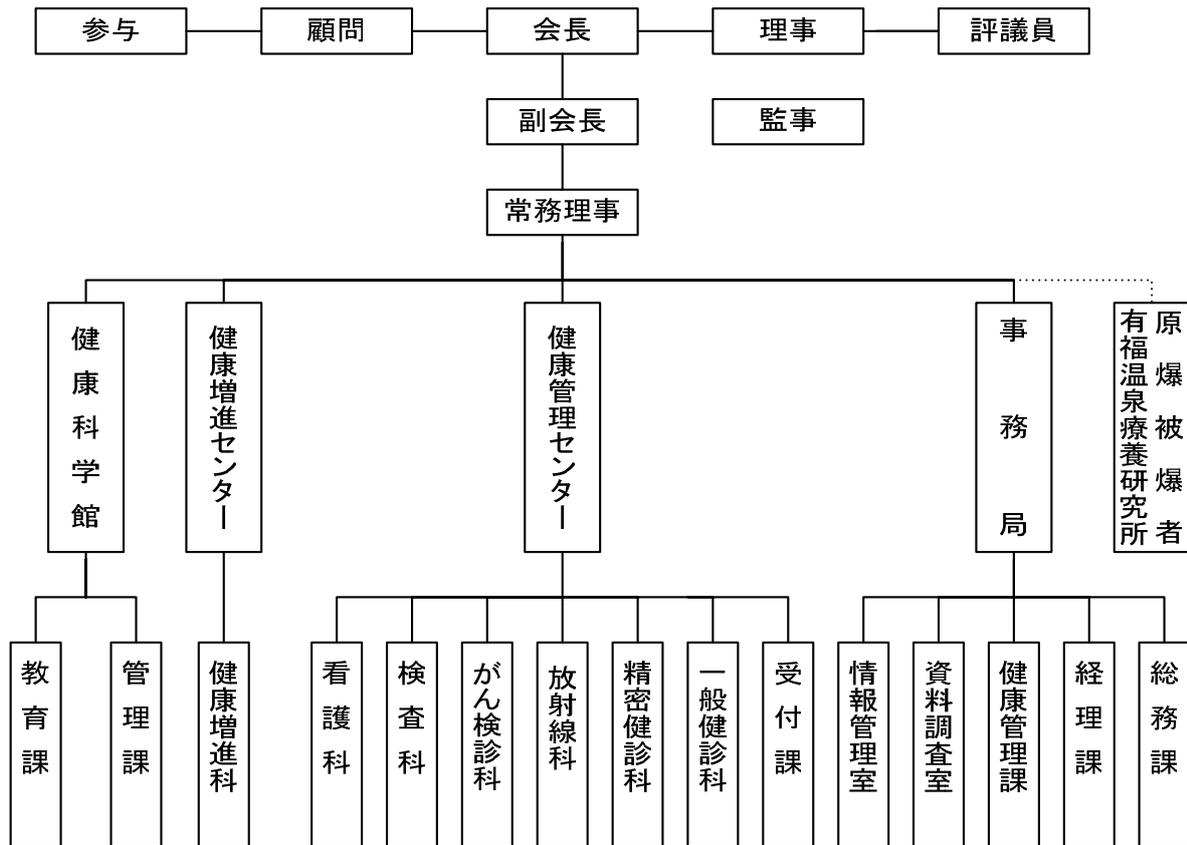
| | |
|-------------|---|
| 昭和 55 年 2 月 | 国の施策による被爆者二世健康診断を開始 |
| 8 月 | 自動血球分類装置(Diff-3)を設置 |
| 昭和 56 年 5 月 | 第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 7 月 | 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催 |
| 10 月 | 広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修 その他工事完成 |
| 昭和 57 年 9 月 | 自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入 |
| 昭和 58 年 6 月 | 第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 昭和 59 年 9 月 | 自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備 |
| 昭和 60 年 6 月 | 第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 8 月 | 広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車 庫上屋根新設工事等完成 |
| 昭和 61 年 7 月 | コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X 線テレビ装置更新整備 |
| 昭和 62 年 3 月 | コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X 線装置更新整備 |
| 4 月 | 被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業) |
| 6 月 | 第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 8 月 | 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆 者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成 |
| 昭和 63 年 8 月 | コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X 線透視撮影台及び CR 用光 ディスク画像ファイル装置を設置 |
| 8 月 | 国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性 骨髄腫)を開始 |
| 平成元年 3 月 | 自動血球計算装置(コールターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、 光ディスク画像ファイル装置を設置 |
| 6 月 | 第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 9 月 | 新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」 の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議 会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X 線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置 |
| 平成 2 年 4 月 | 老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診 断の出張健診及び老人保健法・被爆者が出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安 芸区を除く)を開始 |
| 8 月 | 磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置 |
| 平成 3 年 3 月 | 夜間健診を中止 |
| 4 月 | 被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業) |
| 6 月 | 第 32 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 8 月 | X 線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置 |
| 平成 4 年 4 月 | 被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始 |

| | |
|---------|--|
| 5月 | コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備 |
| 8月 | 自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備 |
| 8月 | 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成 |
| 10月 | 国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始 |
| 11月 | 老人保健法による大腸がん検診を開始 |
| 平成5年4月 | 被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始 |
| 6月 | 第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 8月 | 胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備 |
| 平成6年4月 | 事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。 |
| 5月 | コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備 |
| 9月 | 自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備 |
| 平成7年4月 | 被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業) |
| 5月 | 原爆被爆50周年記念特別講演会を開催 |
| | 第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 6月 | 内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備 |
| 8月 | CR用X線透視撮影装置を更新整備 |
| 10月 | 市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業) |
| 平成8年7月 | CR用X線透視撮影装置を更新整備 |
| 8月 | 既設MRI装置をバージョンアップ |
| 平成9年4月 | 市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業) |
| 6月 | 第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催 |
| 7月 | X線骨密度測定装置を更新整備 |
| 8月 | 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成 |
| 平成10年8月 | 糖尿病予防対策事業を開始 |
| | 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成 |
| | コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備 |
| 10月 | C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業) |
| 平成11年9月 | DRシステムX線テレビ装置を整備 |
| 平成12年9月 | 超音波診断装置を更新整備 |
| 平成13年1月 | MRI装置を更新整備 |
| 平成14年3月 | デジタル超音波診断装置を更新整備 |
| 7月 | 自動血球計算装置を更新整備 |
| 8月 | 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成 |
| 平成15年4月 | 市民のC型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)にB型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業) |
| 7月 | 内視鏡検査システムを更新整備 |
| 平成16年1月 | 乳房X線撮影装置を更新整備 |
| | CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備 |
| 4月 | 第二次CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備 |
| 8月 | 全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備 |
| 平成17年8月 | 総合健診電算システムを更新整備 |
| 12月 | 乳房X線撮影装置を整備 |

| | |
|---------|--|
| 12月 | 医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備 |
| 平成18年3月 | 職業補導事業を廃止 |
| 4月 | マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施 |
| 9月 | デジタルX線透視撮影装置更新整備 |
| 10月 | 被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施 |
| 12月 | 全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1号車) |
| 平成19年1月 | X線骨密度測定装置更新整備 |
| 7月 | X線CT撮影装置整備 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成 |

II 組 織

1 組 織 図



2 役 員・評 議 員

(平成 20 年 7 月 1 日現在)

| 役 職 | 氏 名 | 職 名 |
|--------|-----------|-------------------------------|
| 理事・評議員 | 会 長 | 真 田 幸 三 広島県医師会顧問(前広島県医師会長) |
| | 副会長 | 碓 井 静 照 広島県医師会長 |
| | 〃 | 平 松 恵 一 広島市医師会長 |
| | 常務理事 | 古 川 義 紀 医療法人社団古川医院長 |
| | 〃 | 沢 近 紀 夫 広島市医師会代議員会副議長 |
| | 〃 | 三 村 義 雄 広島市健康福祉局長 |
| | 〃 | 畑 口 實 広島原爆障害対策協議会事務局長 |
| 理事・参与 | 長 崎 孝 太 郎 | 広島市医師会副会長 |
| | 岸 本 昭 憲 | 広島市健康福祉局保健部保健部長 |
| | 国 本 善 平 | 広島市健康福祉局原爆被害対策部長 |
| | 世 羅 智 子 | 広島原爆障害対策協議会健康科学館長 |
| 理事・評議員 | 城 納 一 昭 | 広島県副知事 |
| | 迫 井 正 深 | 広島県健康福祉局長 |
| | 藤 田 博 之 | 広島市議会議長 |
| | 越 智 光 夫 | 広島大学病院長 |
| | 鈴 木 文 男 | 広島大学原爆放射線医科学研究所長 |
| | 土 肥 博 雄 | 広島赤十字・原爆病院長 |

| 役 職 | 氏 名 | 職 名 |
|--------|---------|----------------------|
| 理事・評議員 | 大 濱 紘 三 | 県立広島病院長 |
| | 大 庭 治 | 広島市民病院長 |
| | 鎌 田 七 男 | 広島原爆被爆者援護事業団理事長 |
| | 横 山 行 男 | 横山胃腸科内科医院長 |
| | 高 田 修 | 高田内科医院長 |
| 監 事 | 島 本 学 | 島本外科内科医院理事長 |
| | 日 城 大 陸 | おおうち病院長 |
| | 延 田 壮 一 | 広島市都市整備公社監事 |
| 評議員 | 片 山 賢 治 | 広島県健康福祉局総務管理部被爆者対策課長 |
| | 中川日出男 | 日本赤十字社広島県支部事務局長 |
| | 前 田 泰 則 | 広島県薬剤師会長 |
| | 森 本 克 廣 | 広島市歯科医師会長 |

3 職 員

(平成20年7月1日現在, 単位: 人)

| 事 務 局 | | 健康管理センター | | 健康増進センター | | 健康科学館 | |
|-------------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
| 職 種 | 人 員 | 職 種 | 人 員 | 職 種 | 人 員 | 職 種 | 人 員 |
| 事 務 局 長 | 1 | 所 長 | 1 | 医 所 長 | (1) | 館 長 | 1 |
| 事 務 職 員 | 21 | 医 部 長 | (1) | 医 師 部 長 | 1 | 保 健 師 | 1 |
| 相 談 員 | 1 | 常 勤 医 師 | 5 | 看 護 師 | 1 | 事 務 職 員 | 2 |
| 自 動 車 運 転 手 | 11 | 非 常 勤 医 師 | 20 | 栄 養 士 | 2 | 栄 養 士 嘱 託 | 1 |
| 用 務 員 | 1 | 読 影 委 員 | 43 | 体 育 指 導 員 | 2 | 事 務 嘱 託 | 5 |
| | | 看 護 師 | 19 | 事 務 職 員 | 1 | | |
| | | 保 健 師 | 2 | | | | |
| | | 検 査 技 師 | 34 | | | | |
| | | 放 射 線 技 師 | 12 | | | | |
| | | 栄 養 士 | 1 | | | | |
| | | 事 務 職 員 | 21 | | | | |
| | | 看 護 師 嘱 託 | 1 | | | | |
| | | 事 務 嘱 託 | 3 | | | | |
| 小 計 | 35 | 小 計 | 162 | 小 計 | 7 | 小 計 | 10 |
| | | | | | | 合 計 | 214 |

注) () 内は兼務職員数を示したものである。

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本会の三者協力のもとに建設されたものであり、本会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
2 敷地 9,622.67 m² (広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²)
3 建物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ 15,916.26 m²

| 利用区分 | 面積 |
|----------------|-------------------------|
| 健康管理センター専用 | 3,179.01 m ² |
| 健康増進センター専用 | 253.37 |
| 事務局専用 | 1,000.42 |
| 健康科学館専用 | 2,442.13 |
| 広島市・原対協事業共用部分 | 2,749.61 |
| 広島市医師会専用 | 3,199.19 |
| 広島市・広島市医師会共用部分 | 3,092.53 |
| 合計 | 15,916.26 |

- 4 事業費 約90億円 (広島市約65億円、広島市医師会約25億円)

IV 平成20年度 事業計画

本協議会は、国・県・市の指導と協力を得て、広島市医師会並びに医師会員と密接な連携のもとに、平成20年度も引続き被爆者の健康管理事業の充実と福祉の増進を強力に推進する。

また、広島市からの委託による健康診査、健康診断等の事業について積極的に行うとともに、指定管理を受けた健康増進・健康教育の事業についても忠実に実施していく。

- 1 被爆者の健康管理事業
- 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業
- 3 被爆者の援護福祉事業
- 4 高齢者医療確保法等による健康診査事業
- 5 健康増進事業
- 6 健康教育事業
- 7 広島市健康づくりセンターの管理運営
- 8 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

1 被爆者の健康管理事業

(1) 健康診断の実施

被爆者の平均年齢が74歳と高齢化が進むなか、健康管理の一層の充実を期するため、健康診断体制の整備充実に努めるとともに、実施にあたっては、関係当局と連携のうえ受診率の向上を図る。

ア 被爆者が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を総合的に検討し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 被爆者の受診機会を多くするため、引続き土曜・日曜健診を実施し、受診サービスに努める。

ウ 被爆者健康診断の受診を促進するため、関係当局と連携して各種広報による啓発活動を積極的に行う。

エ 被爆者二世健康診断を実施する。

| | | | | |
|--------|----------|---------|--------|---------|
| オ 実施目標 | 一般検査 | 29,800件 | 精密検査 | 31,300件 |
| | 胃がん検診 | 5,800件 | 肺がん検診 | 12,700件 |
| | 子宮がん検診 | 2,300件 | 乳がん検診 | 2,900件 |
| | 多発性骨髄腫検診 | 20,400件 | 大腸がん検診 | 10,700件 |
| | 骨粗鬆症検診 | 5,900件 | | |

(2) 健康診断医療機器等の整備

ア 超音波診断装置を年賀寄附金配分金を受けて更新整備する。

イ 医用画像管理システムを更新整備する。

ウ デジタル胃集検X線透視撮影装置を更新整備する。

エ MRI装置のアップグレードを行う。

(3) 健康管理の推進

被爆者がん検診を積極的に推進するとともに、被爆者の高齢化に伴う諸状況を考慮し、特に次の事項に重点をおき、成果を期する。

ア 悪性新生物の発見

胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸

がん等の発見に努め、広島大学医学部、同原爆放射線医科学研究所及び放射線影響研究所等の協力を得て、積極的にこれらの検索を実施する。

イ 生活習慣病の発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧・虚血性心疾患等生活習慣病の増加傾向に対し、早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な生活指導及び栄養指導を行う。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の実施

下記の調査研究を行い、その成果は「原子爆弾後障害研究会」をはじめ関係各学会等に発表するほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙に発表する。

ア「被爆者がん検診の意義に関する研究」(継続)

被爆者がん検診が開始(1988年)されて以来、本会で発見される新しいがん患者が著しく増加してきており、がん検診の成果と考えられ、これらの成績を踏まえてがん検診の意義、より効率的な検診のあり方、精度管理について広島大学原爆放射線医科学研究所の放射線分子疫学研究分野と協力して広島県腫瘍登録データを活用して検討を行う。

イ「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」(継続)

広島大学医学部と同原爆放射線医科学研究所との共同研究によって被曝線量の推定を行い、がん発生率と被曝の関連を検討する。

ウ「被爆者の糖代謝に関する研究」(継続)

エ「肺がんに関する研究」(継続)

オ「加齢に関する研究」(継続)

虚血性心疾患、脳血管障害、骨粗鬆症変性性神経疾患、心理学的異常等の加齢関連疾患や病態について検討するとともに、各種の関連要因(血圧・コレステロール・喫煙・栄養状況等)や被曝状況との関連を検討する。

(2) 被爆者健康管理資料の整理

ア 受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図所見等)を分類整理し、レントゲンフィルムは医用画像情報システムに、心電図は光ディスクへ収録して保存する。

イ これら健康診断の実績、結果等の諸統計を作成するとともに、光ディスクや磁気テープとして保管し、調査研究資料の管理体制を整える。

(3) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集保存し、その活用を図る。

(4) 原子爆弾後障害研究会の開催への協力

第49回原子爆弾後障害研究会は、6月8日長崎原爆資料館において開催されるので協力する。

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の生活、健康及び医療についての相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ必要な指導及び援助を行う。

(2) 援護の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて、被爆者の援護・福祉の増進を図る。

- ア 生活困窮者に対する援護金支給
- イ 有福温泉療養者に対する交通費補助
- ウ 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
- エ 福祉用具貸与・購入費利用補助金
- オ その他必要と認める経費の一部補助

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

原爆被爆者有福温泉療養研究所は、同運営協議会(会長江津市長)に運営を委託し、必要な支援を行うことにより、被爆者の福祉増進を図る。

また、利用料収入での運営が、被爆者の高齢化等による利用者の減少により困難となっているが、被爆者の温泉療養を継続して実施する必要があるため、運営費の補助を行う。

4 高齢者医療確保法等による健康診査事業

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

高齢者医療確保法に基づく特定健康診査を、健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

また、健診結果から生活習慣病のリスクに応じて階層化し、特定保健指導を実施するなど、広島市の主体的取組みに連携して受診者のニーズに合った健診及び保健指導を行い、受診率の向上を図る。

実施目標(広島市国保)

| | |
|---------------|----------|
| 特定健康診査 | 18,700 件 |
| 特定保健指導(積極的支援) | 220 件 |

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

健康増進法に基づく種々のがん検診等を、健康づくりセンター及び出張検診会場において実施し、広島市の主体的取組みに連携して、広島市民の健康保持に努める。

実施目標

| | | | |
|--------|----------|----------|----------|
| 胃がん検診 | 17,200 件 | 肺がん検診 | 20,800 件 |
| 子宮がん検診 | 8,700 件 | 乳がん検診 | 8,500 件 |
| 大腸がん検診 | 9,000 件 | 肝炎ウィルス検診 | 1,770 件 |
| 骨粗鬆症検診 | 2,500 件 | | |

(3) 感染症予防法に基づく結核健康診断の実施

感染症予防法に基づく結核健康診断を、広島市の主体的取組みに連携して健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、健診による市民の健康管理を推進する。

実施目標 11,400 件

(4) 介護保険法に基づく生活機能評価の実施

| | | |
|------|-------|----------|
| 実施目標 | 被爆者 | 15,900 件 |
| | 被爆者以外 | 12,200 件 |

(5) 後期高齢者に対する健康診査の実施

75歳以上の後期高齢者に対する健康診査を、健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

実施目標 1,000 件

8 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、協力する。

(2) 来日被曝者の健康相談・医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断及び医療相談を実施するとともに、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談にも応じるなど在外被曝者の援助を引続き行う。

V 予 算

1 平成20年度予算

| 科 目 | 一 般 会 計 | 健 康 管 理 セクター会計 | 被 爆 者 援 護 福祉事業会計 | 健 康 増 進・ 教育事業会計 | 医 療 機 器 整備事業会計 | 内 部 取 引 消 去 | 合 計 |
|---------------------|---------|-------------------|---------------------|--------------------|-------------------|-------------|-----------|
| I 事業活動収支の部 | | | | | | | |
| 1. 事業活動収入 | 1,120 | | | | | | 1,120 |
| 基本財産運用収入 | | 8,822 | | | | | 8,822 |
| 特定資産運用収入 | | 883,320 | | | | | 883,320 |
| 被爆者健康診断収入 | | 270,490 | | | | | 270,490 |
| 健康増進法検診収入 | | 135,415 | | | | | 135,415 |
| 特定健診・保健指導収入 | | 24,940 | | | | | 24,940 |
| 介護保険法生活機能評価収入 | | 22,074 | | | | | 22,074 |
| 結核住民健康診断収入 | | 14,594 | | | | | 14,594 |
| 健康増進収入 | | | | 155,266 | | | 155,266 |
| 受託収入 | | | | 42,133 | | | 42,133 |
| 補助金収入 | 1,000 | | | | | | 1,000 |
| 寄附金収入 | 1,797 | | | | | | 1,797 |
| 雑収入 | 219,550 | 118,423 | 17,270 | | | | 355,243 |
| 他会計からの繰入金収入 | | | 17,270 | | | | 17,270 |
| 事業活動収入計 | 223,468 | 1,478,078 | 17,270 | 197,399 | | | 1,684,395 |
| 2. 事業活動支出 | 7,587 | | | | | | 7,587 |
| 生活相談費支出 | 42,061 | | | | | | 42,061 |
| 資料統計費支出 | | 1,270,978 | | | | | 1,270,978 |
| 健康診断費支出 | 1,735 | 9,164 | | | | | 10,899 |
| 調査研究費支出 | | | 17,270 | | | | 17,270 |
| 後障害研究会開催費支出 | | | | | | | 0 |
| 原爆被爆者対策費支出 | | | | 83,172 | | | 83,172 |
| 健康増進費支出 | | | | 102,580 | | | 102,580 |
| 健康教育費支出 | | | | 11,647 | | | 11,647 |
| 健康管理費支出 | 164,583 | 52,787 | | | | | 217,370 |
| ファミリーサポート・つどいの広場費支出 | 17,270 | 227,550 | | | | | 244,820 |
| 管理費支出 | | | | | | | 0 |
| 他会計への繰入金支出 | 233,236 | 1,560,479 | 17,270 | | | | 1,763,564 |
| 事業活動支出計 | △ 9,768 | △ 82,401 | 0 | 0 | 13,000 | | △ 79,169 |
| 事業活動収支差額 | | | | | | | |
| II 投資活動収支の部 | | | | | | | |
| 1. 投資活動収入 | 13,770 | 293,300 | | | | | 307,070 |
| 特定資産取崩収入 | | 2 | | | | | 2 |
| 固定資産売却収入 | | | | | | | 0 |
| 投資活動収入計 | 13,770 | 293,302 | 0 | 0 | 0 | 0 | 307,072 |
| 2. 投資活動支出 | 1,001 | 100,002 | | | | | 101,003 |
| 特定資産取得支出 | | 152,299 | | | 13,000 | | 165,300 |
| 固定資産取得支出 | 1,002 | 292,301 | 0 | 0 | 0 | 0 | 266,303 |
| 投資活動支出計 | 12,768 | 41,001 | 0 | 0 | △ 13,000 | 0 | 40,769 |
| 投資活動収支差額 | 3,000 | 20,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,000 |
| III 予備費支出 | | | | | | | |
| 当期収支差額 | 0 | △ 61,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 61,400 |
| 前期繰越収支差額 | 0 | 61,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 61,400 |
| 次期繰越収支差額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 予算の推移（当初）

（単位：千円）

| 区分 年度 | 一般会計 | 健康管理 センター 会計 | 援護福祉 事業会計 | 健康増進・ 教育事業 会計 | 医療施設 機器整備 事業会計 | 有福祉設 施整備事 業会計 | 調査研究 事業会計 |
|----------|---------|--------------------|--------------|---------------------|----------------------|---------------------|--------------|
| 昭和 59 | 163,860 | 595,880 | 6,530 | — | 42,920 | — | 3,200 |
| 60 | 183,270 | 667,760 | 6,550 | — | — | 13,680 | 3,900 |
| 61 | 189,660 | 642,570 | 6,660 | — | 76,000 | — | 3,080 |
| 62 | 206,350 | 700,480 | 6,840 | — | — | 24,220 | 3,600 |
| 63 | 200,290 | 900,210 | 6,920 | — | 156,000 | — | 2,500 |
| 平成元 | 258,150 | 1,113,540 | 7,130 | * 31,860 | 74,480 | — | — |
| 2 | 232,660 | 1,102,730 | 7,250 | 219,378 | 83,430 | — | — |
| 3 | 231,380 | 1,225,446 | 7,300 | 228,813 | 29,272 | — | — |
| 4 | 234,820 | 1,304,000 | 7,460 | 226,514 | 78,000 | 48,320 | — |
| 5 | 251,145 | 1,426,009 | 7,460 | 237,346 | 65,000 | — | — |
| 6 | 254,296 | 1,457,601 | 5,490 | 242,379 | 134,000 | — | — |
| 7 | 264,258 | 1,501,111 | 5,490 | 236,133 | 70,000 | — | — |
| 8 | 261,339 | 1,539,630 | 5,620 | 239,130 | 92,000 | — | — |
| 9 | 270,202 | 1,616,905 | 5,720 | 258,077 | 66,675 | 39,000 | — |
| 10 | 269,301 | 1,627,854 | 5,720 | 230,521 | 73,500 | 23,434 | — |
| 11 | 261,547 | 1,706,081 | 5,720 | 225,093 | 32,550 | — | — |
| 12 | 240,920 | 1,676,652 | 5,720 | 220,517 | 144,375 | — | — |
| 13 | 247,573 | 1,583,371 | 5,720 | 215,629 | 16,485 | — | — |
| 14 | 264,800 | 1,620,476 | 5,440 | 211,857 | 21,315 | 18,568 | — |
| 15 | 266,107 | 1,631,841 | 5,440 | 207,251 | — | — | — |
| 16 | 258,937 | 1,717,673 | 4,900 | 199,281 | 33,180 | — | — |
| 17 | 263,298 | 1,733,638 | 3,231 | 196,592 | — | — | — |
| 18 | 246,631 | 1,730,971 | 2,951 | 197,399 | 34,755 | — | — |
| 19 | 231,865 | 1,857,955 | 2,921 | 197,399 | — | 17,115 | — |
| 20 | 237,238 | 1,832,780 | 17,270 | 197,399 | 13,000 | — | — |

* 健康増進準備事務会計

VI 平成19年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

ア 被爆者一般・精密検査の実施

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。この健康診断は、広島市総合健康センター及び市内の各集会所、公民館等を会場とする出張健診会場(2カ所)の3会場で実施しており、そのために健康診断班を3班(1班約14名一医師を含む)編成している。

また、広島市総合健康センターで毎月第1・第3日曜日の日曜健診を実施しているほか、年間10回日曜出張健診も実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況 (人, %)

| 年度 | 一般検査 | | 精密検査実施 件数 (B) | 精検受診率 (B)/(A) (%) | 一般及び精密検査 延べ実施件数 |
|-------|----------|--------|------------------|-------------------------|--------------------|
| | 実施件数 (A) | 要精検者数 | | | |
| 昭和 36 | 20,949 | — | 3,818 | 18.2 | 24,767 |
| 37 | 57,090 | — | 10,730 | 18.8 | 67,820 |
| * 38 | 60,005 | — | 10,818 | 18.0 | 70,823 |
| 39 | 70,672 | — | 14,691 | 20.8 | 85,363 |
| 40 | 70,634 | — | 14,135 | 20.0 | 84,769 |
| * 41 | 75,751 | — | 13,648 | 18.0 | 89,399 |
| 42 | 78,372 | 23,087 | 15,453 | 19.7 | 93,825 |
| 43 | 84,459 | 26,056 | 14,595 | 17.3 | 99,054 |
| * 44 | 94,427 | 27,894 | 15,352 | 16.3 | 109,779 |
| 45 | 89,890 | 36,988 | 26,761 | 29.8 | 116,651 |
| 46 | 93,001 | 40,868 | 31,771 | 34.2 | 124,772 |
| * 47 | 111,119 | 51,433 | 42,300 | 38.1 | 153,419 |
| 48 | 101,612 | 48,393 | 38,024 | 37.4 | 139,636 |
| 49 | 112,068 | 50,713 | 42,871 | 38.3 | 154,939 |
| * 50 | 113,852 | 52,996 | 45,437 | 39.9 | 159,289 |
| 51 | 109,040 | 51,559 | 44,652 | 41.0 | 153,692 |
| 52 | 107,000 | 53,453 | 49,959 | 46.7 | 156,959 |
| * 53 | 109,531 | 54,948 | 50,785 | 46.4 | 160,316 |
| 54 | 104,928 | 61,201 | 58,273 | 55.5 | 163,201 |
| 55 | 100,788 | 56,415 | 53,404 | 53.0 | 154,192 |
| * 56 | 100,289 | 57,168 | 54,360 | 54.2 | 154,649 |
| 57 | 94,857 | 57,692 | 55,137 | 58.1 | 149,994 |
| 58 | 91,003 | 60,524 | 58,999 | 64.8 | 150,002 |
| * 59 | 90,495 | 65,715 | 64,863 | 71.7 | 155,358 |
| 60 | 91,336 | 68,221 | 67,177 | 73.5 | 158,513 |
| 61 | 87,533 | 67,361 | 66,511 | 76.0 | 154,044 |
| * 62 | 87,372 | 67,439 | 66,659 | 76.3 | 154,031 |
| 63 | 82,107 | 63,024 | 62,883 | 76.6 | 144,990 |
| 平成元 | 76,987 | 59,818 | 60,461 | 78.5 | 137,448 |
| * 2 | 73,429 | 58,652 | 59,539 | 81.1 | 132,968 |
| 3 | 68,285 | 55,675 | 57,705 | 84.5 | 125,990 |
| 4 | 63,771 | 53,925 | 55,561 | 87.1 | 119,332 |
| * 5 | 60,666 | 56,596 | 58,567 | 96.5 | 119,233 |
| 6 | 55,979 | 54,270 | 56,860* | 101.6** | 112,839 |
| 7 | 54,275 | 53,702 | 56,145* | 104.5** | 110,420 |
| * 8 | 52,175 | 52,541 | 54,967* | 104.6** | 107,142 |
| 9 | 49,876 | 49,797 | 51,917* | 104.1** | 101,793 |
| 10 | 47,229 | 47,210 | 49,467* | 104.7** | 96,696 |
| * 11 | 45,168 | 45,156 | 47,154* | 104.4** | 92,322 |
| 12 | 43,121 | 43,114 | 45,019* | 104.4** | 88,140 |
| 13 | 40,614 | 40,607 | 42,191* | 103.9** | 82,805 |
| 14 | 39,269 | 39,268 | 41,440* | 105.6** | 80,709 |
| 15 | 38,432 | 38,432 | 40,607* | 105.7** | 79,039 |
| 16 | 35,588 | 35,584 | 37,198* | 104.5** | 72,786 |
| 17 | 33,997 | 33,995 | 35,996* | 105.9** | 69,993 |
| 18 | 33,086 | 33,084 | 34,603* | 104.6** | 67,689 |
| 19 | 30,639 | 30,637 | 32,281* | 105.4** | 62,920 |

* 手帳更新年度

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ当所で実施した人数を含んでいるためである。

イ 平成 19 年度被爆者一般・精密検査実施状況

平成 19 年度の一般検査の受診者数は 30,639 人、精密検査の受診者は 30,637 人であった。詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日までの 1 年間の当施設及び延 483 回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表 2a・bのとおりで、男性 13,043 人、女性 17,596 人、計 30,639 人で、前年度との比較では 2,447 人（男性 822 人、女性 1,625 人）の減少である。年齢構成は、男性、女性とも 70 歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性 72.5±6.9 歳、女性 73.6±7.5 歳、全体では 73.1±7.3 歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は 10,888 人（35.5%）、出張健診会場は 19,751 人（64.5%）であり、前年度に比し、施設健診は 685 人の減少、出張健診は 1762 人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表 2cに示すように、受診率は安芸区が 22.0%と最も高く、ついで安佐北区 18.0%、佐伯区 17.3%であり、全体では 14.0%である。前年度との比較では、各区とも受診率は減少傾向である。

一般検査受診者に対する要精検率は表 2dのとおり、男性、女性とも 100%である。

表 2 原爆 一般検査

a 受診者数

(単位:人, %)

| 年齢 (歳) | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 |
| 59 ~ 59 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 60 ~ 69 | 4,768 | 36.6 | 5,943 | 33.8 | 10,711 | 35.0 |
| 70 ~ 79 | 6,498 | 49.8 | 7,589 | 43.1 | 14,087 | 46.0 |
| 80 ~ 98 | 1,777 | 13.6 | 4,064 | 23.1 | 5,841 | 19.1 |
| 計 | 13,043 | 100.0 | 17,596 | 100.0 | 30,639 | 100.0 |

b 健診会場別実施状況

(単位:日, 人)

| 区分 | 平成19年度(A) | | 平成18年度(B) | | 比較増減(A)-(B) | |
|------|-----------|--------|-----------|--------|-------------|---------|
| | 日数 | 受診者数 | 日数 | 受診者数 | 日数 | 受診者数 |
| 施設健診 | 317 | 10,888 | 317 | 11,573 | 0 | △ 685 |
| 出張健診 | 483 | 19,751 | 483 | 21,513 | 0 | △ 1,762 |
| 計 | 800 | 30,639 | 800 | 33,086 | 0 | △ 2,447 |

c 出張健診区別実施状況

(単位:日, 人, %)

| 区分 | 平成19年度(A) | | | | 平成18年度(B) | | | | 比較増減(A)-(B) | | |
|------|-----------|---------|--------|------|-----------|---------|--------|------|-------------|---------|---------|
| | 日数 | 被爆者数 | 受診者数 | 受診率 | 日数 | 被爆者数 | 受診者数 | 受診率 | 日数 | 被爆者数 | 受診者数 |
| 中区 | 31 | 13,788 | 1,125 | 8.2 | 32 | 14,250 | 1,229 | 8.6 | △ 1 | △ 462 | △ 104 |
| 南区 | 78 | 21,224 | 2,669 | 12.6 | 77 | 22,014 | 2,930 | 13.3 | 1 | △ 790 | △ 261 |
| 西区 | 81 | 26,508 | 2,845 | 10.7 | 81 | 27,225 | 3,170 | 11.6 | 0 | △ 717 | △ 325 |
| 東区 | 61 | 15,476 | 2,272 | 14.7 | 60 | 15,922 | 2,477 | 15.6 | 1 | △ 446 | △ 205 |
| 安芸区 | 26 | 6,489 | 1,430 | 22.0 | 28 | 6,911 | 1,654 | 23.9 | △ 2 | △ 422 | △ 224 |
| 安佐南区 | 71 | 24,758 | 3,601 | 14.5 | 71 | 25,351 | 3,828 | 15.1 | 0 | △ 593 | △ 227 |
| 安佐北区 | 67 | 17,989 | 3,239 | 18.0 | 68 | 18,504 | 3,529 | 19.1 | △ 1 | △ 515 | △ 290 |
| 佐伯区 | 68 | 14,822 | 2,570 | 17.3 | 66 | 15,145 | 2,696 | 17.8 | 2 | △ 323 | △ 126 |
| 計 | 483 | 141,054 | 19,751 | 14.0 | 483 | 145,322 | 21,513 | 14.8 | 0 | △ 4,268 | △ 1,762 |

(被爆者数は年間の延べ健診通知数)

d 要精検率

(単位:人, %)

| 年齢 (歳) | 男性 | | | 女性 | | | 計 | | |
|-----------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 受診者数 | 要精密検査 | | 受診者数 | 要精密検査 | | 受診者数 | 要精密検査 | |
| | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 |
| 59 ~ 59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 60 ~ 69 | 4,768 | 4,767 | 100.0 | 5,943 | 5,942 | 100.0 | 10,711 | 10,709 | 100.0 |
| 70 ~ 79 | 6,498 | 6,498 | 100.0 | 7,589 | 7,589 | 100.0 | 14,087 | 14,087 | 100.0 |
| 80 ~ 98 | 1,777 | 1,777 | 100.0 | 4,064 | 4,064 | 100.0 | 5,841 | 5,841 | 100.0 |
| 計 | 13,043 | 13,042 | 100.0 | 17,596 | 17,595 | 100.0 | 30,639 | 30,637 | 100.0 |

(イ) 精密検査

平成 19 年度の精密検査受診者延数は表 3aのとおり、男性 14,145 人、女性 18,514 人、計 32,659 人であり、前年度に比し男性は 527 人の減少、女性は 1,417 人の減少、全体では 1,944 人減少している。年齢別には一般検査と同様に男性、女性とも 70 歳代にピークがある。

要精検者に対する精検受診率は表 3bに示すように、男性 108.5%、女性 105.2%、計 106.6%といずれも 100%以上である。これは一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみを当所で実施した人数を含んでいるためである。

一般検査受診者に対する精検受診率は表 3cに示すように、男性 108.4%、女性 105.2%、計 106.6%である。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表 3dに示すように、肝機能検査が最も多く、ついで血糖検査、白血球分類、腎機能検査、心電図検査の順である。

精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要なものを要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要なものを要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表 3e・fである。要治療者については男女とも高血圧が最も多く、ついで糖尿病、肝機能障害の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、血沈促進、高コレステロール血症の順に多くみられ、女性では、高血糖、血尿、高コレステロール血症の順である。

平成 19 年度に新たに発見された悪性新生物症例は表 3gに示すとおり全体で 102 例あり、のうち最も多いのは肺癌 21 例、ついで乳癌 19 例、胃癌 16 例、大腸癌 14 例、多発性骨髄腫 12 例、甲状腺癌 7 例である。被曝状況別には表 3hに示すように、2.0 km以内の直接被爆者が 26 例、2.1 km以上の直接被爆者が 42 例、入市・他が 34 例である。

表 3 原爆 精密検査

a 受診者数

(単位:人, %)

| 年齢 (歳) | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 |
| 59 ~ 59 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 60 ~ 69 | 5,262 | 37.2 | 6,361 | 34.4 | 11,623 | 35.6 |
| 70 ~ 79 | 7,071 | 50.0 | 8,059 | 43.5 | 15,130 | 46.3 |
| 80 ~ 102 | 1,812 | 12.8 | 4,094 | 22.1 | 5,906 | 18.1 |
| 計 | 14,145 | 100.0 | 18,514 | 100.0 | 32,659 | 100.0 |

b 要精検者に対する精密検査受診率 (単位:人, %)

| 年齢 (歳) | 男性 | | | 女性 | | | 計 | | |
|-----------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 要精検者数 | 精検受診者 | | 要精検者数 | 精検受診者 | | 要精検者数 | 精検受診者 | |
| | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 |
| 59 ~ 59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 60 ~ 69 | 4,767 | 5,262 | 110.4 | 5,942 | 6,361 | 107.1 | 10,709 | 11,623 | 108.5 |
| 70 ~ 79 | 6,498 | 7,071 | 108.8 | 7,589 | 8,059 | 106.2 | 14,087 | 15,130 | 107.4 |
| 80 ~ 102 | 1,777 | 1,812 | 102.0 | 4,064 | 4,094 | 100.7 | 5,841 | 5,906 | 101.1 |
| 計 | 13,042 | 14,145 | 108.5 | 17,595 | 18,514 | 105.2 | 30,637 | 32,659 | 106.6 |

c 一般検査受診者に対する精密検査受診率 (単位:人, %)

| 年齢 (歳) | 男性 | | | 女性 | | | 計 | | |
|-----------|--------------|--------|-------|--------------|--------|-------|--------------|--------|-------|
| | 一般検査 受診者数 | 精検受診者 | | 一般検査 受診者数 | 精検受診者 | | 一般検査 受診者数 | 精検受診者 | |
| | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 | | 受診者数 | 受診率 |
| 59 ~ 59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 60 ~ 69 | 4,768 | 5,262 | 110.4 | 5,943 | 6,361 | 107.0 | 10,711 | 11,623 | 108.5 |
| 70 ~ 79 | 6,498 | 7,071 | 108.8 | 7,589 | 8,059 | 106.2 | 14,087 | 15,130 | 107.4 |
| 80 ~ 98 | 1,777 | 1,812 | 102.0 | 4,064 | 4,094 | 100.7 | 5,841 | 5,906 | 101.1 |
| 計 | 13,043 | 14,145 | 108.4 | 17,596 | 18,514 | 105.2 | 30,639 | 32,659 | 106.6 |

d 精密検査における主な検査項目と実施件数 (単位:件)

| 検査項目 | 実施数 | 検査項目 | 実施数 | 検査項目 | 実施数 |
|----------|--------|-----------|-------|-----------|--------|
| 肝機能検査 | 30,514 | 細胞診検査 | 58 | 腹部超音波検査 | 522 |
| 腎機能検査 | 11,157 | 喀痰検査 | 8 | 心臓超音波検査 | 373 |
| 血糖検査 | 30,462 | 胸部レントゲン検査 | 1,936 | 甲状腺超音波検査 | 408 |
| 貧血検査 | 2,282 | 骨部レントゲン検査 | 13 | 頸動脈超音波検査 | 379 |
| リウマチ検査 | 910 | 乳房撮影 | 358 | 心電図 | 11,070 |
| ブドウ糖負荷試験 | 1,901 | 骨塩定量 | 107 | トレッドミル検査 | 51 |
| Free T3 | 285 | 胃透視 | 13 | スパイロメリー検査 | 22 |
| Free T4 | 1,647 | 腸透視 | 18 | 胃内視鏡検査 | 772 |
| 抗甲状腺抗体 | 1,392 | MRI | 331 | 大腸内視鏡検査 | 320 |
| 白血球分類 | 11,882 | C T | 713 | 眼底検査 | 2,714 |

e 要治療者の疾病分類

| 疾病区分 | 病名 | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|-------------------------|-------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % |
| 感 染 症 | そ の 他 | 3 | 0.02 | 8 | 0.04 | 12 | 0.04 |
| 悪 性 新 生 物 | 胃 癌 | 31 | 1.21 | 12 | 0.64 | 43 | 0.88 |
| | 肺 癌 | 18 | | 20 | | 38 | |
| | 多 発 性 骨 髄 腫 | 8 | | 6 | | 14 | |
| | 結 腸 ・ 直 腸 癌 | 15 | | 11 | | 26 | |
| | 乳 癌 | 0 | | 39 | | 39 | |
| | 前 立 腺 癌 | 44 | | 0 | | 44 | |
| | 膀 胱 癌 | 9 | | 3 | | 12 | |
| | 甲 状 腺 癌 | 7 | | 11 | | 18 | |
| | 食 道 癌 | 2 | | 1 | | 3 | |
| | そ の 他 | 34 | 20 | 54 | | | |
| 内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患 | 糖 尿 病 | 2,217 | 30.72 | 1,607 | 27.85 | 3,824 | 29.05 |
| | 甲 状 腺 腫 | 14 | | 12 | | 26 | |
| | 甲 状 腺 機 能 低 下 症 | 65 | | 198 | | 263 | |
| | 甲 状 腺 機 能 亢 進 症 | 8 | | 35 | | 43 | |
| | そ の 他 | 1,956 | | 3,501 | | 5,457 | |
| 血 液 疾 患 | 貧 血 | 219 | 1.90 | 433 | 2.48 | 652 | 2.24 |
| | そ の 他 | 45 | | 43 | | 88 | |
| 精 神 障 害 ・ 神 經 感 覚 器 疾 患 | パ ー キ ン ソ ン | 12 | 0.34 | 5 | 0.27 | 17 | 0.30 |
| | 白 内 障 | 10 | | 19 | | 29 | |
| | そ の 他 | 25 | | 28 | | 53 | |
| 循 環 器 疾 患 | 高 血 圧 | 4,351 | 34.37 | 5,665 | 30.51 | 10,016 | 32.13 |
| | 高 血 圧 性 心 疾 患 | 6 | | 1 | | 7 | |
| | 虚 血 性 心 疾 患 | 191 | | 86 | | 277 | |
| | そ の 他 の 心 疾 患 | 150 | | 75 | | 225 | |
| | 脳 血 管 障 害 | 45 | | 26 | | 71 | |
| | そ の 他 の 循 環 器 疾 患 | 22 | 12 | 34 | | | |
| 呼 吸 器 疾 患 | 肺 炎 | 4 | 0.38 | 3 | 0.19 | 7 | 0.27 |
| | 慢 性 気 管 支 炎 | 2 | | 1 | | 3 | |
| | 喘 息 | 14 | | 21 | | 35 | |
| | 肺 気 腫 | 14 | | 1 | | 15 | |
| | 肺 線 維 症 | 1 | | 1 | | 2 | |
| | そ の 他 | 17 | 10 | 27 | | | |
| 消 化 器 疾 患 | 胃 潰 瘍 | 15 | 7.92 | 8 | 4.37 | 23 | 5.85 |
| | 十 二 指 腸 潰 瘍 | 3 | | 2 | | 5 | |
| | 肝 機 能 障 害 | 1,053 | | 785 | | 1,838 | |
| | そ の 他 | 27 | | 44 | | 71 | |
| 泌 尿 ・ 生 殖 器 疾 患 | 腎 炎 | 145 | 8.03 | 89 | 1.68 | 234 | 4.34 |
| | 腎 機 能 低 下 症 | 177 | | 99 | | 276 | |
| | 尿 路 感 染 症 | 7 | | 15 | | 22 | |
| | そ の 他 | 785 | | 119 | | 904 | |
| 皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾 患 | リウマチ様関節炎 | 19 | 1.20 | 35 | 4.71 | 54 | 3.24 |
| | 骨 粗 鬆 症 | 111 | | 803 | | 914 | |
| | そ の 他 | 37 | | 68 | | 105 | |
| そ の 他 | そ の 他 | 518 | 3.74 | 733 | 3.81 | 1,251 | 3.78 |
| 総被検者数 | | 13,865 | | 19,221 | | 33,086 | |

f 要経過観察者の疾病分類

| 疾病区分 | 病名 | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|-------------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % |
| 感 染 症 | 陳旧性肺結核 | 6 | | 2 | | 8 | |
| | その他 | 3 | 0.06 | 6 | 0.04 | 9 | 0.05 |
| 新 生 物 | 多発性骨髄腫 | 64 | | 47 | | 111 | |
| | その他の悪性新生物 | 34 | 2.00 | 15 | 1.12 | 49 | 1.49 |
| | 胃ポリープ | 44 | | 62 | | 106 | |
| | その他の良性新生物 | 135 | | 92 | | 227 | |
| 内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患 | 耐糖能低下 | 420 | | 293 | | 713 | |
| | 甲状腺腫 | 31 | | 117 | | 148 | |
| | その他の内分泌疾患 | 75 | 30.37 | 199 | 34.69 | 274 | 32.88 |
| | 高コレステロール血症 | 2,287 | | 4,773 | | 7,060 | |
| | 高脂血症 | 1,183 | | 1,152 | | 2,335 | |
| | その他の代謝疾患 | 215 | | 134 | | 349 | |
| 血 液 疾 患 | 貧血 | 432 | | 1,023 | | 1,455 | |
| | その他 | 35 | 3.37 | 14 | 5.40 | 49 | 4.55 |
| 精 神 障 害 ・ 神 經 感 覚 器 疾 患 | 精神障害 神経感覚器疾患 | 20 | 0.14 | 18 | 0.09 | 38 | 0.11 |
| 循 環 器 疾 患 | 高血圧 | 314 | | 283 | | 597 | |
| | 高血圧性心疾患 | 0 | | 2 | | 2 | |
| | 虚血性心疾患 | 14 | 5.67 | 8 | 3.60 | 22 | 4.46 |
| | その他の心疾患 | 226 | | 191 | | 417 | |
| | 脳血管障害 | 69 | | 65 | | 134 | |
| | その他の循環器疾患 | 163 | | 142 | | 305 | |
| 呼 吸 器 疾 患 | 喘息 | 2 | | 4 | | 6 | |
| | 肺気腫 | 51 | 1.82 | 2 | 1.14 | 53 | 1.43 |
| | 肺線維症 | 13 | | 3 | | 16 | |
| | その他 | 187 | | 210 | | 397 | |
| 消 化 器 疾 患 | 胃炎 | 259 | | 176 | | 435 | |
| | 肝機能障害 | 1,022 | 11.26 | 733 | 6.11 | 1,755 | 8.27 |
| | その他 | 280 | | 265 | | 545 | |
| 泌 尿 ・ 生 殖 器 疾 患 | 腎炎 | 123 | | 194 | | 317 | |
| | その他 | 423 | 3.94 | 507 | 3.65 | 930 | 3.77 |
| 皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾 患 | 皮膚疾患 | 2 | | 3 | | 5 | |
| | リウマチ様関節炎 | 14 | 2.58 | 34 | 5.43 | 48 | 4.23 |
| | 骨粗鬆症 | 321 | | 986 | | 1,307 | |
| | その他の骨関節疾患 | 21 | | 20 | | 41 | |
| そ の 他 | 血尿 | 1,671 | | 5,096 | | 6,767 | |
| | 蛋白尿 | 923 | | 619 | | 1,542 | |
| | 高血糖 | 5,704 | 117.50 | 6,557 | 111.67 | 12,261 | 114.11 |
| | 糖尿 | 185 | | 61 | | 246 | |
| | 血沈促進 | 2,913 | | 2,247 | | 5,160 | |
| | その他 | 4,895 | | 6,884 | | 11,779 | |
| 総被検者数 | | 13,865 | | 19,221 | | 33,086 | |

g 当センターで発見した悪性新生物症例

| No. | 年齢 | 性別 | 被爆状況 | 病名 |
|-----|----|----|-------|-------------|
| 1 | 75 | M | 2.0km | 胃癌（早期） |
| 2 | 68 | F | 2.2km | 胃癌（早期） |
| 3 | 63 | F | 3.0km | 胃癌（早期） |
| 4 | 88 | M | 3.2km | 胃癌（早期） |
| 5 | 64 | M | 4.1km | 胃癌（早期） |
| 6 | 76 | M | 入市 | 胃癌（早期） |
| 7 | 79 | M | 3.6km | 胃癌（進行） |
| 8 | 74 | F | 入市 | 胃癌（進行） |
| 9 | 68 | M | 2.5km | 胃癌（進行） |
| 10 | 68 | M | 1.6km | 胃癌（早期・進行） |
| 11 | 68 | M | 1.0km | 胃癌 |
| 12 | 76 | F | 1.5km | 胃癌 |
| 13 | 78 | M | 3.8km | 胃癌 |
| 14 | 78 | M | 入市 | 胃癌 |
| 15 | 67 | F | 6.0km | 胃 MALT リンパ腫 |
| 16 | 76 | M | 2.0km | 胃悪性リンパ腫 |
| 17 | 88 | M | 4.1km | 肺癌 |
| 18 | 63 | F | 2.0km | 肺癌 |
| 19 | 77 | M | 4.0km | 肺癌 |
| 20 | 65 | F | 2.5km | 肺癌 |
| 21 | 63 | F | 1.5km | 肺癌 |
| 22 | 68 | F | 3.8km | 肺癌 |
| *23 | 80 | F | 入市 | 肺癌 |
| *24 | 80 | F | 入市 | 肺癌 |
| 25 | 81 | M | 入市 | 肺癌 |
| 26 | 78 | M | 2.0km | 肺癌 |
| 27 | 68 | M | 2.0km | 肺癌 |
| 28 | 75 | F | 2.5km | 肺癌 |
| 29 | 81 | F | 3.0km | 肺癌 |
| 30 | 69 | F | 入市 | 肺癌 |
| 31 | 79 | M | 2.0km | 肺癌 |
| 32 | 81 | F | 1.3km | 肺癌 |
| 33 | 73 | F | 3号 | 肺癌 |
| 34 | 78 | F | 3.0km | 肺癌 |
| 35 | 79 | F | 2.0km | 肺癌 |
| 36 | 67 | M | 4.1km | 肺癌 |
| 37 | 76 | F | 2.0km | 肺癌 |
| 38 | 75 | M | 2.0km | 結腸癌 |
| 39 | 76 | M | 1.5km | 結腸癌 |
| 40 | 63 | F | 4.1km | 結腸癌 |
| 41 | 68 | M | 4.1km | 結腸癌 |
| 42 | 73 | M | 3.0km | 結腸癌 |
| 43 | 73 | F | 4.1km | 結腸癌（早期） |
| 44 | 80 | F | 1.7km | 結腸癌（早期） |
| 45 | 81 | F | 3.0km | 結腸癌（早期） |
| 46 | 61 | F | 4号 | 結腸癌（早期） |
| 47 | 81 | M | 2.2km | 結腸癌（早期） |
| 48 | 63 | F | 3.0km | 結腸癌（早期） |
| 49 | 68 | M | 3号 | 結腸癌（早期） |
| 50 | 78 | F | 入市 | 結腸癌（早期） |
| 51 | 70 | M | 4.0km | 直腸癌 |
| 52 | 70 | F | 4.0km | 多発性骨髄腫 |

| No. | 年齢 | 性別 | 被爆状況 | 病名 |
|-----|----|----|-------|---------------|
| 53 | 68 | M | 4.1km | 多発性骨髄腫 |
| 54 | 74 | M | 3号 | 多発性骨髄腫 |
| 55 | 77 | M | 入市 | 多発性骨髄腫 |
| 56 | 85 | F | 0.9km | 多発性骨髄腫 |
| 57 | 78 | M | 2.5km | 多発性骨髄腫 |
| 58 | 82 | F | 3号 | 多発性骨髄腫 |
| 59 | 86 | M | 入市 | 多発性骨髄腫 |
| 60 | 67 | F | 入市 | 多発性骨髄腫 |
| 61 | 80 | F | 入市 | 多発性骨髄腫 |
| 62 | 84 | F | 3号 | 多発性骨髄腫 |
| 63 | 77 | M | 2.7km | 多発性骨髄腫 |
| 64 | 68 | F | 4.1km | 乳癌 |
| 65 | 72 | F | 入市 | 乳癌 |
| 66 | 79 | F | 入市 | 乳癌 |
| 67 | 76 | F | 入市 | 乳癌 |
| 68 | 65 | F | 2.0km | 乳癌 |
| 69 | 75 | F | 1.1km | 乳癌 |
| 70 | 69 | F | 4.0km | 乳癌 |
| 71 | 74 | F | 入市 | 乳癌 |
| 72 | 75 | F | 3号 | 乳癌 |
| 73 | 70 | F | 1.7km | 乳癌 |
| 74 | 77 | F | 4.0km | 乳癌 |
| 75 | 79 | F | 2.0km | 乳癌 |
| 76 | 73 | F | 4.1km | 乳癌 |
| 77 | 63 | F | 4.1km | 乳癌 |
| 78 | 71 | F | 入市 | 乳癌 |
| 79 | 77 | F | 入市 | 乳癌 |
| 80 | 73 | F | 3.0km | 乳癌 |
| 81 | 90 | F | 2.5km | 乳癌 |
| 82 | 62 | F | 3.0km | 乳癌 |
| 83 | 79 | F | 4.1km | 甲状腺癌 |
| 84 | 78 | F | 入市 | 甲状腺癌 |
| 85 | 65 | F | 入市 | 甲状腺癌 |
| 86 | 76 | F | 3.6km | 甲状腺癌 |
| 87 | 68 | M | 入市 | 甲状腺癌 |
| 88 | 71 | F | 4.1km | 甲状腺癌 |
| 89 | 62 | M | 3.0km | 甲状腺癌 |
| 90 | 62 | M | 4.1km | 膀胱癌 |
| 91 | 63 | M | 1.0km | 膀胱癌 |
| 92 | 67 | F | 2.0km | 子宮癌 |
| 93 | 87 | F | 0.7km | 腎癌 |
| 94 | 71 | F | 入市 | 急性骨髄性白血病 |
| 95 | 77 | F | 2.7km | 大型顆粒性リンパ球性白血病 |
| 96 | 78 | M | 1.6km | 骨髄異形成性症候群 |
| 97 | 72 | M | 入市 | 前立腺癌 |
| 98 | 75 | M | 入市 | 十二指腸癌（早期） |
| 99 | 73 | F | 入市 | 転移性肺癌 |
| 100 | 69 | F | 入市 | 転移性肺癌 |
| 101 | 77 | M | 1.5km | 悪性リンパ腫 |
| 102 | 73 | M | 入市 | 悪性胸腺腫（再発） |

* [No.23・No.24]は同一症例

h 被爆状況にみた悪性新生物

| 性別 | 被爆状況 | 肺癌 | | 大腸癌 | | 胃癌 | | 多発性骨髄腫 | | その他の癌 | | 合計 | |
|----|---------|----|-------|-----|-------|----|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-------|
| | | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % | 例数 | % |
| 男性 | 2.0km以内 | 3 | 42.9 | 2 | 28.6 | 4 | 36.4 | 0 | 0.0 | 3 | 33.3 | 12 | 30.0 |
| | 2.1km以上 | 3 | 42.9 | 4 | 57.1 | 5 | 45.5 | 3 | 50.0 | 2 | 22.2 | 17 | 42.5 |
| | 入市・他 | 1 | 14.3 | 1 | 14.3 | 2 | 18.2 | 3 | 50.0 | 4 | 44.4 | 11 | 27.5 |
| | 計 | 7 | 100.0 | 7 | 100.0 | 11 | 100.0 | 6 | 100.0 | 9 | 100.0 | 40 | 100.0 |
| 女性 | 2.0km以内 | 5 | 35.7 | 1 | 14.3 | 1 | 20.0 | 1 | 16.7 | 6 | 20.0 | 14 | 22.6 |
| | 2.1km以上 | 5 | 35.7 | 4 | 57.1 | 3 | 60.0 | 1 | 16.7 | 12 | 40.0 | 25 | 40.3 |
| | 入市・他 | 4 | 28.6 | 2 | 28.6 | 1 | 20.0 | 4 | 66.7 | 12 | 40.0 | 23 | 37.1 |
| | 計 | 14 | 100.0 | 7 | 100.0 | 5 | 100.0 | 6 | 100.0 | 30 | 100.0 | 62 | 100.0 |
| 計 | 2.0km以内 | 8 | 38.1 | 3 | 21.4 | 5 | 31.3 | 1 | 8.3 | 9 | 23.1 | 26 | 25.5 |
| | 2.1km以上 | 8 | 38.1 | 8 | 57.1 | 8 | 50.0 | 4 | 33.3 | 14 | 35.9 | 42 | 41.2 |
| | 入市・他 | 5 | 23.8 | 3 | 21.4 | 3 | 18.8 | 7 | 58.3 | 16 | 41.0 | 34 | 33.3 |
| | 計 | 21 | 100.0 | 14 | 100.0 | 16 | 100.0 | 12 | 100.0 | 39 | 100.0 | 102 | 100.0 |

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度からは、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

また、平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度からは広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

なお、平成18年度からは、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

被爆者がん検診の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5のとおりである。

表4 被爆者がん検診の推移

| 検診会場 検診 | 施設検診 | 出張検診 | | |
|------------|----------|----------------------|---------|--------------|
| | | 中区・南区・西区 区・東区・佐伯区 | 安芸区 | 安佐南区 安佐北区 |
| 胃がん検診 | 昭和63年8月～ | 平成2年4月～ | 平成4年4月～ | 平成5年4月～ |
| 肺がん検診 | | | | |
| 乳がん検診 | | | | |
| 子宮がん検診 | | | | |
| 多発性骨髄腫検診 | | 昭和63年8月～ | | |
| 大腸がん検診 | 平成4年10月～ | 平成4年10月～ | | |
| 骨粗鬆症検診 | 平成7年4月～ | | | |

表 5 被爆者ががん検診等年度別実施状況

(単位：件)

| 年 度 | 胃がん検診 | 肺がん検診 | 乳がん検診 | 子宮がん検診 | 多発性骨髄腫検診 | 大腸がん検診 | 骨粗鬆症検診 |
|-------|-------|--------|-------|--------|----------|--------|--------|
| 昭和 54 | 2,165 | | | | | | |
| 55 | 4,388 | | | | | | |
| 56 | 2,843 | | | | | | |
| 57 | 4,979 | | | | | | |
| 58 | 5,446 | | | | | | |
| 59 | 5,079 | | | | | | |
| 60 | 5,142 | | | | | | |
| 61 | 5,024 | | | | | | |
| 62 | 4,973 | 201 | | | | | |
| 63 | 5,255 | 6,442 | 961 | 897 | 40,027 | | |
| 平成元 | 3,848 | 8,052 | 809 | 751 | 43,045 | | |
| 2 | 6,415 | 10,579 | 2,468 | 2,277 | 40,060 | | |
| 3 | 5,976 | 10,964 | 2,304 | 2,135 | 40,418 | 4,018 | |
| 4 | 6,702 | 12,107 | 2,736 | 2,466 | 41,521 | 19,535 | |
| 5 | 8,095 | 14,189 | 3,630 | 3,390 | 34,909 | 18,306 | |
| 6 | 7,754 | 15,999 | 3,343 | 3,130 | 37,600 | 16,812 | |
| 7 | 8,034 | 16,522 | 3,305 | 3,105 | 36,347 | 16,196 | 3,995 |
| 8 | 7,953 | 16,104 | 3,288 | 3,094 | 30,677 | 16,657 | 3,891 |
| 9 | 7,835 | 15,764 | 3,155 | 2,959 | 33,103 | 15,619 | 5,605 |
| 10 | 7,574 | 15,148 | 2,783 | 2,649 | 31,304 | 15,029 | 6,055 |
| 11 | 7,878 | 15,542 | 2,947 | 2,779 | 28,068 | 15,105 | 6,597 |
| 12 | 7,686 | 15,523 | 3,024 | 2,876 | 28,793 | 14,472 | 7,000 |
| 13 | 7,244 | 14,967 | 2,860 | 2,715 | 26,898 | 13,901 | 6,848 |
| 14 | 7,161 | 15,596 | 2,843 | 2,724 | 26,131 | 13,669 | 7,211 |
| 15 | 7,215 | 15,573 | 2,907 | 2,736 | 25,502 | 13,375 | 7,516 |
| 16 | 6,950 | 14,650 | 2,864 | 2,548 | 23,823 | 12,453 | 7,193 |
| 17 | 6,809 | 14,135 | 2,590 | 2,405 | 22,804 | 12,288 | 6,580 |
| 18 | 6,416 | 13,720 | 3,073 | 2,499 | 22,401 | 11,570 | 6,480 |
| 19 | 5,967 | 12,972 | 3,026 | 2,499 | 20,416 | 11,257 | 6,049 |

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診及び平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として広島市の委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県、広島市及び島根県、大阪府、山口県、東京都の委託を受けて実施したものである。

エ 平成 19 年度被爆者ががん検診等実施状況

平成 19 年度の被爆者ががん検診等実施状況の詳細は以下のとおりである。

(7) 胃がん検診

胃がん検診における受診者は表 6a のとおり、男性 3,043 人、女性 2,924 人、計 5,967 人であり、要精検率はそれぞれ 8.4%、6.3%、7.4%、精検実施率はそれぞれ 98.8%、100.0%、99.3% である。要精検率は女性に比し男性はやや高率であり、年齢別には、高齢者ほど高率である傾向が見られた。精検実施者における精検結果は表 6b に示すように、有所見率は男性 7.92%、女性 5.81%、全体では 6.89% であり、男性が女性に比し高率である。所見の内訳では、胃炎が 3.90% と最も高率で、ついで、胃ポリープ 1.58%、胃潰瘍 1.07% の順である。

また、男性では胃炎、胃潰瘍、胃ポリープ（胃潰瘍と胃ポリープは同数）、女性では胃炎、胃ポリープ、胃潰瘍の順である。

今年度新たに発見された癌症例は全て胃癌で、表 6c に示すように男性では 11 例（0.36%）、女性は 5 例（0.17%）、計 16 例（0.27%）で、推定発見率はそれぞれ 0.37%、0.17%、0.27% で男性に高率である。被曝状況別の胃癌発見率は、近距離被爆群のほうが高い傾向にあった。食道癌は、

平成 19 年度は発見されなかった。

表 6 原爆 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 男 性 | | | | | 女 性 | | | | | 計 | | | | |
|-----------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 50～59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 60～69 | 1,342 | 95 | 7.1 | 94 | 98.9 | 1,257 | 77 | 6.1 | 77 | 100.0 | 2,599 | 172 | 6.6 | 171 | 99.4 |
| 70～79 | 1,448 | 132 | 9.1 | 131 | 99.2 | 1,227 | 82 | 6.7 | 82 | 100.0 | 2,675 | 214 | 8.0 | 213 | 99.5 |
| 80～92 | 253 | 28 | 11.1 | 27 | 96.4 | 440 | 26 | 5.9 | 26 | 100.0 | 693 | 54 | 7.8 | 53 | 98.1 |
| 計 | 3,043 | 255 | 8.4 | 252 | 98.8 | 2,924 | 185 | 6.3 | 185 | 100.0 | 5,967 | 440 | 7.4 | 437 | 99.3 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢 (歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | | | | | 有所見者数 | | |
|----|-----------|---------|----------------|-----|----------------|-------|----------------|--------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-------|-----|----------------|
| | | が ん | | 胃潰瘍 | | 胃ポリープ | | 十二指腸潰瘍 | | 胃 炎 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | |
| 男性 | 59～59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60～69 | 4 | 0.30 | 20 | 1.49 | 17 | 1.27 | 7 | 0.52 | 54 | 4.02 | 17 | 1.27 | 5 | 89 | 6.63 |
| | 70～79 | 6 | 0.41 | 24 | 1.66 | 25 | 1.73 | 8 | 0.55 | 72 | 4.97 | 38 | 2.62 | 6 | 125 | 8.63 |
| | 80～92 | 1 | 0.40 | 4 | 1.58 | 6 | 2.37 | 2 | 0.79 | 10 | 3.95 | 8 | 3.16 | 0 | 27 | 10.67 |
| | 計 | 11 | 0.36 | 48 | 1.58 | 48 | 1.58 | 17 | 0.56 | 136 | 4.47 | 63 | 2.07 | 11 | 241 | 7.92 |
| 女性 | 59～59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60～69 | 3 | 0.24 | 4 | 0.32 | 26 | 2.07 | 2 | 0.16 | 36 | 2.86 | 19 | 1.51 | 9 | 68 | 5.41 |
| | 70～79 | 2 | 0.16 | 8 | 0.65 | 16 | 1.30 | 3 | 0.24 | 47 | 3.83 | 20 | 1.63 | 5 | 77 | 6.28 |
| | 80～91 | 0 | 0.00 | 4 | 0.91 | 4 | 0.91 | 2 | 0.45 | 14 | 3.18 | 8 | 1.82 | 1 | 25 | 5.68 |
| | 計 | 5 | 0.17 | 16 | 0.55 | 47 | 1.61 | 7 | 0.24 | 97 | 3.32 | 47 | 1.61 | 15 | 170 | 5.81 |
| 計 | 59～59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60～69 | 7 | 0.27 | 24 | 0.92 | 43 | 1.65 | 9 | 0.35 | 90 | 3.46 | 36 | 1.39 | 14 | 157 | 6.04 |
| | 70～79 | 8 | 0.30 | 32 | 1.20 | 41 | 1.53 | 11 | 0.41 | 119 | 4.45 | 58 | 2.17 | 11 | 202 | 7.55 |
| | 80～92 | 1 | 0.14 | 8 | 1.15 | 10 | 1.44 | 4 | 0.58 | 24 | 3.46 | 16 | 2.31 | 1 | 52 | 7.50 |
| | 計 | 16 | 0.27 | 64 | 1.07 | 94 | 1.58 | 24 | 0.40 | 233 | 3.90 | 110 | 1.84 | 26 | 411 | 6.89 |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た胃癌発見率 (単位:人,%)

| 性 | 被 曝 状 況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 胃 癌 症 例 | | |
|----|--------------|-------|----------------|----------------|--------|------------------|--------------------|------|------|
| | | | % ¹ | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ | | |
| 男性 | 2.0km以内直接被爆群 | 677 | 61 | 9.0 | 61 | 100.0 | 4 | 0.59 | 0.59 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 1,028 | 72 | 7.0 | 71 | 98.6 | 4 | 0.39 | 0.39 |
| | 入 市・他 群 | 1,338 | 122 | 9.1 | 120 | 98.4 | 3 | 0.22 | 0.23 |
| | 計 | 3,043 | 255 | 8.4 | 252 | 98.8 | 11 | 0.36 | 0.37 |
| 女性 | 2.0km以内直接被爆群 | 574 | 47 | 8.2 | 47 | 100.0 | 2 | 0.35 | 0.35 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 932 | 55 | 5.9 | 55 | 100.0 | 2 | 0.21 | 0.21 |
| | 入 市・他 群 | 1,418 | 83 | 5.9 | 83 | 100.0 | 1 | 0.07 | 0.07 |
| | 計 | 2,924 | 185 | 6.3 | 185 | 100.0 | 5 | 0.17 | 0.17 |
| 計 | 2.0km以内直接被爆群 | 1,251 | 108 | 8.6 | 108 | 100.0 | 6 | 0.48 | 0.48 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 1,960 | 127 | 6.5 | 126 | 99.2 | 6 | 0.31 | 0.31 |
| | 入 市・他 群 | 2,756 | 205 | 7.4 | 203 | 99.0 | 4 | 0.15 | 0.15 |
| | 計 | 5,967 | 440 | 7.4 | 437 | 99.3 | 16 | 0.27 | 0.27 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者は表 7aのとおり、男性 6,076 人、女性 6,896 人、計 12,972 人である。要精検率は男性 2.8%、女性 3.6%、計 3.2%と女性に高く、加齢に伴って増加の傾向を認める。精検実施率は男性 96.4%、女性 96.0%、全体では 96.2%である。精検結果は表 7bに示すように、有所見率は男性 2.44%、女性 3.03%、計 2.75%で、女性に高率で、加齢に伴って増加する傾向がみられる。所見の内訳では閉塞性肺疾患 0.22%、肺線維症 0.15%、胸膜炎 0.19%である。

今年度新たに発見された肺癌症例は表 7cに示す如くで、男性 4 例 (0.07%)、女性 10 例 (0.15%)、計 14 例 (0.11%) で、推定発見率はそれぞれ 0.07%、0.15%、0.11%である。被曝状況別の肺癌発見率には、一定の傾向は見られない。

表 7 原爆 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 男 性 | | | | | 女 性 | | | | | 計 | | | | |
|-----------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 50~59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 60~69 | 2,511 | 54 | 2.2 | 53 | 98.1 | 2,639 | 87 | 3.3 | 84 | 96.6 | 5,150 | 141 | 2.7 | 137 | 97.2 |
| 70~79 | 2,964 | 86 | 2.9 | 84 | 3.0 | 3,003 | 107 | 3.6 | 105 | 98.1 | 5,967 | 193 | 3.2 | 189 | 97.9 |
| 80~97 | 601 | 28 | 4.7 | 25 | 89.3 | 1,254 | 56 | 4.5 | 51 | 91.1 | 1,855 | 84 | 4.5 | 76 | 90.5 |
| 計 | 6,076 | 168 | 2.8 | 162 | 96.4 | 6,896 | 250 | 3.6 | 240 | 96.0 | 12,972 | 418 | 3.2 | 402 | 96.2 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢 (歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | | | | | | | 有所見者数 | | |
|----|-----------|---------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|--------|----------------|-----|----------------|------|----------------|-----|----------------|-------|-----|----------------|
| | | が ん | | 肺結核 | | 胸膜炎 | | 閉塞性肺疾患 | | 肺 炎 | | 肺線維症 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | |
| 男性 | 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 1 | 0.04 | 2 | 0.08 | 9 | 0.36 | 4 | 0.16 | 2 | 0.08 | 4 | 0.16 | 29 | 1.15 | 3 | 50 | 1.99 |
| | 70~79 | 2 | 0.07 | 3 | 0.10 | 5 | 0.17 | 13 | 0.44 | 1 | 0.03 | 10 | 0.34 | 43 | 1.45 | 9 | 75 | 2.53 |
| | 80~97 | 1 | 0.17 | 1 | 0.17 | 3 | 0.50 | 4 | 0.67 | 3 | 0.50 | 0 | 0.00 | 14 | 2.33 | 2 | 23 | 3.83 |
| | 計 | 4 | 0.07 | 6 | 0.10 | 17 | 0.28 | 21 | 0.35 | 6 | 0.10 | 14 | 0.23 | 86 | 1.42 | 14 | 148 | 2.44 |
| 女性 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 5 | 0.19 | 1 | 0.04 | 3 | 0.11 | 2 | 0.08 | 1 | 0.04 | 1 | 0.04 | 60 | 2.27 | 14 | 70 | 2.65 |
| | 70~79 | 2 | 0.07 | 6 | 0.20 | 3 | 0.10 | 2 | 0.07 | 1 | 0.03 | 4 | 0.13 | 74 | 2.46 | 15 | 90 | 3.00 |
| | 80~97 | 3 | 0.24 | 0 | 0.00 | 2 | 0.16 | 3 | 0.24 | 0 | 0.00 | 1 | 0.08 | 45 | 3.59 | 2 | 49 | 3.91 |
| | 計 | 10 | 0.15 | 7 | 0.10 | 8 | 0.12 | 7 | 0.10 | 2 | 0.03 | 6 | 0.09 | 179 | 2.60 | 31 | 209 | 3.03 |
| 計 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 6 | 0.12 | 3 | 0.06 | 12 | 0.23 | 6 | 0.12 | 3 | 0.06 | 5 | 0.10 | 89 | 1.73 | 17 | 120 | 2.33 |
| | 70~79 | 4 | 0.07 | 9 | 0.15 | 8 | 0.13 | 15 | 0.25 | 2 | 0.03 | 14 | 0.23 | 117 | 1.96 | 24 | 165 | 2.77 |
| | 80~97 | 4 | 0.22 | 1 | 0.05 | 5 | 0.27 | 7 | 0.38 | 3 | 0.16 | 1 | 0.05 | 59 | 3.18 | 4 | 72 | 3.88 |
| | 計 | 14 | 0.11 | 13 | 0.10 | 25 | 0.19 | 28 | 0.22 | 8 | 0.06 | 20 | 0.15 | 265 | 2.04 | 45 | 357 | 2.75 |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た肺癌発見率 (単位:人,%)

| 性 | 被曝状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 肺 癌 症 例 | | |
|----|--------------|--------|----------------|----------------|--------|------------------|--------------------|------|------|
| | | | % ¹ | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ | | |
| 男性 | 2.0km以内直接被曝群 | 1,429 | 42 | 2.9 | 40 | 95.2 | 3 | 0.21 | 0.22 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 2,101 | 59 | 2.8 | 58 | 98.3 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 入 市・他 群 | 2,546 | 67 | 2.6 | 64 | 95.5 | 1 | 0.04 | 0.04 |
| | 計 | 6,076 | 168 | 2.8 | 162 | 96.4 | 4 | 0.07 | 0.07 |
| 女性 | 2.0km以内直接被曝群 | 1,612 | 57 | 3.5 | 55 | 96.5 | 2 | 0.12 | 0.13 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 2,280 | 85 | 3.7 | 81 | 95.3 | 4 | 0.18 | 0.18 |
| | 入 市・他 群 | 3,004 | 108 | 3.6 | 104 | 96.3 | 4 | 0.13 | 0.14 |
| | 計 | 6,896 | 250 | 3.6 | 240 | 96.0 | 10 | 0.15 | 0.15 |
| 計 | 2.0km以内直接被曝群 | 3,041 | 99 | 3.3 | 95 | 96.0 | 5 | 0.16 | 0.17 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 4,381 | 144 | 3.3 | 139 | 96.5 | 4 | 0.09 | 0.09 |
| | 入 市・他 群 | 5,550 | 175 | 3.2 | 168 | 96.0 | 5 | 0.09 | 0.09 |
| | 計 | 12,972 | 418 | 3.2 | 402 | 96.2 | 14 | 0.11 | 0.11 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(7) 乳がん・子宮がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8aのとおりで 3,026 人、子宮がん検診は 2,499 人である。要精検率は、乳がん検診が 7.6%、子宮がん検診が 0.3%である。また、精検実施率はそれぞれ 93.0%、75.0%である。

表 8 原爆 乳がん・子宮がん

a 受診者数, 要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

| | 年齢(歳) | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
|--------|-------|-------|-------|----------------|--------|----------------|
| | | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ² |
| 乳がん検診 | 50~59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 60~69 | 1,505 | 107 | 7.1 | 98 | 91.6 |
| | 70~79 | 1,231 | 103 | 8.4 | 97 | 94.2 |
| | 80~94 | 290 | 19 | 6.6 | 18 | 94.7 |
| | 計 | 3,026 | 229 | 7.6 | 213 | 93.0 |
| 子宮がん検診 | 50~59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 60~69 | 1,276 | 5 | 0.4 | 5 | 0.0 |
| | 70~79 | 987 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 80~89 | 236 | 2 | 0.8 | 1 | 0.0 |
| | 計 | 2,499 | 8 | 0.3 | 6 | 75.0 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施数/要精検者数×100

表 8bにそれぞれの精検結果を示す。乳がん検診の有所見率は 5.09%で、70 歳代で高率である。所見の内訳は乳腺症が 2.61%と最も多く、ついで乳癌 0.36%の順である。子宮がん検診の有所見率は 0.16%である。

今年度新たに発見された乳癌並びに子宮癌は表 8cに示す如くで、それぞれ 11 例 (0.36%)、及び 1 例 (0.04%) であり、推定発見率はそれぞれ 0.39%、0.05%である。また、被曝状況別には一定の傾向は見られなかった。

b 精検結果

(単位:人)

| 乳がん検診 | 年齢(歳) | 精検所見 | | | | | | | | | 有所見者数 | |
|-------|-------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|-----|-------|----------------|
| | | が ん | | 線維腺腫 | | 乳腺症 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | | | |
| 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 | |
| 60~69 | 2 | 0.13 | 1 | 0.07 | 36 | 2.39 | 30 | 1.99 | 32 | 66 | 4.39 | |
| 70~79 | 9 | 0.73 | 0 | 0.00 | 35 | 2.84 | 34 | 2.76 | 21 | 76 | 6.17 | |
| 80~94 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 8 | 2.76 | 6 | 2.07 | 6 | 12 | 4.14 | |
| 計 | 11 | 0.36 | 1 | 0.03 | 79 | 2.61 | 70 | 2.31 | 59 | 154 | 5.09 | |

| 子宮がん検診 | 年齢(歳) | 精検所見 | | | | | | | 正常 | 有所見者数 | |
|--------|-------|------|----------------|----------|----------------|--------|----------------|------|----------------|-------|----------------|
| | | が ん | | 中・高度異型上皮 | | 軽度異型上皮 | | その他 | | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | |
| 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| 60~69 | 1 | 0.08 | 0 | 0.00 | 3 | 0.24 | 0 | 0.00 | 1 | 4 | 0.31 |
| 70~79 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| 80~89 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0 | 0.00 |
| 計 | 1 | 0.04 | 0 | 0.00 | 3 | 0.12 | 0 | 0.00 | 2 | 4 | 0.16 |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た乳癌・子宮癌発見率

(単位:人, %)

| 乳がん検診 | 被曝状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 乳癌症例 | | |
|--------|--------------|-------|-------|----------------|--------|----------------|-------|------------------|--------------------|
| | | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ |
| 乳がん検診 | 2.0km以内直接被曝群 | 682 | 53 | 7.8 | 49 | 92.5 | 3 | 0.44 | 0.48 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 950 | 71 | 7.5 | 67 | 94.4 | 2 | 0.21 | 0.22 |
| | 入市・他群 | 1,394 | 105 | 7.5 | 97 | 92.4 | 6 | 0.43 | 0.47 |
| | 計 | 3,026 | 229 | 7.6 | 213 | 93.0 | 11 | 0.36 | 0.39 |
| 子宮がん検診 | 被曝状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 子宮癌症例 | | |
| | | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ |
| | 2.0km以内直接被曝群 | 551 | 3 | 0.5 | 3 | 0.0 | 1 | 0.18 | 0.00 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 794 | 4 | 0.5 | 2 | 50.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 入市・他群 | 1,154 | 1 | 0.1 | 1 | 100.0 | 0 | 0.00 | 0.00 | |
| 計 | 2,499 | 8 | 0.3 | 6 | 75.0 | 1 | 0.04 | 0.05 | |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(I) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者は20,416人であり、その内訳は男性8,572人、女性11,844人で、要精検率はそれぞれ4.1%、2.7%で全体では3.3%である。また、精検実施率は56.1%、60.4%、58.2%である(表9a)。精検結果は表9bのとおりで、有所見率は男性1.47%、女性0.82%、計1.09%で、その内訳で最も多くみられるのは前骨髄腫0.38%で、ついで良性M蛋白血症0.33%、骨髄腫0.25%、マクログロブリン血症0.12%の順である。骨髄腫症例は男性29例(0.34%)、女性23例(0.19%)、計52例(0.25%)である。今年度新たに発見された多発性骨髄腫症例は、表9cに示すように男女とも平成19年度は発見されなかった。

表9 原爆 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢(歳) | 男性 | | | | | 女性 | | | | | 計 | | | | |
|-------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 59~59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 60~69 | 3,300 | 86 | 2.6 | 47 | 54.7 | 4,165 | 75 | 1.8 | 41 | 54.7 | 7,465 | 161 | 2.2 | 88 | 54.7 |
| 70~79 | 4,205 | 198 | 4.7 | 110 | 55.6 | 5,050 | 136 | 2.7 | 87 | 64.0 | 9,255 | 334 | 3.6 | 197 | 59.0 |
| 80~98 | 1,067 | 67 | 6.3 | 40 | 59.7 | 2,629 | 105 | 4.0 | 63 | 60.0 | 3,696 | 172 | 4.7 | 103 | 59.9 |
| 計 | 8,572 | 351 | 4.1 | 197 | 56.1 | 11,844 | 316 | 2.7 | 191 | 60.4 | 20,416 | 667 | 3.3 | 388 | 58.2 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢(歳) | 精検所見 | | | | | | | | | 有所見者数 | | | |
|----|-------|------|----------------|------|----------------|------------|----------------|---------|----------------|--------|-------|----------------|------|------|
| | | 骨髄腫 | | 前骨髄腫 | | マクログロブリン血症 | | 良性M蛋白血症 | | M蛋白(-) | | | | |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | 例数 | % ¹ | | |
| 男性 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 5 | 0.15 | 7 | 0.21 | 7 | 0.21 | 8 | 0.24 | 20 | 0.58 | 27 | 0.82 | |
| | 70~79 | 16 | 0.38 | 24 | 0.57 | 8 | 0.19 | 21 | 0.50 | 40 | 0.91 | 69 | 1.64 | |
| | 80~97 | 8 | 0.75 | 9 | 0.84 | 5 | 0.47 | 8 | 0.75 | 10 | 0.94 | 30 | 2.81 | |
| | 計 | 29 | 0.34 | 40 | 0.47 | 20 | 0.23 | 37 | 0.43 | 70 | 0.82 | 126 | 1.47 | |
| 女性 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 3 | 0.07 | 6 | 0.14 | 1 | 0.02 | 6 | 0.14 | 25 | 0.56 | 16 | 0.38 | |
| | 70~79 | 10 | 0.20 | 16 | 0.32 | 3 | 0.06 | 17 | 0.34 | 40 | 0.82 | 47 | 0.93 | |
| | 80~98 | 10 | 0.38 | 15 | 0.57 | 1 | 0.04 | 8 | 0.30 | 29 | 0.75 | 34 | 1.29 | |
| | 計 | 23 | 0.19 | 37 | 0.31 | 5 | 0.04 | 31 | 0.26 | 94 | 0.75 | 97 | 0.82 | |
| 計 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 8 | 0.11 | 13 | 0.17 | 8 | 0.11 | 14 | 0.19 | 45 | 0.56 | 43 | 0.58 | |
| | 70~79 | 26 | 0.28 | 40 | 0.43 | 11 | 0.12 | 38 | 0.41 | 80 | 0.82 | 116 | 1.25 | |
| | 80~98 | 18 | 0.49 | 24 | 0.65 | 6 | 0.16 | 16 | 0.43 | 39 | 0.92 | 64 | 1.73 | |
| | 計 | 52 | 0.25 | 77 | 0.38 | 25 | 0.12 | 68 | 0.33 | 164 | 0.80 | 223 | 1.09 | |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た多発性骨髄腫発見率 (単位:人,%)

| 性 | 被曝状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 骨髄腫症例数 | | 新規骨髄腫症例 ¹ | | |
|----|--------------|--------|----------------|----------------|----------------|------|------------------|--------------------|----------------------|------|------|
| | | | % ² | % ³ | % ⁴ | 例数 | 発見率 ⁴ | 推定発見率 ⁵ | | | |
| 男性 | 2.0km以内直接被曝群 | 2,019 | 91 | 4.5 | 55 | 60.4 | 6 | 0.30 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 2,932 | 103 | 3.5 | 53 | 51.5 | 11 | 0.38 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 入市・他群 | 3,621 | 157 | 4.3 | 89 | 56.7 | 12 | 0.33 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 8,572 | 351 | 4.1 | 197 | 56.1 | 29 | 0.34 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 女性 | 2.0km以内直接被曝群 | 2,744 | 75 | 2.7 | 40 | 53.3 | 4 | 0.15 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 3,925 | 99 | 2.5 | 63 | 63.6 | 5 | 0.13 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 入市・他群 | 5,175 | 142 | 2.7 | 88 | 62.0 | 14 | 0.27 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 11,844 | 316 | 2.7 | 191 | 60.4 | 23 | 0.19 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 2.0km以内直接被曝群 | 4,763 | 166 | 3.5 | 95 | 57.2 | 10 | 0.21 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 6,857 | 202 | 2.9 | 116 | 57.4 | 16 | 0.23 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 入市・他群 | 8,796 | 299 | 3.4 | 177 | 59.2 | 26 | 0.30 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 20,416 | 667 | 3.3 | 388 | 58.2 | 52 | 0.25 | 0 | 0.00 | 0.00 |

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

² 要精検率: 要精検者数/受診者×100

³ 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

⁴ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁵ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 10a に示すとおり、男性 4,909 人、女性 6,350 人、計 11,259 人であり、要精検率はそれぞれ 7.3%、5.0%、6.0% である。精検実施率は全体で 53.5% である。精検結果は表 10b に示す如くで、最も多いのは腺腫 1.07%、ついで非腫瘍性ポリープ 0.73%、大腸癌 0.12% の順である。

今年度新たに発見された大腸癌症例は表 10c のとおり男性 5 例 (0.10%)、女性 9 例 (0.14%)、計 14 例 (0.12%) であり、推定発見率はそれぞれ 0.19%、0.27%、0.23% と女性に高率である。被曝状況別には一定の傾向はみられない。

表 10 原爆 大腸がん検診

a 受診者数 要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 男 性 | | | | 女 性 | | | | 計 | | | | | |
|-----------|-------|-------------------------|--------------------------|-----|-------|-------------------------|--------------------------|-----|------|-------------------------|--------------------------|-----|-----|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 % ¹ | 精検実施者数 % ² | | 受診者数 | 要精検者数 % ¹ | 精検実施者数 % ² | | 受診者数 | 要精検者数 % ¹ | 精検実施者数 % ² | | | |
| 59~59 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | |
| 60~69 | 1,766 | 113 | 6.4 | 70 | 2,112 | 72 | 3.4 | 41 | 56.9 | 3,878 | 185 | 4.8 | 111 | 60.0 |
| 70~79 | 2,540 | 185 | 7.3 | 95 | 2,875 | 145 | 5.0 | 86 | 59.3 | 5,415 | 330 | 6.1 | 181 | 54.8 |
| 80~98 | 603 | 61 | 10.1 | 31 | 1,363 | 99 | 7.3 | 38 | 38.4 | 1,966 | 160 | 8.1 | 69 | 43.1 |
| 計 | 4,909 | 359 | 7.3 | 196 | 6,350 | 316 | 5.0 | 165 | 52.2 | 11,259 | 675 | 6.0 | 361 | 53.5 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢 (歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | | 有 所 見 者 数 | |
|-----|----------------|---------|----------------|-----|----------------|-----------------|----------------|-------|----------------|-----|-----------|----------------|
| | | が ん | | 腺 腫 | | 非 腫 瘍 性 ポ リ ー プ | | そ の 他 | | 正 常 | 例 数 | % ¹ |
| 例 数 | % ¹ | 例 数 | % ¹ | 例 数 | % ¹ | 例 数 | % ¹ | 例 数 | % ¹ | | | |
| 男 性 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 3 | 0.17 | 33 | 1.87 | 10 | 0.57 | 10 | 0.57 | 18 | 52 | 2.94 |
| | 70~79 | 2 | 0.08 | 30 | 1.18 | 26 | 1.02 | 33 | 1.30 | 24 | 71 | 2.80 |
| | 80~97 | 0 | 0.00 | 10 | 1.66 | 9 | 1.49 | 8 | 1.33 | 8 | 23 | 3.81 |
| | 計 | 5 | 0.10 | 73 | 1.49 | 45 | 0.92 | 51 | 1.04 | 50 | 146 | 2.97 |
| 女 性 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 2 | 0.09 | 12 | 0.57 | 8 | 0.38 | 4 | 0.19 | 15 | 26 | 1.23 |
| | 70~79 | 7 | 0.24 | 26 | 0.90 | 21 | 0.73 | 26 | 0.90 | 15 | 71 | 2.47 |
| | 80~98 | 0 | 0.00 | 10 | 0.73 | 8 | 0.59 | 9 | 0.66 | 14 | 24 | 1.76 |
| | 計 | 9 | 0.14 | 48 | 0.76 | 37 | 0.58 | 39 | 0.61 | 44 | 121 | 1.91 |
| 計 | 59~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 5 | 0.13 | 45 | 1.16 | 18 | 0.46 | 14 | 0.36 | 33 | 78 | 2.01 |
| | 70~79 | 9 | 0.17 | 56 | 1.03 | 47 | 0.87 | 59 | 1.09 | 39 | 142 | 2.62 |
| | 80~98 | 0 | 0.00 | 20 | 1.02 | 17 | 0.86 | 17 | 0.86 | 22 | 47 | 2.39 |
| | 計 | 14 | 0.12 | 121 | 1.07 | 82 | 0.73 | 90 | 0.80 | 94 | 267 | 2.37 |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数 × 100

c 被曝状況別に見た大腸癌発見率 (単位:人,%)

| 性 | 被 曝 状 況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 大 腸 癌 症 例 | | |
|-----|--------------|--------|----------------|-----|----------------|------|------------------|--------------------|------|
| | | | % ¹ | | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ | |
| 男 性 | 2.0km以内直接被曝群 | 1,094 | 86 | 7.9 | 49 | 57.0 | 1 | 0.09 | 0.16 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 1,608 | 125 | 7.8 | 72 | 57.6 | 2 | 0.12 | 0.22 |
| | 入 市 ・ 他 群 | 2,207 | 148 | 6.7 | 75 | 50.7 | 2 | 0.09 | 0.18 |
| | 計 | 4,909 | 359 | 7.3 | 196 | 54.6 | 5 | 0.10 | 0.19 |
| 女 性 | 2.0km以内直接被曝群 | 1,395 | 82 | 5.9 | 42 | 51.2 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 2,008 | 102 | 5.1 | 59 | 57.8 | 5 | 0.25 | 0.43 |
| | 入 市 ・ 他 群 | 2,947 | 132 | 4.5 | 64 | 48.5 | 4 | 0.14 | 0.28 |
| | 計 | 6,350 | 316 | 5.0 | 165 | 52.2 | 9 | 0.14 | 0.27 |
| 計 | 2.0km以内直接被曝群 | 2,489 | 168 | 6.7 | 91 | 54.2 | 1 | 0.04 | 0.07 |
| | 2.1km以上直接被曝群 | 3,616 | 227 | 6.3 | 131 | 57.7 | 7 | 0.19 | 0.34 |
| | 入 市 ・ 他 群 | 5,154 | 280 | 5.4 | 139 | 49.6 | 6 | 0.12 | 0.23 |
| | 計 | 11,259 | 675 | 6.0 | 361 | 53.5 | 14 | 0.12 | 0.23 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(カ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要因の一つである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成7年4月より実施されている。受診者の内訳は表11aに示すとおりで男性2,702人、女性3,347人、計6,049人であり、女性における関心の高さが示されている。

「減少あり」と判定された有所見率は男性14.5%、女性48.5%である。女性は男性に比して高率であり、高度減少者の比率は、高齢になるほど高い傾向がみられた。被曝状況別にみた結果を表11bに示すが、男女とも被曝状況別には一定の傾向は認められない。

表11 原爆 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果 (単位:人)

| 性 | 年齢(歳) | 受診者数 | 測定結果 | | | | | |
|----|-------|-------|-------|------|-----|-----|-------|----------------|
| | | | 減少なし | 減少あり | | | 計 | % ¹ |
| | | | | 軽度 | 中等度 | 高度 | | |
| 男性 | 50～59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 60～69 | 1,174 | 1,009 | 29 | 95 | 41 | 165 | 14.1 |
| | 70～79 | 1,328 | 1,411 | 29 | 108 | 50 | 187 | 14.1 |
| | 80～96 | 200 | 160 | 8 | 22 | 10 | 40 | 20.0 |
| | 計 | 2,702 | 2,580 | 66 | 225 | 101 | 392 | 14.5 |
| 女性 | 59～59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 60～69 | 1,485 | 806 | 71 | 351 | 257 | 679 | 45.7 |
| | 70～79 | 1,427 | 693 | 75 | 313 | 346 | 734 | 51.4 |
| | 80～94 | 435 | 224 | 21 | 98 | 92 | 211 | 48.5 |
| | 計 | 3,347 | 1,723 | 167 | 762 | 695 | 1,624 | 48.5 |
| 計 | 58～59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 60～69 | 2,659 | 1,815 | 100 | 446 | 298 | 844 | 31.7 |
| | 70～79 | 2,755 | 2,104 | 104 | 421 | 396 | 921 | 33.4 |
| | 80～96 | 635 | 384 | 29 | 120 | 102 | 251 | 39.5 |
| | 計 | 6,049 | 4,303 | 233 | 987 | 796 | 2,016 | 33.3 |

¹ 所見率: 所見例数 / 受診者数 × 100

b 被曝状況別に見た骨密度測定結果

| 性 | 被曝状況 | 受診者数 | 測定結果 | | | | | |
|----|--------------|-------|-------|------|-----|-----|-------|----------------|
| | | | 減少なし | 減少あり | | | 計 | % ¹ |
| | | | | 軽度 | 中等度 | 高度 | | |
| 男性 | 2.0km以内直接被爆群 | 687 | 572 | 19 | 73 | 23 | 115 | 16.7 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 950 | 828 | 22 | 69 | 31 | 122 | 12.8 |
| | 入市・他群 | 1,065 | 910 | 25 | 83 | 47 | 155 | 14.6 |
| | 計 | 2,702 | 2,310 | 66 | 225 | 101 | 392 | 14.5 |
| 女性 | 2.0km以内直接被爆群 | 850 | 448 | 41 | 181 | 180 | 402 | 47.3 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 1,116 | 590 | 45 | 259 | 222 | 526 | 47.1 |
| | 入市・他群 | 1,381 | 685 | 81 | 322 | 293 | 696 | 50.4 |
| | 計 | 3,347 | 1,723 | 167 | 762 | 695 | 1,624 | 48.5 |
| 計 | 2.0km以内直接被爆群 | 1,537 | 1,020 | 60 | 254 | 203 | 517 | 33.6 |
| | 2.1km以上直接被爆群 | 2,066 | 1,418 | 67 | 328 | 253 | 648 | 31.4 |
| | 入市・他群 | 2,446 | 1,595 | 106 | 405 | 340 | 851 | 34.8 |
| | 計 | 6,049 | 4,033 | 233 | 987 | 796 | 2,016 | 33.3 |

¹ 所見率: 所見例数 / 受診者数 × 100

オ 原爆被爆者二世健康診断の実施

原爆被爆者二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。

なお、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆者二世健康診断の実施状況は表 12 のとおりである。

表 12 原爆被爆者二世健康診断実施状況

(単位：件, %)

| 年 度 | 一般検査 | 精密検査 | 精検実施率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 昭和 48 | 578 | 580 | 100.3 |
| 49 | 109 | 110 | 100.9 |
| 50 | 82 | 83 | 101.2 |
| 51 | 51 | 51 | 100.0 |
| 52 | 131 | 129 | 98.5 |
| 53 | 124 | 126 | 101.6 |
| 54 | 1,942 | 1,768 | 91.0 |
| 55 | 1,041 | 626 | 60.1 |
| 56 | 854 | 494 | 57.8 |
| 57 | 995 | 572 | 57.5 |
| 58 | 1,152 | 663 | 57.6 |
| 59 | 1,551 | 853 | 55.0 |
| 60 | 1,798 | 1,072 | 59.6 |
| 61 | 1,967 | 1,155 | 58.7 |
| 62 | 2,250 | 1,314 | 58.4 |
| 63 | 2,780 | 1,551 | 55.8 |

| 年 度 | 一般検査 | 精密検査 | 精検実施率 |
|-----|-------|-------|-------|
| 平成元 | 2,417 | 1,161 | 48.0 |
| 2 | 2,078 | 1,127 | 54.2 |
| 3 | 2,132 | 1,219 | 57.2 |
| 4 | 2,309 | 1,520 | 65.8 |
| 5 | 2,508 | 1,610 | 64.2 |
| 6 | 2,297 | 1,698 | 73.9 |
| 7 | 2,391 | 1,936 | 81.0 |
| 8 | 2,475 | 2,138 | 86.4 |
| 9 | 2,867 | 2,309 | 80.5 |
| 10 | 2,786 | 2,796 | 100.4 |
| 11 | 3,201 | 3,202 | 100.0 |
| 12 | 3,711 | 3,711 | 100.0 |
| 13 | 3,762 | 3,762 | 100.0 |
| 14 | 2,919 | 2,919 | 100.0 |
| 15 | 3,150 | 3,150 | 100.0 |
| 16 | 2,483 | 2,483 | 100.0 |
| 17 | 2,678 | 2,678 | 100.0 |
| 18 | 2,497 | 2,497 | 100.0 |
| 19 | 2,477 | 2,477 | 100.0 |

(2) 老人保健法健康診査等

ア 老人保健法健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、老人保健法に基づく基本健康診査、がん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

| 検診項目 | 検診会場 | 施設検診 | 出張検診 | | | |
|---------------|------|----------|-----------------|------|---------|----------|
| | | | 中区・南区・西区・東区・佐伯区 | 安芸区 | 安佐南区 | 安佐北区 |
| 老健法基本健康診査 | | | 2.4～ | | 10.4～* | 10.4～** |
| 胃がん検診 | | 元.9～ | | 4.4～ | 5.4～ | |
| 肺がん検診 | | | 8.4～ | | | |
| 乳がん検診 | | | 2.4～ | 4.4～ | 5.4～ | |
| 子宮がん検診 | | | | | | |
| 大腸がん検診 | | 4.11～ | 4.11～ | | 10.4～* | 10.4～** |
| 結核健診 | | 元.9～ | 2.4～ | | | |
| 骨粗鬆症検診 | | 7.10～ | | | | |
| マンモグラフィ検診 | | 9.4～17.3 | | | | |
| C型・B型肝炎ウイルス検査 | | 10.10～ | 10.10～ | | 10.10～* | 10.10～** |

「元.9～」は、平成元年9月から検診を開始したことを示す。

* 日曜検診のみ ※ 白木町は平成2年4月から13年3月まで
平成17年度からは、乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

表2 健診種別及び検査項目(平成19年度)

| 種別 | 対象者(広島市内在住者) | 検査項目 |
|----------------------|---|--|
| 老人保健法基本健康診査 | 必須検査 | 40歳以上の者 身体計測、検尿、血圧測定、血中脂質検査、腎機能検査、肝機能検査、血糖検査、診察 |
| | 選択検査 | 医師の判断により選択的に実施 心電図、眼底検査、貧血検査、糖尿病検査 |
| がん検診 | 胃がん検診 | 40歳以上の者 胃部X線撮影 |
| | 肺がん検診 | 胸部X線撮影(間接)、喀痰細胞診検査 |
| | 乳がん検診 | 40歳以上の女性、2年に1回 視診、触診、マンモグラフィによる画像診断 |
| | 子宮がん検診 | 20歳以上の女性、2年に1回 視診、内診、細胞診(頸部、体部) |
| | 大腸がん検診 | 40歳以上の者 便潜血二日法 |
| 結核健康診断 | 65歳以上の者 胸部X線撮影(間接) | |
| 骨粗鬆症検診 | 女性：20歳から5歳間隔の年齢の者 男性：40歳から5歳間隔の年齢の者 骨塩定量検査(超音波方式) | |
| C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診) | 節目検診 | 40歳の者(基本健康診査受診者のうち希望者) |
| | 未受診者検診 | 過去に肝炎ウイルス検診の対象者であって、受診の機会を逸した者 |
| | 二次検診 | 基本健康診査の結果、肝機能検査上でGPTが36～45IU/Lで検査を希望する40歳以上の者 |
| | | HCV抗体検査+HBs抗原検査(必要に応じてHCV抗原検査、HCV核酸同定検査を実施) |

表3 実施状況

(単位:件)

| 年 度 | 基本健康診査 | | が ん 検 診 | | | | | 結核定期健康診断 | 骨粗鬆症検 診 | マンモグラフィ検 診 | C型・B型肝炎ウイルス検査 |
|-----|--------|--------|---------|--------|--------|--------|-------|----------|---------|------------|---------------|
| | 必須検査 | 選択検査 | 胃がん | 肺がん | 乳がん | 子宮がん | 大腸がん | | | | |
| 平成元 | 418 | 295 | 75 | 1 | 73 | 71 | - | 374 | - | - | - |
| 2 | 14,699 | 9,910 | 9,037 | 757 | 9,065 | 8,619 | - | 22,683 | - | - | - |
| 3 | 15,245 | 12,060 | 8,693 | 483 | 8,749 | 8,537 | - | 22,433 | - | - | - |
| 4 | 15,383 | 12,051 | 9,752 | 392 | 9,161 | 8,940 | 637 | 22,782 | - | - | - |
| 5 | 15,723 | 12,471 | 14,288 | 401 | 13,436 | 13,026 | 1,692 | 22,948 | - | - | - |
| 6 | 14,996 | 12,205 | 13,556 | 319 | 12,357 | 12,185 | 1,625 | 22,053 | - | - | - |
| 7 | 15,278 | 13,394 | 13,800 | 262 | 12,338 | 12,165 | 1,793 | 21,608 | 3,585 | - | - |
| 8 | 12,740 | 12,387 | 12,387 | 14,224 | 10,828 | 10,803 | 3,330 | 16,584 | 1,834 | - | - |
| 9 | 14,589 | 14,514 | 13,579 | 16,589 | 11,616 | 11,280 | 4,701 | 18,726 | 3,685 | 1,901 | - |
| 10 | 15,308 | 15,297 | 12,914 | 16,472 | 10,263 | 10,163 | 4,821 | 18,108 | 4,140 | 1,745 | 5,847 |
| 11 | 16,011 | 16,008 | 13,246 | 16,982 | 10,510 | 10,498 | 5,181 | 19,436 | 3,182 | 1,811 | 9,442 |
| 12 | 16,303 | 16,302 | 13,786 | 17,579 | 11,174 | 11,346 | 5,761 | 21,187 | 2,184 | 1,949 | 6,303 |
| 13 | 16,970 | 16,970 | 14,757 | 18,792 | 11,977 | 12,062 | 6,347 | 20,798 | 2,081 | 2,327 | 283 |
| 14 | 18,238 | 18,238 | 15,452 | 20,127 | 12,296 | 12,376 | 7,131 | 21,914 | 2,646 | 2,434 | 1,641 |
| 15 | 19,352 | 19,352 | 16,448 | 21,258 | 13,381 | 13,181 | 7,854 | 22,747 | 2,972 | 3,224 | 2,358 |
| 16 | 19,455 | 19,455 | 15,862 | 20,958 | 13,758 | 13,066 | 8,107 | 22,006 | 2,228 | 4,321 | 2,937 |
| 17 | 18,481 | 18,481 | 15,662 | 20,378 | 2,961 | 6,297 | 8,229 | 10,314 | 1,912 | 2,961 | 2,577 |
| 18 | 19,331 | 19,331 | 16,207 | 21,187 | 8,011 | 8,345 | 8,951 | 11,148 | 2,304 | 8,011 | 2,285 |
| 19 | 19,645 | 19,645 | 16,865 | 21,284 | 9,266 | 9,355 | 9,524 | 11,630 | 2,486 | 9,266 | 1,488 |

イ 平成19年度老人保健法等健康診査実施状況

(7) 基本健康診査

平成19年度の基本健康診査の受診者数は、表4aに示すように男性6,736人、女性12,909人、計19,645人であり、前年度に比し男性は31人、女性は283人、全体では314人の増加である。年齢別にみると、男女とも60歳代がピークである。平均年齢±標準偏差は男性66.5±10.4歳、女性61.6±10.6歳、全体では63.3±10.8歳である。区別には南区が最も多く、ついで西区、佐伯区の順である(表4b)。

なお、選択検査受診率は、男女とも100%である。

表4 老健 基本健康診査

a 受診者数 (単位:人,%)

| 年齢(歳) | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 |
| 40～49 | 575 | 8.5 | 2,052 | 15.9 | 2,627 | 13.4 |
| 50～59 | 763 | 11.3 | 3,072 | 23.8 | 3,835 | 19.5 |
| 60～69 | 2,631 | 39.1 | 4,556 | 35.3 | 7,187 | 36.6 |
| 70～79 | 2,126 | 31.6 | 2,782 | 21.6 | 4,908 | 25.0 |
| 80～95 | 641 | 9.5 | 447 | 3.5 | 1,088 | 5.5 |
| 計 | 6,736 | 100.0 | 12,909 | 100.0 | 19,645 | 100.0 |

b 区別にみた実施状況 (単位:人,%)

| 区分 | 男性 | | 女性 | | 計 | |
|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 | 受診者数 | 構成比 |
| 中 区 | 982 | 14.6 | 1,943 | 15.1 | 2,925 | 14.9 |
| 南 区 | 1,154 | 17.1 | 2,338 | 18.1 | 3,492 | 17.8 |
| 西 区 | 1,184 | 17.6 | 2,260 | 17.5 | 3,444 | 17.5 |
| 東 区 | 1,069 | 15.9 | 2,137 | 16.6 | 3,206 | 16.3 |
| 安芸区 | 232 | 3.4 | 448 | 3.5 | 680 | 3.5 |
| 安佐南区 | 511 | 7.6 | 979 | 7.6 | 1,490 | 7.6 |
| 安佐北区 | 384 | 5.7 | 633 | 4.9 | 1,017 | 5.2 |
| 佐伯区 | 1,220 | 18.1 | 2,171 | 16.8 | 3,391 | 17.3 |
| 計 | 6,736 | 100.0 | 12,909 | 100.0 | 19,645 | 100.0 |

c 選択検査受診率

| 年齢 (歳) | 男性 | | | 女性 | | | 計 | | |
|-----------|-------------|---------|-------|-------------|---------|-------|-------------|---------|-------|
| | 受診者数 (人) | 選択検査受診者 | | 受診者数 (人) | 選択検査受診者 | | 受診者数 (人) | 選択検査受診者 | |
| | | 人数(人) | % | | 人数(人) | % | | 人数(人) | % |
| ～39 | 0 | 0 | 100.0 | 1 | 1 | 100.0 | 1 | 1 | 100.0 |
| 40～49 | 575 | 575 | 100.0 | 2,051 | 2,051 | 100.0 | 2,626 | 2,626 | 100.0 |
| 50～59 | 763 | 763 | 100.0 | 3,072 | 3,072 | 100.0 | 3,835 | 3,835 | 100.0 |
| 60～69 | 2,631 | 2,631 | 100.0 | 4,556 | 4,556 | 100.0 | 7,187 | 7,187 | 100.0 |
| 70～79 | 2,126 | 2,126 | 100.0 | 2,782 | 2,782 | 100.0 | 4,908 | 4,908 | 100.0 |
| 80～89 | 610 | 610 | 100.0 | 429 | 429 | 100.0 | 1,039 | 1,039 | 100.0 |
| 90～98 | 31 | 31 | 100.0 | 18 | 127 | 100.0 | 49 | 49 | 100.0 |
| 計 | 6,736 | 6,736 | 100.0 | 12,909 | 12,909 | 100.0 | 19,645 | 19,645 | 100.0 |

* 基本健康診査では、必須検査(身体計測、血圧、検尿、血中脂質、肝機能、腎機能、血糖検査)に加えて、選択検査(心電図、眼底、貧血、糖尿病検査)を受診できる。

(イ) 胃がん検診

胃がん検診の実施状況は表5aに示すとおり、男性6,433人、女性10,432人、計16,865人であり、要精検率はそれぞれ8.6%、5.1%、6.4%で女性に比し男性で高率の傾向がみられる。精検実施率は男性76.9%、女性83.7%、計80.2%である。

精検実施者における精検結果は表5bに示すように、有所見率は男性6.12%、女性3.93%、計4.77%であり、男性が女性に比し高率である。

所見の内訳は、胃炎が2.60%と最も多く、ついで胃ポリープ1.48%、胃潰瘍0.58%の順である。また、男女別の所見の内訳でも胃炎が最も多く、胃ポリープ、胃潰瘍の順であった。

今年度新たに発見された癌症例は表5cに示すとおり男性で胃癌20例(0.31%)、女性では胃癌12例(0.12%)、計32例(0.19%)であり、推定発見率は0.40%、0.14%、0.24%と男性に高率である。検診状況別の推定発見率は施設検診0.22%、集団検診0.25%という結果である。

表5 老健 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

| 年齢 (歳) | 男性 | | | | 女性 | | | | 計 | | | | | | |
|-----------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 40～49 | 477 | 22 | 4.6 | 17 | 77.3 | 1,679 | 77 | 4.6 | 64 | 83.1 | 2,156 | 99 | 4.6 | 81 | 81.8 |
| 50～59 | 596 | 42 | 7.0 | 31 | 73.8 | 2,293 | 97 | 4.2 | 89 | 91.8 | 2,889 | 139 | 4.8 | 120 | 86.3 |
| 60～69 | 2,764 | 234 | 8.5 | 173 | 73.9 | 3,938 | 207 | 5.3 | 167 | 80.7 | 6,702 | 441 | 6.6 | 340 | 77.1 |
| 70～79 | 2,041 | 201 | 9.8 | 162 | 80.6 | 2,210 | 132 | 6.0 | 109 | 82.6 | 4,251 | 333 | 7.8 | 271 | 81.4 |
| 80～95 | 555 | 54 | 9.7 | 42 | 77.8 | 312 | 21 | 6.7 | 18 | 85.7 | 867 | 75 | 8.7 | 60 | 80.0 |
| 計 | 6,433 | 553 | 8.6 | 425 | 76.9 | 10,432 | 534 | 5.1 | 447 | 83.7 | 16,865 | 1,087 | 6.4 | 872 | 80.2 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

| 性別 | 年齢 (歳) | 精検所見 | | | | | | | | | | | | 有所見者数 | | |
|----|-----------|-----------------|----------------|-----|----------------|-------|----------------|--------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-------|-----|------|
| | | が ん | | 胃潰瘍 | | 胃ポリープ | | 十二指腸潰瘍 | | 胃 炎 | | その他 | | | | 正常 |
| | | 例数 ¹ | % ² | 例数 | % ² | 例数 | % ² | 例数 | % ² | 例数 | % ² | 例数 | % ² | | | |
| 男性 | 40～49 | 0 | 0.00 | 3 | 0.63 | 3 | 0.63 | 1 | 0.21 | 8 | 1.68 | 1 | 0.21 | 2 | 15 | 3.14 |
| | 50～59 | 0 | 0.00 | 8 | 1.34 | 6 | 1.01 | 3 | 0.50 | 14 | 2.35 | 10 | 1.68 | 5 | 26 | 4.36 |
| | 60～69 | 3 | 0.11 | 28 | 1.01 | 35 | 1.27 | 13 | 0.47 | 104 | 3.76 | 31 | 1.12 | 12 | 161 | 5.82 |
| | 70～79 | 9 | 0.44 | 28 | 1.37 | 34 | 1.67 | 9 | 0.44 | 86 | 4.21 | 38 | 1.86 | 10 | 152 | 7.45 |
| | 80～90 | 8 | 1.44 | 5 | 0.90 | 11 | 1.98 | 1 | 0.18 | 17 | 3.06 | 5 | 0.9 | 2 | 40 | 7.21 |
| | 計 | 20 | 0.31 | 72 | 1.12 | 89 | 1.38 | 27 | 0.42 | 229 | 3.56 | 85 | 1.32 | 31 | 394 | 6.12 |
| 女性 | 40～49 | 0 | 0.00 | 3 | 0.18 | 33 | 1.97 | 5 | 0.30 | 18 | 1.07 | 4 | 0.24 | 7 | 57 | 3.39 |
| | 50～59 | 5 | 0.22 | 3 | 0.13 | 26 | 1.13 | 7 | 0.31 | 43 | 1.88 | 12 | 0.52 | 8 | 81 | 3.53 |
| | 60～69 | 2 | 0.05 | 13 | 0.33 | 53 | 1.35 | 8 | 0.20 | 85 | 2.16 | 24 | 0.61 | 11 | 156 | 3.96 |
| | 70～79 | 3 | 0.14 | 7 | 0.32 | 40 | 1.81 | 3 | 0.14 | 52 | 2.35 | 15 | 0.68 | 11 | 98 | 4.43 |
| | 80～86 | 2 | 0.64 | 0 | 0.00 | 9 | 2.88 | 0 | 0.00 | 12 | 3.85 | 0 | 0 | 0 | 18 | 5.77 |
| | 計 | 12 | 0.12 | 26 | 0.25 | 161 | 1.54 | 23 | 0.22 | 210 | 2.01 | 55 | 0.53 | 37 | 410 | 3.93 |
| 計 | 40～49 | 0 | 0.00 | 6 | 0.28 | 36 | 1.67 | 6 | 0.28 | 26 | 1.21 | 5 | 0.23 | 9 | 72 | 3.34 |
| | 50～59 | 5 | 0.17 | 11 | 0.38 | 32 | 1.11 | 10 | 0.35 | 57 | 1.97 | 22 | 0.76 | 13 | 107 | 3.70 |
| | 60～69 | 5 | 0.07 | 41 | 0.61 | 88 | 1.31 | 21 | 0.31 | 189 | 2.82 | 55 | 0.82 | 23 | 317 | 4.73 |
| | 70～79 | 12 | 0.28 | 35 | 0.82 | 74 | 1.74 | 12 | 0.28 | 138 | 3.25 | 53 | 1.25 | 21 | 250 | 5.88 |
| | 80～90 | 10 | 1.15 | 5 | 0.58 | 20 | 2.31 | 1 | 0.12 | 29 | 3.34 | 5 | 0.58 | 2 | 58 | 6.69 |
| | 計 | 32 | 0.19 | 98 | 0.58 | 250 | 1.48 | 50 | 0.30 | 439 | 2.60 | 140 | 0.83 | 68 | 804 | 4.77 |

¹ 例数: 胃がん[食道がん]

² 所見率: 所見例数/受診者×100, がんの所見率は胃がんと食道がんを含む

c 検診状況別に見た胃癌発見率 (単位:人,%)

| 性別 | 検診状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 胃癌症例 | | |
|----|------|--------|-------|----------------|--------|----------------|-----------------|------------------|--------------------|
| | | | | % ¹ | | % ² | 例数 ³ | 発見率 ⁴ | 推定発見率 ⁵ |
| 男性 | 施設検診 | 2,676 | 229 | 8.6 | 185 | 80.8 | 7 | 0.26 | 0.32 |
| | 集団検診 | 3,757 | 324 | 8.6 | 240 | 74.1 | 13 | 0.35 | 0.47 |
| | 計 | 6,433 | 553 | 8.6 | 425 | 76.9 | 20 | 0.31 | 0.40 |
| 女性 | 施設検診 | 4,597 | 243 | 5.3 | 206 | 84.8 | 6 | 0.13 | 0.15 |
| | 集団検診 | 5,835 | 291 | 5.0 | 241 | 82.8 | 6 | 0.10 | 0.12 |
| | 計 | 10,432 | 534 | 5.1 | 447 | 83.7 | 12 | 0.12 | 0.14 |
| 計 | 施設検診 | 7,273 | 472 | 6.5 | 391 | 82.8 | 13 | 0.18 | 0.22 |
| | 集団検診 | 9,592 | 615 | 6.4 | 481 | 78.2 | 19 | 0.20 | 0.25 |
| | 計 | 16,865 | 1,087 | 6.4 | 872 | 80.2 | 32 | 0.19 | 0.24 |

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100 ² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100
³ 例数:胃癌[食道癌] ⁴ 発見率:症例数/受診者数×100(食道癌を含む)
⁵ 推定発見率:発見率/精検実施率×100(食道癌を含む)

(ウ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6a に示すように、男性 7,724 人、女性 13,560 人、計 21,284 人で、要精検率はそれぞれ 3.7%、2.2%、2.7%、精検実施率はそれぞれ 77.5%、84.3%、81.0%である。

精検結果は表 6b のとおりで、有所見率は男性 2.15%、女性 1.22%、計 1.56%で、所見の内訳は肺結核 30 例 (0.14%)、閉塞性肺疾患 24 例 (0.11%)、肺線維症 14 例 (0.07%)、胸膜炎 27 例 (0.13%) である。

今年度新たに発見された肺癌症例は男性 5 例 (0.06%)、女性 5 例 (0.04%)、計 10 例 (0.05%) であり、推定発見率は表 6c に示すとおり 0.08%、0.04%、0.06%である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.00%、集団検診 0.09%という結果である。

表 6 老健 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢(歳) | 男性 | | | | 女性 | | | | 計 | | | | |
|-------|-------|-------|--------|----------------|--------|-------|--------|----------------|--------|-------|--------|----------------|----------------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | 精検実施者数 | % ¹ | 受診者数 | 要精検者数 | 精検実施者数 | % ² | 受診者数 | 要精検者数 | 精検実施者数 | % ¹ | % ² |
| 40~49 | 551 | 11 | 7 | 2.0 | 1,909 | 35 | 32 | 1.8 | 2,460 | 46 | 39 | 1.9 | 84.8 |
| 50~59 | 775 | 27 | 22 | 3.5 | 2,996 | 45 | 35 | 1.5 | 3,771 | 72 | 57 | 1.9 | 79.2 |
| 60~69 | 3,071 | 102 | 83 | 3.3 | 5,003 | 101 | 84 | 2.0 | 8,074 | 203 | 167 | 2.5 | 82.3 |
| 70~79 | 2,546 | 104 | 78 | 4.1 | 3,147 | 94 | 84 | 3.0 | 5,693 | 198 | 162 | 3.5 | 81.8 |
| 80~96 | 781 | 40 | 30 | 5.1 | 505 | 24 | 17 | 4.8 | 1,286 | 64 | 47 | 5.0 | 73.4 |
| 計 | 7,724 | 284 | 220 | 3.7 | 13,560 | 299 | 252 | 2.2 | 21,284 | 583 | 472 | 2.7 | 81.0 |

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100 ² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢(歳) | 精検所見 | | | | | | | | | | | | | | 有所見者数 | | |
|----|-------|------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|--------|----------------|----|----------------|------|----------------|-----|------|-------|-----|----------------|
| | | がん | | 肺結核 | | 胸膜炎 | | 閉塞性肺疾患 | | 肺炎 | | 肺線維症 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | | | |
| 男性 | 40~49 | 0 | 0.00 | 1 | 0.18 | 2 | 0.36 | 1 | 0.18 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 6 | 1.09 | 2 | 5 | 0.91 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.13 | 1 | 0.13 | 0 | 0.00 | 2 | 0.26 | 15 | 1.94 | 10 | 13 | 1.68 |
| | 60~69 | 2 | 0.07 | 3 | 0.10 | 6 | 0.20 | 9 | 0.29 | 4 | 0.13 | 1 | 0.03 | 46 | 1.50 | 27 | 57 | 1.86 |
| | 70~79 | 3 | 0.12 | 9 | 0.35 | 7 | 0.27 | 9 | 0.35 | 0 | 0.00 | 7 | 0.27 | 40 | 1.57 | 14 | 64 | 2.51 |
| | 80~93 | 0 | 0.00 | 5 | 0.64 | 4 | 0.51 | 3 | 0.38 | 1 | 0.13 | 0 | 0.00 | 14 | 1.79 | 4 | 27 | 3.46 |
| | 計 | 5 | 0.06 | 18 | 0.23 | 20 | 0.26 | 23 | 0.30 | 5 | 0.06 | 10 | 0.13 | 121 | 1.57 | 57 | 166 | 2.15 |
| 女性 | 40~49 | 1 | 0.05 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.05 | 0 | 0.00 | 23 | 1.20 | 20 | 12 | 0.63 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 3 | 0.10 | 1 | 0.03 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 22 | 0.73 | 12 | 23 | 0.77 |
| | 60~69 | 3 | 0.06 | 3 | 0.06 | 3 | 0.06 | 1 | 0.02 | 2 | 0.04 | 3 | 0.06 | 46 | 0.92 | 29 | 58 | 1.16 |
| | 70~79 | 1 | 0.03 | 4 | 0.13 | 2 | 0.06 | 0 | 0.00 | 1 | 0.03 | 1 | 0.03 | 35 | 1.11 | 25 | 59 | 1.87 |
| | 80~88 | 0 | 0.00 | 2 | 0.40 | 1 | 0.20 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.20 | 12 | 2.38 | 5 | 14 | 2.77 |
| | 計 | 5 | 0.04 | 12 | 0.09 | 7 | 0.05 | 1 | 0.01 | 4 | 0.03 | 5 | 0.04 | 138 | 1.02 | 91 | 166 | 1.22 |
| 計 | 40~49 | 1 | 0.04 | 1 | 0.04 | 2 | 0.08 | 1 | 0.04 | 1 | 0.04 | 0 | 0.00 | 29 | 1.18 | 22 | 17 | 0.69 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 3 | 0.08 | 2 | 0.05 | 1 | 0.03 | 0 | 0.00 | 2 | 0.05 | 37 | 0.98 | 22 | 36 | 0.95 |
| | 60~69 | 5 | 0.06 | 6 | 0.07 | 9 | 0.11 | 10 | 0.12 | 6 | 0.07 | 4 | 0.05 | 92 | 1.14 | 56 | 115 | 1.42 |
| | 70~79 | 4 | 0.07 | 13 | 0.23 | 9 | 0.16 | 9 | 0.16 | 1 | 0.02 | 8 | 0.14 | 75 | 1.32 | 39 | 123 | 2.16 |
| | 80~93 | 0 | 0.00 | 7 | 0.54 | 5 | 0.39 | 3 | 0.23 | 1 | 0.08 | 0 | 0.00 | 26 | 2.02 | 9 | 41 | 3.19 |
| | 計 | 10 | 0.05 | 30 | 0.14 | 27 | 0.13 | 24 | 0.11 | 9 | 0.04 | 14 | 0.07 | 259 | 1.22 | 148 | 332 | 1.56 |

¹ 所見率:所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率 (単位:人,%)

| 性別 | 検診状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 肺癌症例 | | |
|----|------|--------|-------|----------------|--------|----------------|------|------------------|--------------------|
| | | | | % ¹ | | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ |
| 男性 | 施設検診 | 3,089 | 112 | 3.6 | 89 | 79.5 | 1 | 0.03 | 0.00 |
| | 集団検診 | 4,635 | 172 | 3.7 | 131 | 76.2 | 4 | 0.09 | 0.11 |
| | 計 | 7,724 | 275 | 3.6 | 220 | 80.0 | 5 | 0.06 | 0.08 |
| 女性 | 施設検診 | 6,031 | 125 | 2.1 | 107 | 85.6 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 集団検診 | 7,529 | 174 | 2.3 | 145 | 83.3 | 5 | 0.07 | 0.08 |
| | 計 | 13,560 | 299 | 2.2 | 252 | 84.3 | 5 | 0.04 | 0.04 |
| 計 | 施設検診 | 9,120 | 237 | 2.6 | 196 | 82.7 | 1 | 0.01 | 0.00 |
| | 集団検診 | 12,164 | 346 | 2.8 | 276 | 79.8 | 9 | 0.07 | 0.09 |
| | 計 | 21,284 | 583 | 2.7 | 472 | 81.0 | 10 | 0.05 | 0.06 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100 ² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(I) 乳がん検診

乳がん検診は、平成17年4月より、問診、視診及び触診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を40歳以上の対象者に2年に1回行うこととなった。表7aに示すように、乳がん検診の受診者数は9,266人、要精検率9.3%、精検実施率は91.2%である。

精検結果を表7bに示す。乳がん検診全体での有所見率は5.76%で、内訳は乳腺症2.83%、乳癌0.70%、線維腺腫0.67%である。今年度新たに発見された乳癌は65例（0.70%）、推定発見率は0.77%である（表7c）。検診状況別の推定発見率は施設検診0.94%、集団検診0.58%である。

表7 老健 乳がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢(歳) | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
|-------|-------|-------|----------------|--------|----------------|
| | | | % ¹ | | % ² |
| 40~49 | 2,251 | 302 | 13.4 | 271 | 89.7 |
| 50~59 | 2,350 | 200 | 8.5 | 181 | 90.5 |
| 60~69 | 3,133 | 273 | 8.7 | 255 | 93.4 |
| 70~79 | 1,417 | 87 | 6.1 | 79 | 90.8 |
| 80~88 | 115 | 4 | 3.5 | 4 | 100.0 |
| 計 | 9,266 | 866 | 9.3 | 790 | 91.2 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

b 精検結果 (単位:人)

| | 年齢(歳) | 精検所見 | | | | | | | | | 有所見者数 | |
|-------|-------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|-----|-------|----------------|
| | | がん | | 線維腺腫 | | 乳腺症 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | | | |
| 乳がん検診 | 40~49 | 12 | 0.53 | 25 | 1.11 | 106 | 4.71 | 67 | 2.98 | 74 | 197 | 8.75 |
| | 50~59 | 21 | 0.89 | 12 | 0.51 | 65 | 2.77 | 46 | 1.96 | 57 | 124 | 5.28 |
| | 60~69 | 22 | 0.70 | 23 | 0.73 | 74 | 2.36 | 31 | 0.99 | 88 | 167 | 5.33 |
| | 70~79 | 10 | 0.71 | 2 | 0.14 | 15 | 1.06 | 55 | 3.88 | 36 | 43 | 3.03 |
| | 80~82 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 2 | 1.74 | 1 | 0.87 | 1 | 3 | 2.61 |
| 計 | 65 | 0.70 | 62 | 0.67 | 262 | 2.83 | 200 | 2.16 | 256 | 534 | 5.76 | |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数 × 100

c 検診状況別に見た乳癌発見率 (単位:人,%)

| 検診状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 乳癌症例 | | |
|------|-------|-------|----------------|--------|----------------|------|------------------|--------------------|
| | | | % ¹ | | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ |
| 施設検診 | 4,909 | 499 | 10.2 | 456 | 91.4 | 42 | 0.86 | 0.94 |
| 集団検診 | 4,357 | 367 | 8.4 | 334 | 91.0 | 23 | 0.53 | 0.58 |
| 計 | 9,266 | 866 | 9.3 | 790 | 91.2 | 65 | 0.70 | 0.77 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(オ) 子宮がん検診

表 8a に示すように、子宮がん検診の受診者は 9,355 人で、要精検率は 0.9%、精検実施率は 82.7% である。精検結果を表 8b に示す。有所見率は 0.60% で、軽度異型上皮 0.17%、中・高度異型上皮 0.22%、子宮癌 0.11% である。今年度新たに発見された子宮癌は 10 例 (0.11%)、推定発見率は 0.13% である (表 8c)。

表 8 老健 子宮がん検診

a 受診者数, 要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
|-----------|-------|-------|----------------|--------|----------------|
| | | | % ¹ | | % ² |
| 20~29 | 465 | 14 | 3.0 | 10 | 71.4 |
| 30~39 | 1,634 | 28 | 1.7 | 25 | 89.3 |
| 40~49 | 1,640 | 23 | 1.4 | 20 | 87.0 |
| 50~59 | 1,765 | 8 | 0.5 | 6 | 75.0 |
| 60~69 | 2,583 | 5 | 0.2 | 4 | 80.0 |
| 70~79 | 1,174 | 3 | 0.3 | 2 | 66.7 |
| 80~90 | 94 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 計 | 9,355 | 81 | 0.9 | 67 | 82.7 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

b 精検結果 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | | 有所見者数 | |
|-----------|---------|----------------|----------|----------------|--------|----------------|-----|----------------|----|-------|------|
| | が ん | | 中・高度異型上皮 | | 軽度異型上皮 | | その他 | | 正常 | | |
| | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | |
| 26~29 | 0 | 0.00 | 3 | 0.65 | 0 | 0.00 | 3 | 0.65 | 4 | 6 | 1.29 |
| 30~39 | 4 | 0.24 | 9 | 0.55 | 8 | 0.49 | 3 | 0.18 | 2 | 23 | 1.41 |
| 40~49 | 2 | 0.12 | 5 | 0.30 | 4 | 0.24 | 4 | 0.24 | 5 | 15 | 0.91 |
| 50~59 | 3 | 0.17 | 0 | 0.00 | 3 | 0.17 | 0 | 0.00 | 0 | 6 | 0.34 |
| 60~69 | 1 | 0.04 | 2 | 0.08 | 1 | 0.04 | 0 | 0.00 | 0 | 4 | 0.15 |
| 70~79 | 0 | 0.00 | 2 | 0.17 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 2 | 0.17 |
| 80~90 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| 計 | 10 | 0.11 | 21 | 0.22 | 16 | 0.17 | 10 | 0.11 | 11 | 56 | 0.60 |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数 × 100

c 検診状況別に見た子宮癌発見率 (単位:人, %)

| 検 診 状 況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 子 宮 癌 症 例 | | |
|---------|-------|-------|----------------|--------|----------------|-----------|------------------|--------------------|
| | | | % ¹ | | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ |
| 施設 検 診 | 4,152 | 31 | 0.7 | 24 | 77.4 | 1 | 0.02 | 0.03 |
| 集 団 検 診 | 5,203 | 50 | 1.0 | 43 | 86.0 | 9 | 0.17 | 0.20 |
| 計 | 9,355 | 81 | 0.9 | 67 | 82.7 | 10 | 0.11 | 0.13 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 9aに示すとおり、男性 3,473 人、女性 6,051 人、計 9,524 人である。要精検率はそれぞれ 6.0%、3.9%、4.7%で、精検実施率は 65.7%、66.1%、65.9%である。

精検結果は表 9bに示す如くで、有所見率 2.04%で、内訳は、腺腫 0.84%、非腫瘍性ポリープ 0.59%、大腸癌 0.15%である。今年度新たに発見された大腸癌は 14 例 (0.15%) であり、推定発見率は 0.22%である。検診状況別の推定発見率は、施設検診 0.28%、集団検診 0.10%という結果である (表 9c)。

表 9 老健 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢 (歳) | 男 性 | | | | | 女 性 | | | | | 計 | | | | |
|-----------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 40~49 | 288 | 8 | 2.8 | 5 | 62.5 | 907 | 18 | 2.0 | 9 | 50.0 | 1,195 | 26 | 2.2 | 14 | 53.8 |
| 50~59 | 340 | 18 | 5.3 | 13 | 72.2 | 1,379 | 43 | 3.1 | 28 | 65.1 | 1,719 | 61 | 3.5 | 41 | 67.2 |
| 60~69 | 1,502 | 92 | 6.1 | 58 | 63.0 | 2,325 | 99 | 4.3 | 65 | 65.7 | 3,827 | 191 | 5.0 | 123 | 64.4 |
| 70~79 | 1,107 | 67 | 6.1 | 48 | 71.6 | 1,282 | 67 | 5.2 | 50 | 74.6 | 2,389 | 134 | 5.6 | 98 | 73.1 |
| 80~92 | 236 | 22 | 9.3 | 12 | 54.5 | 158 | 12 | 7.6 | 6 | 50.0 | 394 | 34 | 8.6 | 18 | 52.9 |
| 計 | 3,473 | 207 | 6.0 | 136 | 65.7 | 6,051 | 239 | 3.9 | 158 | 66.1 | 9,524 | 446 | 4.7 | 294 | 65.9 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢 (歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | 正常 | 有所見者数 | |
|----|-----------|---------|----------------|------|----------------|----------|----------------|-------|----------------|-----|-------|----------------|
| | | が ん | | 腺 腫 | | 非腫瘍性ポリープ | | そ の 他 | | | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | |
| 男性 | 40~49 | 0 | 0.00 | 2 | 0.69 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 3 | 2 | 0.69 |
| | 50~59 | 1 | 0.29 | 4 | 1.18 | 0 | 0.00 | 1 | 0.29 | 7 | 6 | 1.76 |
| | 60~69 | 2 | 0.13 | 17 | 1.13 | 15 | 1.00 | 7 | 0.47 | 17 | 41 | 2.73 |
| | 70~79 | 6 | 0.54 | 16 | 1.45 | 12 | 1.08 | 8 | 0.72 | 6 | 42 | 3.79 |
| | 80~86 | 1 | 0.42 | 3 | 1.27 | 5 | 2.12 | 0 | 0.00 | 3 | 9 | 3.81 |
| 計 | 10 | 0.29 | 42 | 1.21 | 32 | 0.92 | 16 | 0.46 | 36 | 100 | 2.88 | |
| 女性 | 40~49 | 0 | 0.00 | 2 | 0.22 | 1 | 0.11 | 0 | 0.00 | 6 | 3 | 0.33 |
| | 50~59 | 1 | 0.07 | 4 | 0.29 | 6 | 0.44 | 6 | 0.44 | 11 | 17 | 1.23 |
| | 60~69 | 1 | 0.04 | 23 | 0.99 | 7 | 0.30 | 11 | 0.47 | 23 | 42 | 1.81 |
| | 70~79 | 2 | 0.16 | 8 | 0.62 | 8 | 0.62 | 10 | 0.78 | 22 | 28 | 2.18 |
| | 80~86 | 0 | 0.00 | 1 | 0.63 | 2 | 1.27 | 1 | 0.63 | 2 | 4 | 2.53 |
| 計 | 4 | 0.07 | 38 | 0.63 | 24 | 0.40 | 28 | 0.46 | 64 | 94 | 1.55 | |
| 計 | 40~49 | 0 | 0.00 | 4 | 0.33 | 1 | 0.08 | 0 | 0.00 | 9 | 5 | 0.42 |
| | 50~59 | 2 | 0.12 | 8 | 0.47 | 6 | 0.35 | 7 | 0.41 | 18 | 23 | 1.34 |
| | 60~69 | 3 | 0.08 | 40 | 1.05 | 22 | 0.57 | 18 | 0.47 | 40 | 83 | 2.17 |
| | 70~79 | 8 | 0.33 | 24 | 1.00 | 20 | 0.84 | 18 | 0.75 | 28 | 70 | 2.93 |
| | 80~86 | 1 | 0.25 | 4 | 1.02 | 7 | 1.78 | 1 | 0.25 | 5 | 13 | 3.30 |
| 計 | 14 | 0.15 | 80 | 0.84 | 56 | 0.59 | 44 | 0.46 | 100 | 194 | 2.04 | |

¹ 所見率: 所見例数/受診者数 × 100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率 (単位:人,%)

| 性 | 検 診 状 況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 大 腸 癌 症 例 | | |
|----|---------|-------|----------------|----------------|--------|------------------|--------------------|------|------|
| | | | % ¹ | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ | | |
| 男性 | 施設検診 | 2,305 | 128 | 5.6 | 85 | 66.4 | 8 | 0.35 | 0.52 |
| | 集団検診 | 1,168 | 79 | 6.8 | 51 | 64.6 | 2 | 0.17 | 0.27 |
| | 計 | 3,473 | 207 | 6.0 | 136 | 65.7 | 10 | 0.29 | 0.44 |
| 女性 | 施設検診 | 4,100 | 173 | 4.2 | 113 | 65.3 | 4 | 0.10 | 0.15 |
| | 集団検診 | 1,951 | 66 | 3.4 | 45 | 68.2 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 6,051 | 239 | 3.9 | 158 | 66.1 | 4 | 0.07 | 0.10 |
| 計 | 施設検診 | 6,405 | 301 | 4.7 | 198 | 65.8 | 12 | 0.19 | 0.28 |
| | 集団検診 | 3,119 | 145 | 4.6 | 96 | 66.2 | 2 | 0.06 | 0.10 |
| | 計 | 9,524 | 446 | 4.7 | 294 | 65.9 | 14 | 0.15 | 0.22 |

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(キ) C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

平成18年度から、C型・B型肝炎ウイルス検査の対象者は40歳の方の節目検診、または輸血歴・手術歴のある者に変更された。

受診者数は表10aのように、男性473人、女性1,015人、計1,488人である。C型・B型肝炎ウイルス抗体(一次スクリーニング検査)陽性率(要精検率)は、男性1.1%、女性0.5%、計0.7%である。要精検者の精検受診率は男性、女性とも20.0%、計20.0%である。精検結果は表10bのとおりで、有所見率は0.13%であり、慢性肝炎が1名、その他が1名である。

表10 老健 C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位:人)

| 年齢(歳) | 男 性 | | | | | 女 性 | | | | | 計 | | | | |
|-------|------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-----|--------|------|
| | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | |
| | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | % ¹ | % ² | % ¹ | % ² | | | | | |
| 40~49 | 129 | 2 | 1.6 | 1 | 0.0 | 420 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 549 | 2 | 0.4 | 1 | 50.0 |
| 50~59 | 76 | 2 | 2.6 | 0 | 0.0 | 249 | 1 | 0.4 | 0 | 0.0 | 325 | 3 | 0.9 | 0 | 0.0 |
| 60~69 | 188 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 246 | 3 | 1.2 | 1 | 33.3 | 434 | 4 | 0.9 | 1 | 25.0 |
| 70~79 | 69 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 94 | 1 | 1.1 | 0 | 0.0 | 163 | 1 | 0.6 | 0 | 0.0 |
| 80~87 | 11 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 計 | 473 | 5 | 1.1 | 1 | 20.0 | 1,015 | 5 | 0.5 | 1 | 20.0 | 1,488 | 10 | 0.7 | 2 | 20.0 |

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果 (単位:人)

| 性 | 年齢(歳) | 精 検 所 見 | | | | | | | | | | | | 有所見者数 | | |
|----|-------|---------|----------------|------|----------------|------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-------|----|----------------|
| | | が ん | | 急性肝炎 | | 慢性肝炎 | | 脂肪肝 | | 肝硬変 | | その他 | | 正常 | 例数 | % ¹ |
| | | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | 例数 | % ¹ | | | |
| 男性 | 40~49 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.78 | 0 | 1 | 0.78 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 70~79 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 80~87 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 計 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.21 | 0 | 1 | 0.21 |
| 女性 | 40~49 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.41 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 1 | 0.41 |
| | 70~79 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 80~87 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 計 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.10 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 1 | 0.10 |
| 計 | 40~49 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.18 | 0 | 1 | 0.18 |
| | 50~59 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 60~69 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.23 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 1 | 0.23 |
| | 70~79 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 80~87 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 計 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.07 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 1 | 0.07 | 0 | 2 | 0.13 |

¹ 所見率:所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肝癌発見率 (単位:人,%)

| 性 | 検診状況 | 受診者数 | 要精検者数 | | 精検実施者数 | | 肝癌症例 | | |
|----|------|-------|----------------|----------------|--------|------------------|--------------------|------|------|
| | | | % ¹ | % ² | 例数 | 発見率 ³ | 推定発見率 ⁴ | | |
| 男性 | 施設検診 | 361 | 4 | 1.1 | 1 | 25.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 集団検診 | 112 | 1 | 0.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 473 | 5 | 1.1 | 1 | 20.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 女性 | 施設検診 | 709 | 2 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 集団検診 | 306 | 3 | 1.0 | 1 | 33.3 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 1,015 | 5 | 0.5 | 1 | 20.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 施設検診 | 1,070 | 6 | 0.6 | 1 | 16.7 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 集団検診 | 418 | 4 | 1.0 | 1 | 25.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 1,488 | 10 | 0.7 | 2 | 20.0 | 0 | 0.00 | 0.00 |

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率:発見率/精検実施率×100

老健法等の検診により、当センターで発見した悪性新生物症例について表 11 に示す。乳癌 46 例、子宮癌 11 例、肺癌 9 例、大腸癌 8 例、胃癌 5 例、その他 5 例である。

表11 当センターで発見した悪性新生物症例

| No. | 年齢 | 性別 | 病名 |
|-----|----|----|---------------|
| 1 | 82 | M | 胃 癌 (早 期) |
| 2 | 75 | F | 胃 癌 (早 期) |
| 3 | 72 | M | 胃 癌 (進 行) |
| 4 | 70 | M | 胃 癌 (進 行) |
| 5 | 61 | F | 胃 癌 |
| 6 | 66 | F | 肺 癌 |
| 7 | 70 | M | 肺 癌 |
| 8 | 70 | M | 肺 癌 |
| 9 | 66 | F | 肺 癌 |
| 10 | 66 | M | 肺 癌 |
| 11 | 56 | M | 肺 癌 |
| 12 | 68 | F | 肺 癌 |
| 13 | 62 | F | 肺 癌 |
| 14 | 61 | F | 肺 癌 |
| 15 | 66 | M | 結 腸 癌 (進 行) |
| 16 | 76 | F | 結 腸 癌 (早 期) |
| 17 | 59 | F | 結 腸 癌 (早 期) |
| 18 | 59 | M | 結 腸 癌 |
| 19 | 48 | F | 結 腸 癌 |
| 20 | 41 | M | 直 腸 癌 (早 期) |
| 21 | 71 | M | 直 腸 癌 |
| 22 | 34 | M | 直 腸 癌 |
| 23 | 71 | F | 乳 癌 |
| 24 | 74 | F | 乳 癌 |
| 25 | 79 | F | 乳 癌 |
| 26 | 48 | F | 乳 癌 |
| 27 | 56 | F | 乳 癌 |
| 28 | 50 | F | 乳 癌 |
| 29 | 71 | F | 乳 癌 |
| 30 | 44 | F | 乳 癌 |
| 31 | 59 | F | 乳 癌 |
| 32 | 71 | F | 乳 癌 |
| 33 | 43 | F | 乳 癌 |
| 34 | 63 | F | 乳 癌 |
| 35 | 63 | F | 乳 癌 |
| 36 | 65 | F | 乳 癌 |
| 37 | 67 | F | 乳 癌 |
| 38 | 65 | F | 乳 癌 |
| 39 | 61 | F | 乳 癌 |
| 40 | 66 | F | 乳 癌 |
| 41 | 50 | F | 乳 癌 |
| 42 | 61 | F | 乳 癌 |

| No. | 年齢 | 性別 | 病名 |
|-----|----|----|-------------------|
| 43 | 49 | F | 乳 癌 |
| 44 | 53 | F | 乳 癌 |
| 45 | 53 | F | 乳 癌 |
| 46 | 47 | F | 乳 癌 |
| 47 | 77 | F | 乳 癌 |
| 48 | 70 | F | 乳 癌 |
| 49 | 65 | F | 乳 癌 |
| 50 | 66 | F | 乳 癌 |
| 51 | 51 | F | 乳 癌 |
| 52 | 64 | F | 乳 癌 |
| 53 | 59 | F | 乳 癌 |
| 54 | 72 | F | 乳 癌 |
| 55 | 59 | F | 乳 癌 |
| 56 | 50 | F | 乳 癌 |
| 57 | 60 | F | 乳 癌 |
| 58 | 49 | F | 乳 癌 |
| 59 | 47 | F | 乳 癌 |
| 60 | 73 | F | 乳 癌 |
| 61 | 49 | F | 乳 癌 |
| 62 | 45 | F | 乳 癌 |
| 63 | 52 | F | 乳 癌 |
| 64 | 56 | F | 乳 癌 |
| 65 | 51 | F | 乳 癌 |
| 66 | 60 | F | 乳 癌 |
| 67 | 59 | F | 乳 癌 |
| 68 | 41 | F | 乳 癌 |
| 69 | 54 | F | 子 宮 癌 |
| 70 | 54 | F | 子 宮 癌 |
| 71 | 74 | F | 子 宮 癌 |
| 72 | 44 | F | 子 宮 癌 |
| 73 | 36 | F | 子 宮 癌 |
| 74 | 36 | F | 子 宮 癌 |
| 75 | 43 | F | 子 宮 癌 |
| 76 | 62 | F | 子 宮 癌 |
| 77 | 34 | F | 子 宮 癌 |
| 78 | 38 | F | 子 宮 癌 |
| 79 | 58 | F | 子 宮 癌 |
| 80 | 73 | M | 食 道 癌 |
| 81 | 63 | M | 腎 細 胞 癌 |
| 82 | 67 | F | 甲 状 腺 癌 |
| 83 | 77 | M | 急 性 骨 髄 性 白 血 病 |
| 84 | 73 | M | 骨 髄 異 形 成 性 症 候 群 |

(ク) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために広島市の独自の施策として平成 7 年 10 月より開始された（平成 16 年 4 月からの検診対象者は、男性では 40 歳以上、女性では 20 歳以上の 5 歳刻み）。

受診者の内訳は表 12 に示すとおりで、男性 602 人、女性 1,884 人、計 2,486 人であり、女性が多い。骨量の「減少あり」と判定された有所見率は、男性 46.0%、女性 48.2%と高率であり、骨粗鬆症と診断されている者、またその恐れがある者が多く受診しているためと考えられる。

表 12 骨粗鬆症検診 (単位：人)

| 性 | 年齢 (歳) | 受診者数 | 測定結果 | | | | | |
|----|-----------|-------|------|------|-----|-------|------|----------------|
| | | | 減少なし | 減少あり | | | 計 | % ¹ |
| | | | | 軽度 | 中等度 | 高度 | | |
| 男性 | 40・45 | 61 | 39 | 0 | 15 | 7 | 22 | 36.1 |
| | 50・55 | 47 | 22 | 0 | 20 | 5 | 25 | 53.2 |
| | 60・65 | 235 | 140 | 0 | 65 | 30 | 95 | 40.4 |
| | 70・75 | 219 | 112 | 1 | 70 | 36 | 107 | 48.9 |
| | 80～95 | 40 | 12 | 0 | 13 | 15 | 28 | 70.0 |
| | 計 | 602 | 325 | 1 | 183 | 93 | 277 | 46.0 |
| 女性 | 20・25 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 30・35 | 46 | 38 | 0 | 7 | 1 | 8 | 17.4 |
| | 40・45 | 319 | 288 | 0 | 28 | 3 | 31 | 9.7 |
| | 50・55 | 387 | 262 | 0 | 93 | 32 | 125 | 32.3 |
| | 60・65 | 758 | 301 | 1 | 261 | 195 | 457 | 60.3 |
| | 70・75 | 340 | 77 | 1 | 107 | 155 | 263 | 77.4 |
| | 80～95 | 29 | 4 | 0 | 10 | 15 | 25 | 86.2 |
| 計 | 1,884 | 975 | 2 | 506 | 401 | 909 | 48.2 | |
| 計 | 20・25 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 30・35 | 46 | 38 | 0 | 7 | 1 | 8 | 17.4 |
| | 40・45 | 380 | 327 | 0 | 43 | 10 | 53 | 13.9 |
| | 50・55 | 434 | 284 | 0 | 113 | 37 | 150 | 34.6 |
| | 60・65 | 993 | 441 | 1 | 326 | 225 | 552 | 55.6 |
| | 70・75 | 559 | 189 | 2 | 177 | 191 | 370 | 66.2 |
| | 80～95 | 69 | 16 | 0 | 23 | 30 | 53 | 76.8 |
| 計 | 2,486 | 1,300 | 3 | 689 | 494 | 1,186 | 47.7 | |

¹ 所見率：所見例数 / 受診者数 × 100

(ケ) 結核健康診断

結核健康診断は老健法に基づく検診と同様に、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

受診者数は表13aのとおりで、男性5,296人、女性6,334人、計11,630人であり、年齢別には男性、女性とも60、70歳代にピークがみられる。区別では、表13bに示すように、南区が最も多く、ついで安佐南区、佐伯区の順である。要精検率は表13cのとおり男性3.8%、女性2.9%、計3.3%である。

表13 結核健診

a 受診者数

| 年齢 (歳) | 男 性 | | 女 性 | | 計 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 人数(人) | % | 人数(人) | % | 人数(人) | % |
| 16～39 | 50 | 0.9 | 4 | 0.1 | 54 | 0.5 |
| 40～49 | 7 | 0.1 | 1 | 0.0 | 8 | 0.1 |
| 50～59 | 9 | 0.2 | 11 | 0.2 | 20 | 0.2 |
| 60～69 | 1,880 | 35.5 | 2,615 | 41.3 | 4,495 | 38.7 |
| 70～79 | 2,558 | 48.3 | 3,159 | 49.9 | 5,717 | 49.2 |
| 80～96 | 792 | 15.0 | 544 | 8.6 | 1,336 | 11.5 |
| 計 | 5,296 | 100.0 | 6,334 | 100.0 | 11,630 | 100.0 |

b 区別にみた受診者数

| 区 分 | 男 性 | | 女 性 | | 計 | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 人数(人) | % | 人数(人) | % | 人数(人) | % |
| 中 区 | 528 | 10.0 | 825 | 13.0 | 1,353 | 11.6 |
| 南 区 | 727 | 13.7 | 982 | 15.5 | 1,709 | 14.7 |
| 西 区 | 642 | 12.1 | 860 | 13.6 | 1,502 | 12.9 |
| 東 区 | 658 | 12.4 | 798 | 12.6 | 1,456 | 12.5 |
| 安 芸 区 | 519 | 9.9 | 505 | 8.0 | 1,024 | 8.8 |
| 安佐南区 | 731 | 13.8 | 800 | 12.6 | 1,531 | 13.2 |
| 安佐北区 | 754 | 14.2 | 764 | 12.1 | 1,518 | 13.1 |
| 佐 伯 区 | 737 | 13.9 | 800 | 12.6 | 1,537 | 13.2 |
| 計 | 5,296 | 100.0 | 6,334 | 100.0 | 11,630 | 100.0 |

c 要精検率

| 年齢 (歳) | 男 性 | | | 女 性 | | | 計 | | |
|-----------|-------------|-------|------|-------------|-------|-----|-------------|-------|-----|
| | 受診者数 (人) | 要精密検査 | | 受診者数 (人) | 要精密検査 | | 受診者数 (人) | 要精密検査 | |
| | | 人数(人) | % | | 人数(人) | % | | 人数(人) | % |
| 18～39 | 50 | 1 | 2.0 | 4 | 0 | 0.0 | 54 | 1 | 1.9 |
| 40～49 | 7 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 |
| 50～59 | 9 | 1 | 11.1 | 11 | 0 | 0.0 | 20 | 1 | 5.0 |
| 60～69 | 1,880 | 56 | 3.0 | 2,615 | 61 | 2.3 | 4,495 | 117 | 2.6 |
| 70～79 | 2,558 | 104 | 4.1 | 3,159 | 94 | 3.0 | 5,717 | 198 | 3.5 |
| 80～93 | 792 | 41 | 5.2 | 544 | 26 | 4.8 | 1,336 | 67 | 5.0 |
| 計 | 5,296 | 203 | 3.8 | 6,334 | 181 | 2.9 | 11,630 | 384 | 3.3 |

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

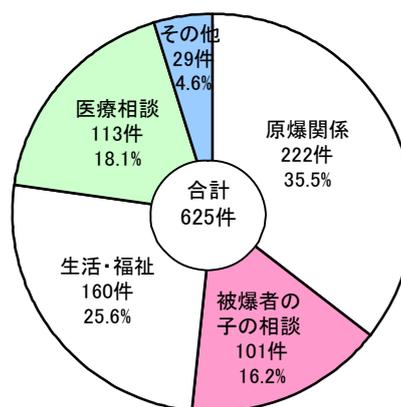
昭和 36 年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和 42 年 7 月専任相談員を配置し、昭和 53 年 11 月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び平成 19 年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

| 年度 | 件数(件) | 年度 | 件数(件) |
|-------|-------|-------|-------|
| 昭和 36 | 51 | 昭和 60 | 3,283 |
| 37 | 29 | 61 | 3,086 |
| 38 | 19 | 62 | 3,454 |
| 39 | 30 | 63 | 5,333 |
| 40 | 46 | 平成元 | 4,530 |
| 41 | 68 | 2 | 4,074 |
| 42 | 240 | 3 | 4,183 |
| 43 | 334 | 4 | 3,525 |
| 44 | 465 | 5 | 3,451 |
| 45 | 626 | 6 | 3,482 |
| 46 | 910 | 7 | 3,512 |
| 47 | 626 | 8 | 3,576 |
| 48 | 507 | 9 | 3,393 |
| 49 | 568 | 10 | 3,758 |
| 50 | 871 | 11 | 2,911 |
| 51 | 1,241 | 12 | 3,414 |
| 52 | 1,746 | 13 | 2,817 |
| 53 | 2,566 | 14 | 2,572 |
| 54 | 3,174 | 15 | 2,522 |
| 55 | 2,319 | 16 | 2,455 |
| 56 | 3,676 | 17 | 2,084 |
| 57 | 3,057 | 18 | 576 |
| 58 | 2,852 | 19 | 625 |
| 59 | 2,660 | | |

平成 19 年度の被爆者相談の状況



※平成 18 年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

ア 被爆者援護金：被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額 10,000 円を支給する。

イ 温泉療養交通費補助金：原爆被爆者有福温泉療養研究所で 6 泊 7 日以上療養した者に、交通費の一部として 1 回 1,000 円を支給する。

ウ 被爆身障者等見舞金：夏季と年末の年 2 回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。

エ 福祉用具貸与・購入費補助：住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

オ その他の補助：以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

平成 19 年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

平成 19 年度援護費の支給内容

| 種 別 | 人 員 (人) | 支 給 額 (円) |
|--------------|---------|-----------|
| 温泉療養交通費補助金 | 445 | 445,000 |
| 被爆身体障害者等見舞金 | 14 | 140,000 |
| 福祉用具貸与・購入費補助 | 172 | 1,508,000 |
| 合 計 | 631 | 2,093,000 |

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

昭和 42 年 6 月、厚生省のあっせんにより日本自転車振興会の公益事業補助金の交付を受け、広島市、島根県、江津市などの援助を受けて、原爆被爆者有福温泉療養研究所(有福温泉荘)を開設した。

現在は、原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会(会長：江津市長)に運営を委託し、必要な助成を行って被爆者の福祉増進を図っている。

なお、泉質及び適応症は別表のとおりで、入湯療養の効果をおさめている。

ア 沿 革

- 昭和 42 年 6 月 日本自転車振興会等の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を開設
- 昭和 44 年 2 月 日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、暖房設備工事及び倉庫建設工事完成
- 昭和 45 年 5 月 2 階増改築工事完成
- 昭和 49 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 昭和 53 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 昭和 56 年 10 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋根防水改修その他工事完成
- 昭和 60 年 8 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、車庫上屋根新設工事等完成
- 昭和 62 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 平成 4 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 平成 9 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、浴室改修その他工事完成
- 平成 10 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋上陸屋根防水工事その他の工事完成
- 平成 14 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 平成 19 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、外壁・厨房等設備改修工事完成

イ 運 営 原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会（江津市）

ウ 施 設

- ・所在地 島根県江津市有福温泉町 762 番地 4 (〒695-0156, 電話・FAX 0855-56-2148)
- ・敷 地 3,348.73 m²
- ・建 物 鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建 延 1,488.52 m²
宿泊室(20 室)、浴室(2)、食堂、娯楽室、事務室、従業員室
- ・事業費 298,518 千円
(財源内容) 日本自転車振興会補助金 34,580 千円
車両競技公益資金記念財団補助金 84,780 千円
広島県補助金 50,942 千円
広島市補助金 60,669 千円
島根県補助金 2,000 千円
江津市補助金 4,287 千円
原対協負担金 59,150 千円
その他寄付金 2,110 千円
- ・定 員 72 名

エ 申込手続き等

- ・広島原爆障害対策協議会または有福温泉荘で、利用する 4 ヶ月前から受付
- ・利用料金 宿泊（1泊3食付）被爆者 5,300 円 付添 6,500 円
- ・利用者には、バス運賃（広島電鉄）の割引証（2割引）を交付する。

オ 泉質及び適応症

| | | | | | |
|-------|--------|---------------|-------|-------------|-------|
| 泉 質 | 単純温泉 | カルシウム (mg/kg) | 10.78 | 硫 酸 (mg/kg) | 18.59 |
| 泉 温 | 46.5 度 | ナトリウム (") | 80.99 | ヒドロ炭酸 (") | 86.32 |
| P H | 8.8 | カリウム (") | 3.48 | 炭 酸 (") | 13.96 |
| 蒸発残留物 | 265.4 | マグネシウム (") | 1.77 | メタ硅酸 (") | 67.07 |
| ラ ド ン | 0.14 | クロール (") | 66.04 | | |

| | |
|-------|---|
| 適 応 症 | 慢性関節リウマチ、筋肉リウマチ、神経痛、神経炎、骨・関節運動器障害、 外傷性障害の治療、疲労回復 |
|-------|---|

カ 年度別利用状況

| 年度 | 男 | 女 | 計 |
|------|-------|-------|-------|
| 昭和43 | 1,025 | 1,477 | 2,502 |
| 44 | 1,299 | 1,665 | 2,964 |
| 45 | 1,195 | 1,867 | 3,062 |
| 46 | 1,176 | 1,884 | 3,060 |
| 47 | 1,304 | 2,069 | 3,373 |
| 48 | 1,361 | 2,036 | 3,397 |
| 49 | 1,206 | 2,100 | 3,306 |
| 50 | 1,332 | 2,258 | 3,590 |
| 51 | 1,214 | 2,280 | 3,494 |
| 52 | 1,400 | 2,536 | 3,936 |
| 53 | 1,284 | 2,372 | 3,656 |
| 54 | 1,376 | 2,436 | 3,812 |
| 55 | 1,473 | 2,623 | 4,096 |
| 56 | 1,483 | 2,839 | 4,322 |
| 57 | 1,513 | 2,890 | 4,403 |
| 58 | 1,403 | 2,679 | 4,082 |
| 59 | 1,351 | 2,867 | 4,218 |
| 60 | 1,316 | 2,919 | 4,235 |
| 61 | 1,294 | 2,997 | 4,291 |
| 62 | 1,166 | 2,761 | 3,927 |
| 63 | 1,263 | 2,828 | 4,091 |
| 平成元 | 1,244 | 2,997 | 4,241 |
| 2 | 1,253 | 2,992 | 4,245 |
| 3 | 1,170 | 3,074 | 4,244 |
| 4 | 1,080 | 2,808 | 3,888 |
| 5 | 1,173 | 3,179 | 4,352 |
| 6 | 1,232 | 3,211 | 4,443 |
| 7 | 1,230 | 3,281 | 4,511 |
| 8 | 1,216 | 3,318 | 4,534 |
| 9 | 990 | 2,989 | 3,979 |
| 10 | 1,231 | 3,239 | 4,470 |
| 11 | 1,262 | 3,264 | 4,526 |
| 12 | 1,263 | 3,230 | 4,493 |
| 13 | 1,101 | 2,585 | 3,686 |
| 14 | 1,157 | 2,640 | 3,797 |
| 15 | 1,253 | 2,516 | 3,769 |
| 16 | 1,339 | 2,488 | 3,827 |
| 17 | 1,328 | 2,390 | 3,718 |
| 18 | 1,130 | 2,061 | 3,191 |
| 19 | 1,025 | 2,033 | 3,058 |

キ 平成19年度の利用状況

性別

| 性別 | 実人員 | | 延人員 | |
|----|-------|-------|--------|-------|
| | 人員(人) | 比率(%) | 人員(人) | 比率(%) |
| 男 | 1,025 | 33.5 | 3,392 | 30.9 |
| 女 | 2,033 | 66.5 | 7,582 | 69.1 |
| 計 | 3,058 | 100.0 | 10,974 | 100.0 |

年齢別

| 年齢(歳) | 実人員 | | 延人員 | |
|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 人員(人) | 比率(%) | 人員(人) | 比率(%) |
| ～59 | 279 | 9.1 | 628 | 5.7 |
| 60～69 | 717 | 23.5 | 2,058 | 18.8 |
| 70～ | 2,062 | 67.4 | 8,288 | 75.5 |
| 計 | 3,058 | 100.0 | 10,974 | 100.0 |

地域別

| 地域 | 実人員 | | 延人員 | |
|---------|-------|-------|--------|-------|
| | 人員(人) | 比率(%) | 人員(人) | 比率(%) |
| 広島市 | 2,123 | 69.4 | 7,879 | 71.8 |
| 広島県 | 759 | 24.8 | 2,705 | 24.6 |
| その他(県外) | 176 | 5.8 | 390 | 3.6 |
| 計 | 3,058 | 100.0 | 10,974 | 100.0 |

4 健康増進事業

(1) 事業の内容

生活習慣病などを予防し、積極的に健康づくりを推進するため、平成元年9月から広島市の委託を受け、また、平成18年度からは広島市から指定管理者の指定を受け健康増進事業を行っている。本事業では、市民が日常生活において自主的に健康の保持・増進ができるように医学検査・体力測定・運動負荷テストおよび栄養調査によって健康度を測定し、一人ひとりに適した運動、栄養、休養の処方を行っている。

さらに、広島市各区のスポーツセンターと共同で継続的な運動の実施のための方策(登録制)も行っており、効果を挙げている。平成6年度からは、広島県体育協会との連携により国体強化選手のメディカルチェックも実施している。また、平成7年度からは、健康増進コースを受診後3～6か月後に、運動、栄養の実践の効果判定を行いたい人を対象に、新たに「効果測定メニュー」を加えるなど、一層の充実を図っている。さらに「効果測定メニュー」を利用した健康教室を年数回にわたり開催して受診者数の増加に努めている。

(2) 検査項目

| 項目 | 内 容 | 基本 コース | 精 密 コース | 簡易メニュー | | 効果測定 メニュー |
|---------|--|-----------|------------|--------|---|--------------|
| | | | | A | B | |
| 問 診 | 生活状況・健康状況・食生活状況 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 尿 検 査 | 糖・タンパク・ウロビリノーゲン・潜血 | ○ | ○ | | ○ | |
| 血液一般検査 | 貧血などの検査 白血球・赤血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット | ○ | ○ | | | |
| 血液生化学 | GOT・GPT | ○ | ○ | | | |
| | 肝機能・高脂血症・尿酸及び糖尿病などの検査 総コレステロール・血糖 HDL コレステロール・γ-GTP・ALP・CPK・総タンパク・尿酸 中性脂肪 | | ○ | | | ○ ○ |
| 胸部 X 線 | 直接撮影 | | ○ | | | |
| 肺機能検査 | 肺活量・努力性肺活量・1秒率 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 眼底撮影 | 動脈硬化性・高血圧性変化 | | ○ | | | |
| 血圧測定 | 安静時 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 身体計測 | 身長・体重・皮下脂肪厚・シルエッター撮影 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 心電図検査 | 安静時 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 体力測定 | 握力・脚伸展パワー・全身反応時間など | ○ | ○ | ○ | ○ | ○* |
| 運動負荷テスト | トレッドミルまたはエルゴメーター | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 指 導 | 栄養指導・運動指導・総合指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

簡易メニューA：特定健康診査・人間ドック等の受診結果持参者向けメニュー

(希望受診日の概ね3か月以内に、特定健康診査や人間ドックで血液検査などの医学検査を受け、その結果に応じて一部検査を省略したメニュー)

簡易メニューB：広島市各区のスポーツセンターのトレーニング室利用(登録制)向けメニュー

* 一部省略可能

(3) 実施状況

(単位：件)

| 年度 | 基本コース | | | 精密コース | | | 簡易コース | | | 効果測定コース | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-----|-------|---------|----|-----|-------|
| | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 | |
| 平成元 | 30 | 33 | 63 | 42 | 31 | 73 | | | | | | | 136 |
| 2 | 37 | 75 | 112 | 231 | 132 | 363 | 199 | 186 | 385 | | | | 860 |
| 3 | 55 | 63 | 118 | 674 | 324 | 998 | 403 | 298 | 701 | | | | 1,817 |
| 4 | 116 | 84 | 200 | 1,041 | 610 | 1,651 | 560 | 438 | 998 | | | | 2,849 |
| 5 | 134 | 107 | 241 | 1,128 | 697 | 1,825 | 484 | 451 | 935 | | | | 3,001 |
| 6 | 167 | 91 | 258 | 1,224 | 775 | 1,999 | 658 | 410 | 1,068 | | | | 3,325 |
| 7 | 151 | 71 | 222 | 1,039 | 599 | 1,638 | 663 | 461 | 1,124 | 6 | 41 | 47 | 3,031 |
| 8 | 157 | 112 | 269 | 1,038 | 522 | 1,560 | 634 | 461 | 1,095 | 14 | 38 | 52 | 2,976 |
| 9 | 124 | 94 | 218 | 1,083 | 558 | 1,641 | 555 | 438 | 993 | 17 | 85 | 102 | 2,954 |
| 10 | 112 | 87 | 199 | 1,054 | 589 | 1,643 | 532 | 400 | 932 | 13 | 64 | 77 | 2,851 |
| 11 | 102 | 85 | 187 | 1,261 | 970 | 2,231 | 488 | 354 | 842 | 0 | 0 | 0 | 3,260 |
| 12 | 83 | 81 | 164 | 1,072 | 560 | 1,632 | 525 | 362 | 887 | 6 | 9 | 15 | 2,698 |
| 13 | 59 | 50 | 109 | 1,001 | 564 | 1,565 | 500 | 332 | 832 | 57 | 77 | 134 | 2,640 |
| 14 | 51 | 51 | 102 | 1,134 | 574 | 1,708 | 471 | 379 | 850 | 32 | 93 | 125 | 2,785 |
| 15 | 77 | 49 | 126 | 1,060 | 631 | 1,691 | 505 | 327 | 832 | 18 | 17 | 35 | 2,684 |
| 16 | 62 | 32 | 94 | 1,168 | 600 | 1,768 | 508 | 340 | 848 | 8 | 25 | 33 | 2,743 |
| 17 | 42 | 30 | 72 | 1,153 | 572 | 1,725 | 489 | 312 | 801 | 6 | 25 | 31 | 2,629 |
| 18 | 56 | 32 | 88 | 1,140 | 573 | 1,713 | 467 | 265 | 732 | 43 | 48 | 91 | 2,624 |
| 19 | 52 | 44 | 96 | 1,138 | 607 | 1,745 | 467 | 290 | 757 | 11 | 15 | 26 | 2,624 |

(4) 平成 19 年度実施状況

平成 19 年度における健康増進事業のコース別・月別の利用者数は表 1 のとおりである。総受診者数は 2,624 名で、基本コース受診者は 96 名（男性 52 名、女性 44 名）、精密コース受診者は 1,745 名（男性 1,138 名、女性 607 名）、簡易メニュー受診者は 757 名（男性 467 名、女性 290 名）、効果測定メニュー受診者は 26 名（男性 11 名、女性 15 名）であった。

表 1 健康増進事業

(単位：人、日)

| 区分 (実施日数) | 4月 (18) | 5月 (17) | 6月 (21) | 7月 (21) | 8月 (20) | 9月 (18) | 10月 (22) | 11月 (21) | 12月 (18) | 1月 (18) | 2月 (20) | 3月 (12) | 計 (226) | 月平均 人数 | | |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------|------|
| 受診者数 | 47 | 120 | 223 | 308 | 262 | 265 | 340 | 346 | 267 | 215 | 189 | 42 | 2,624 | 218.7 | | |
| 基本 コース | 受診者数 | 2 | 17 | 4 | 10 | 16 | 15 | 7 | 11 | 5 | 1 | 8 | 0 | 96 | 8.0 | |
| | 性別 | 男性 | 0 | 8 | 2 | 6 | 11 | 6 | 4 | 5 | 3 | 0 | 7 | 0 | 52 | 4.3 |
| | | 女性 | 2 | 9 | 2 | 4 | 5 | 9 | 3 | 6 | 2 | 1 | 1 | 0 | 44 | 3.7 |
| 精密 コース | 受診者数 | 21 | 63 | 169 | 216 | 155 | 189 | 238 | 242 | 164 | 136 | 116 | 36 | 1,745 | 145.4 | |
| | 性別 | 男性 | 17 | 52 | 131 | 164 | 104 | 148 | 127 | 145 | 101 | 60 | 66 | 23 | 1,138 | 94.8 |
| | | 女性 | 4 | 11 | 38 | 52 | 51 | 41 | 111 | 97 | 63 | 76 | 50 | 13 | 607 | 50.6 |
| 簡易 コース | 受診者数 | 10 | 29 | 50 | 82 | 90 | 61 | 95 | 93 | 98 | 78 | 65 | 6 | 757 | 63.1 | |
| | 性別 | 男性 | 4 | 25 | 37 | 65 | 60 | 32 | 52 | 57 | 60 | 44 | 27 | 4 | 467 | 38.9 |
| | | 女性 | 6 | 4 | 13 | 17 | 30 | 29 | 43 | 36 | 38 | 34 | 38 | 2 | 290 | 24.2 |
| 効果測定 コース | 受診者数 | 14 | 11 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26 | 2.2 | |
| | 性別 | 男性 | 6 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0.9 |
| | | 女性 | 8 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 1.3 |

受診者数の年次別推移は表 2 のごとくで、男性ではここ 10 年間ほぼ横ばい状態が続いている。女性では平成 11 年度に若干の増加がみられたものの、その後は横ばい状態が続いている。また、受診者数の推移を年齢別にみると、男女とも 10 代から 80 代までの幅広い年齢層に利用されている。今後は一次予防を積極的に行うためにも 40・50 代だけではなく、20・30 代の受診者増が望まれる。

表 2 平成 10 年度から平成 19 年度の年度別・年齢階別受診状況

(単位：人)

| 性別 | 年度 年齢階級 | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 |
|----|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 10代 | 36 | 15 | 24 | 48 | 24 | 42 | 53 | 62 | 57 | 49 |
| | 20代 | 160 | 160 | 142 | 115 | 123 | 109 | 82 | 65 | 60 | 69 |
| | 30代 | 394 | 372 | 353 | 340 | 357 | 367 | 376 | 370 | 359 | 333 |
| | 40代 | 622 | 693 | 629 | 552 | 586 | 546 | 588 | 553 | 530 | 517 |
| | 50代 | 311 | 453 | 392 | 395 | 417 | 425 | 481 | 481 | 517 | 538 |
| | 60代 | 129 | 112 | 103 | 125 | 134 | 122 | 117 | 116 | 123 | 119 |
| | 70代～ | 59 | 46 | 43 | 42 | 47 | 49 | 49 | 43 | 60 | 43 |
| | 計 | 1,711 | 1,851 | 1,686 | 1,617 | 1,688 | 1,660 | 1,746 | 1,690 | 1,706 | 1,668 |
| 女性 | 10代 | 24 | 7 | 30 | 29 | 15 | 41 | 27 | 42 | 19 | 18 |
| | 20代 | 137 | 155 | 111 | 98 | 123 | 96 | 69 | 64 | 55 | 53 |
| | 30代 | 258 | 244 | 216 | 195 | 234 | 197 | 188 | 173 | 162 | 185 |
| | 40代 | 359 | 492 | 369 | 329 | 325 | 323 | 311 | 284 | 301 | 310 |
| | 50代 | 215 | 441 | 222 | 269 | 284 | 286 | 311 | 290 | 304 | 312 |
| | 60代 | 124 | 62 | 49 | 85 | 87 | 67 | 77 | 81 | 60 | 69 |
| | 70代～ | 23 | 8 | 15 | 18 | 29 | 14 | 14 | 5 | 17 | 9 |
| | 計 | 1,140 | 1,409 | 1,012 | 1,023 | 1,097 | 1,024 | 997 | 939 | 918 | 956 |

平成 19 年度の受診者の内訳を受診回数別にみると、図 1 の如くで、初回受診者は 586 名（男性 283 名、女性 303 名）であり、全体の 22.3%であった。2 回以上の受診者は 2,038 名（男性 1,385 名、女性 653 名）で全体の 77.7%を占めており、なかでも 10 回以上の受診者は 745 名（男性 540 名、女性 205 名）と長期にわたる継続受診者が全体の 28.4%と多数みられた。

平成 20 年度より内臓脂肪蓄積に着目した健診・保健指導が義務づけられ、一次予防が重要視されてきている。今後、健康増進事業を推進するために、幅広い年齢層に関心を持っていただけるような健康教室を開催したり、継続して受診していない者については再受診の呼びかけを行うなど啓発活動をさらに積極的に行っていききたい。また、受診者の生活習慣改善のために具体的な行動変容に結びつけられるよう今までの個別支援、グループ支援などのノウハウを踏まえながら、より効果的な支援を目指していききたい。

受診者数(人)

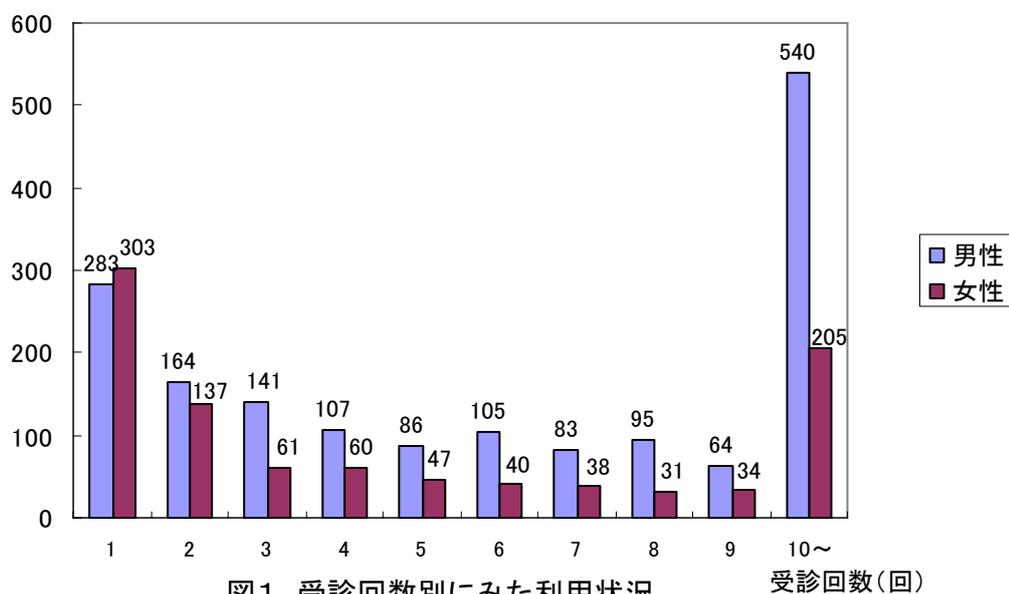


図 1 受診回数別にみた利用状況

5 糖尿病予防対策事業

平成10年8月から、広島市を經由した厚生省の補助を受けて、糖尿病発症リスクの高い人に対して、糖尿病の発症予防を目的として、個々に応じた栄養指導・運動指導などの糖尿病予防教育を実施している。

検査項目は表1、平成10年度から平成19年度の実施状況は表2のとおりである。

表1 検査項目

| 項目 | 栄養・運動指導 | 6ヵ月後検診 | 1年後検診 |
|----------------------|---------|--------|-------|
| 医師によるガイダンス | ○ | ○ | ○ |
| 血糖測定 | ○ | ○* | |
| HbA _{1c} 測定 | ○ | ○* | |
| 血圧測定 | ○ | | |
| 身体計測 | ○ | | |
| 眼底検査 | ○ | | ○* |
| 尿検査 | | ○* | |
| ブドウ糖負荷試験 | | | ○* |
| 指導(栄養、運動、総合) | ○ | ○ | ○ |
| 運動負荷テスト | ☆ | | |

☆ オプション

* 基本健康診査などのデータがある場合、省略可

[栄養・運動指導] 血糖やHbA_{1c}などの血液検査とともに、糖尿病にならないための食事や運動についてアドバイス

[6ヵ月後検診] 健康的な生活習慣が身についているかチェックする。

[1年後検診] バランスのとれた食事や適度な運動の実践によってどのくらい効果があらわれたか調べる。

表2 年度別実施状況

(単位：件)

| 年度 | 栄養・運動指導 | 6ヵ月後検診 | 1年後検診 | 合計 |
|------|---------|--------|-------|-----|
| 平成10 | 119 | 2 | — | 121 |
| 11 | 161 | 92 | 34 | 287 |
| 12 | 126 | 61 | 86 | 273 |
| 13 | 205 | 89 | 52 | 346 |
| 14 | 202 | 93 | 121 | 416 |
| 15 | 171 | 70 | 168 | 409 |
| 16 | 151 | 57 | 141 | 349 |
| 17 | 118 | 183 | 176 | 477 |
| 18 | 111 | 321 | 135 | 567 |
| 19 | 142 | 42 | 332 | 516 |

糖尿病予防コースでは医療機関などで糖尿病になりやすい(IGT, 糖尿病予備軍)と判定された方を対象に、糖尿病にならないための食事や運動について指導し、6ヵ月後、健康的な生活習慣が身についているか、1年後、どのくらい効果が現れたかをチェックする。事業開始以来の登録者数は1,590人(平成20年3月末現在)でこのうち平成19年度の新規登録者数は142人である。糖尿病予防コースの平成19年度実施状況は表3のとおりである。

表3 平成19年度年齢別・性別・コース別実施状況

(単位：人)

| 年齢 (歳) | 運動・栄養指導 | | | 6ヵ月後検診 | | | 1年後検診 | | | 合計 | | |
|-----------|---------|----|-----|--------|----|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 | 男性 | 女性 | 計 |
| ～49 | 4 | 3 | 7 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 7 | 4 | 11 |
| 50～59 | 1 | 17 | 18 | 0 | 4 | 4 | 5 | 15 | 20 | 6 | 36 | 42 |
| 60～69 | 29 | 36 | 65 | 6 | 13 | 19 | 60 | 101 | 161 | 95 | 150 | 245 |
| 70～ | 29 | 23 | 52 | 12 | 6 | 18 | 82 | 66 | 148 | 123 | 95 | 218 |
| 合計 | 63 | 79 | 142 | 19 | 23 | 42 | 149 | 183 | 332 | 231 | 285 | 516 |

【糖尿病予防教室について】

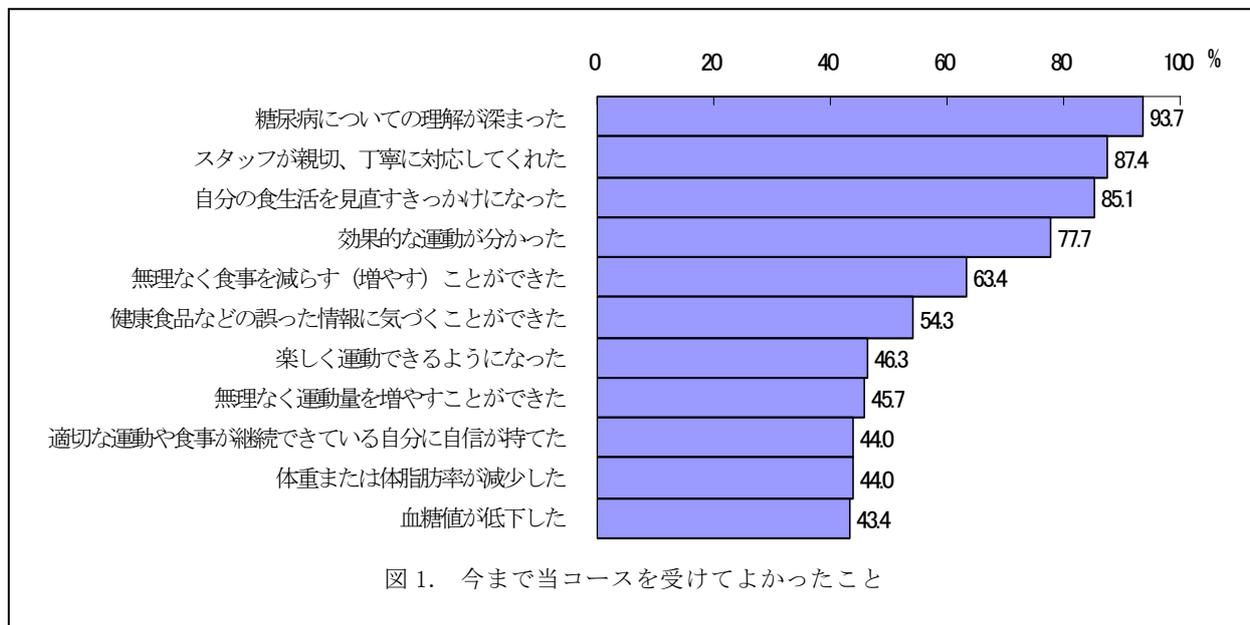
1998年8月から国と広島市の助成によりスタートした糖尿病予防事業は今年で10年を迎え、登録者数1,590人、延べ3,761人が利用した。医学・運動・栄養の具体的な個別支援により改善された生活習慣を維持・継続し、さらに意欲的に予防に取り組めるようにと、2年前から集団形式の糖尿病予防教室を開催し、毎年大変好評を得ている。しかし、国の法律改正に伴い、平成19年度をもって、広島市の助成が廃止されることとなった。

そこで、糖尿病予防コースのシステム変更のお知らせと糖尿病予防教室のご案内を送付したところ、申し込みが殺到し、30人の定員で6回計176名と予定の2倍以上の参加を得た。教室では、糖尿病予防に効果的な運動を楽しく行ったり、クイズ形式で糖尿病や食生活の知識を深めたりと、現在の生活習慣を振り返り少しでもよい生活習慣が身につくよう講義や実技を行った。参加者からはこれからも前向きに糖尿病予防に取り組んでいこうという姿勢が伺えた。

今まで当コースを受けてよかったことについてのアンケートでは、図1のとおり行動変容を促すことができているという結果が出ており、4割もの参加者が効果を実感している。

表4 糖尿病予防教室の内容

| | 日付・人数 | テーマ | 担当者 |
|-----|---------------|----------------------|-------|
| 第1回 | 3月4日 (火) 29名 | ★ これだけは知っておきたい検査値の見方 | 医師 |
| 第2回 | 3月6日 (木) 28名 | ★ 上手な血糖コントロール | |
| 第3回 | 3月10日 (月) 29名 | ★ 食べ方の間違い発見 | 管理栄養士 |
| 第4回 | 3月12日 (水) 30名 | ★ 健康食品の落とし穴 | |
| 第5回 | 3月17日 (月) 30名 | ★ 健康寿命を延ばす体操 | 運動指導士 |
| 第6回 | 3月19日 (水) 30名 | | |



6 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子供から高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

(1) 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子供から大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

ア 年間利用者数 48,539 人

平成19年度 健康科学館利用状況

(単位:人)

| 区 分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 観覧者数 | 3,161 | 3,422 | 5,468 | 4,984 | 6,320 | 4,828 | 4,234 | 3,540 | 2,140 | 2,667 | 3,473 | 4,302 | 48,539 |
| 大人 (人) | 1,659 | 1,857 | 3,076 | 2,572 | 2,817 | 2,389 | 2,261 | 1,708 | 1,263 | 1,461 | 1,928 | 2,211 | 25,202 |
| 小人 (人) | 476 | 472 | 1,031 | 799 | 1,493 | 767 | 890 | 699 | 197 | 305 | 256 | 572 | 7,957 |
| 幼児 (人) | 1,026 | 1,093 | 1,361 | 1,613 | 2,010 | 1,672 | 1,083 | 1,133 | 680 | 901 | 1,289 | 1,519 | 15,380 |
| トータルヘルシアター (人) | 197 | 444 | 821 | 935 | 1,175 | 619 | 304 | 594 | 381 | 401 | 580 | 481 | 6,932 |
| 上映回数 (回) | 96 | 85 | 87 | 73 | 100 | 90 | 72 | 84 | 81 | 87 | 92 | 94 | 1,041 |
| 研修会議室 (人) | 559 | 1,080 | 1,926 | 2,220 | 3,362 | 1,359 | 1,463 | 1,039 | 442 | 368 | 782 | 800 | 15,400 |
| 研修会 (回) | 7 | 12 | 14 | 5 | 0 | 6 | 11 | 10 | 57 | 5 | 6 | 10 | 143 |
| オリエンテーション (回) | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ビデオ上映 (回) | 1 | 3 | 8 | 1 | 0 | 10 | 20 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 |
| その他 (回) | 0 | 0 | 1 | 15 | 23 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 健康イブリー (人) | 42 | 47 | 74 | 54 | 29 | 56 | 21 | 43 | 34 | 41 | 23 | 31 | 495 |
| つどいの広場 (人) | 1,657 | 1,643 | 2,131 | 2,372 | 2,594 | 2,417 | 1,861 | 1,664 | 1,078 | 1,479 | 1,740 | 1,854 | 22,490 |
| 大人 (人) | 809 | 809 | 1,073 | 1,207 | 1,235 | 1,152 | 902 | 815 | 526 | 725 | 830 | 890 | 10,973 |
| 幼児 (人) | 848 | 834 | 1,058 | 1,165 | 1,359 | 1,265 | 959 | 849 | 552 | 754 | 910 | 964 | 11,517 |

※利用者数はそれぞれの機能ごとの利用者であり、館全体の利用者である観覧者数とは一致しない。

イ 企画展の開催 年 4 回

企画展の観覧者数

| 名 称 | 期 間 | 日数 | 観覧者数(人) | | | |
|--------------------|-----------------|-------|---------|-------|--------|--------|
| | | | 大人 | 小人 | 幼児 | 合計 |
| お菓子のおいしい物語 | 平成19年3月1日～6月30日 | ※1 75 | 3,813 | 1,963 | 3,480 | 9,256 |
| 遊ぼう！試そう！スポーツ・フィールド | 7月13日～10月28日 | 89 | 4,862 | 3,841 | 5,787 | 14,490 |
| 心を育む絵本の世界 | 11月1日～2月24日 | 88 | 3,113 | 1,389 | 3,641 | 8,143 |
| 食卓へのメッセージ | 平成20年3月1日～6月29日 | ※2 26 | 1,302 | 570 | 1,519 | 3,391 |
| 合 計 | | 278 | 13,090 | 7,763 | 14,427 | 35,280 |

※1 開催期間はH19.3.1～6.30であるが、年度計とするためH19.4.1～6.30の集計となっている。

※2 開催期間はH20.3.1～6.30であるが、年度計とするためH20.3.1～3.31の集計となっている。

※3 つどいの広場のみ及びライブラリーのみ入館者は除いている。

ウ パネル展 年 12 回

(2) 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

(3) 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会 (年 34 回) 参加者 1,096 人
- ・パパとママの育児教室 (年 34 回) 参加者 2,231 人
- ・他の関係機関との共催による研修会 (年 26 回) 参加者 2,795 人

(4) ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成事業 (年2回)
- ・ボランティアの活動事業 (年400回)

(5) 広報活動（TV・ラジオ取材等） 開催数 38回

(6) 展示物・資料等貸出 17回

(7) ファミリーサポートセンター事業

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

ア 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 1,416人（提供会員：894人 依頼会員：416人 両方会員106人）

【H20.3.31現在】

イ 援助活動の調整

マッチング件数 834件 【H19.4.1～H20.3.31】

ウ 提供会員講習会（援助活動に必要な知識の普及）（年2回 6月、2月）

エ 会員同士の交流（全体交流会 2回）

（各区交流会 8回）

【中・南、東・西、西・佐伯、佐伯、安佐南2回、安佐北区、安芸区・東区】

オ 機関誌の発行 1回

(8) つどいの広場事業

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

ア 常設のつどいの場の提供

イ 子育てに関する相談援助

ウ 子育て関連情報の提供

エ 子育て等に関する講習会の開催

利用者数 22,490人（大人10,973人 幼児11,517人）【H19.4.1～H20.3.31】

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（平成19年度は、8回にわたり13名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

(2) 来日原爆被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被曝者への援助を引き続き行った。

平成19年度実績 (単位：人)

| 国 別 | 健康診断 受診者数 | 相談者数（延べ） |
|-----|--------------|----------|
| 米 国 | 13 | 1 |
| 韓 国 | 0 | 0 |
| その他 | 6 | 0 |
| 計 | 19 | 1 |

8 平成19年研究業績

(1) 学会発表

第4回 広島県放射線技師会消化管撮影研究会(1月27日、福山市)

- ・田村隆行：陥凹性病変について

広島県 64CLUB(CT研究会)(2月28日、広島市)

- ・横町和志：64列CTの心臓領域における現状と課題

第71回 日本循環器学会学術集会(3月16日、神戸市)

- ・井上典子、佐々木英夫：Does Postprandial Hyperglycemia Accelerate arteriosclerosis?

第50回 日本糖尿病学会年次学術集会(5月24日—26日、仙台市)

- ・吉良さくらこ、原田寿子、前田亮、平田久美子、佐々木英夫、伊藤千賀子：膵がん死亡における糖尿病の意義
- ・入江三枝子、源内徳子、吉良さくらこ、村上文代、伊藤千賀子、佐々木英夫：メタボリックシンドロームの予防に効果的な運動量
- ・源内徳子、堀川知恵、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、伊藤千賀子、佐々木英夫：メタボリックシンドローム(MS)に及ぼす食生活因子の検討

第15回 日本乳癌学会(6月29日、横浜市)

- ・吉川健：読影カンファレンスを通じた検診精度向上への検討

第15回 日本乳癌学会(6月30日、横浜市)

- ・田村隆行：低コストでの乳房MRI検査の導入—簡便安価なコイルホルダーによる取組み—

平成19年度 全国健康増進施設研究会(10月13日、福岡市)

- ・源内徳子、真鍋知恵、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、佐々木英夫：メタボリックシンドローム(MS)に及ぼす食生活因子の検討

The 25th anniversary congress of International Psychogeriatric Association(14 October, Osaka)

- ・Michiko Yamada, Yasuyo Mimori, Hideo Sasaki : Grip strength and incidence of dementia in a Japanese population

第45回 日本消化器がん検診学会大会(10月18日—21日、神戸市)

- ・佐々木敦紀：当センターにおける被爆者大腸がん検診15年の成績

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第45回総会(10月19日—20日、松山市)

- ・吉良さくらこ、源内徳子、入江三枝子、原田寿子、前田亮、佐々木英夫、伊藤千賀子：広島市における糖尿病第一次予防プログラム—3年間の介入実績—
- ・入江三枝子、真鍋知恵、源内徳子、片山美和子、吉良さくらこ、村上文代、佐々木英夫、伊藤千賀子：糖尿病の家族歴および生活習慣病からみた空腹時血糖値(FPG)の比較
- ・源内徳子、真鍋知恵、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、佐々木英夫、伊藤千賀子：メタボリックシンドローム予備軍に対する食事指導の検討

第18回日本臨床スポーツ医学会学術集会(11月4日、広島市)

- ・佐々木英夫、大成浄志：アスリートのドーピングに関する意識2

The 5th international congress on vascular dementia(8-11 November, Budapest, Hungary)

- ・Michiko Yamada, Yasuyo Mimori, Fumiyoshi Kasagi, Hideo Sasaki : Incidence and risk of dementia in Japanese women : The Adult Health Study

(2) 講演会

糖尿病予防教室(広島市西区保健センター)(1月17日、広島市)

- ・吉良さくらこ：後悔しない！糖尿病予防術

広島県放射線技師会消化器撮影研究会(1月19日、広島市)

- ・田村隆行：症例検討、逐年検診症例から学ぶ胃X線撮影のポイント

生活習慣改善教室(広島市職員対象)(1月29日—30日、広島市)

- ・入江三枝子：ここが知りたい「メタボリックシンドローム」と効果的なウォーキング

西区健康講座(2月8日、広島市)

- ・佐々木英夫：生活習慣病の落とし穴—体を動かして内臓脂肪を減らそう—

平成18年度広島県栄養士会第一支部研修会(3月10日、広島市)

- ・佐々木英夫：医療制度改革とこれからの健診・保健指導について

県ジュニア合宿(中高校生)での講習会(2月24日、広島市)

- ・源内徳子：中・高校生のためのスポーツ栄養～何をどれくらい食べたらいいの?!～

栄養士会研修会(3月10日、広島市)

- ・源内徳子：医療制度改革とこれからの健診・保健指導について

第71回 日本循環器病学会総会・学術集会(3月17日、神戸市)

- ・佐々木英夫：予防医学(セッション座長)

中国電力研修会(5月14日)

- ・佐々木英夫：ドーピングコントロールの現状と注意点

糖尿病予防セミナー(広島市安佐北保健センター)(5月17日、広島市)

- ・吉良さくらこ：基礎講座 増えています!糖尿病

ヘルスサポーター養成講座(6月1日)

- ・佐々木英夫：生活習慣病の基礎知識

福山MR勉強会(6月8日、福山市)

- ・田村隆行：頭部MRAを科学する

ヘルスサポーター養成講座(6月29日、広島市)

- ・入江三枝子：生活習慣病予防の基礎知識(運動)

糖尿病予防教室(広島市西区保健センター)(7月4日、広島市)

- ・吉良さくらこ：よくわかる糖尿病のはなし

第8回日本呼吸器学会中国四国支部「肺の日」記念市民公開講座(7月7日、広島市)

- ・佐々木英夫：肺の健診

日本放射線技術学会MRセミナー(11月3日—4日、広島市)

- ・田村隆行：MR信号と共鳴周波数

T_1 、 T_2 値の測定

糖尿病予防セミナー(広島市安佐北保健センター)(11月8日、広島市)

- ・吉良さくらこ：基礎講座 増えています!糖尿病

(3) 論文

- ・佐々木英夫：広島県体育協会スポーツ医学委員会編. ジュニア選手の健康管理マニュアル—指導者向け. 広島県体育協会、2007
- ・佐々木英夫：編集後記. 広島陸上競技研究 10 : 16, 2007
- ・佐々木英夫：スポーツ医・科学委員会の活動. 広島県体育協会スポーツ年鑑, 2007
- ・Hideo Sasaki, Fumiyoshi Kasagi, Michiko Yamada, Shoichiro Fujita : Grip strength predicts cause-specific mortality in middle-aged and elderly persons. Am J Medicine 120, 337-342, 2007
- ・車谷洋、村上恒二、佐々木英夫. 路面状態の違いが下腿筋活動に与える影響. 日本臨床スポーツ医学会誌 15(1), 96-101, 2007
- ・源内徳子：スポーツと食事 メタボリックシンドローム予防のための食生活. ウイング, Vol.47:13, (財)広島市スポーツ協会, 2007.1.
- ・源内徳子：スポーツと食事 いつまでも若々しく・・・食事と脳とからだを活性化!! . ウイング, Vol.48:13, (財)広島市スポーツ協会, 2007.3.

- ・源内徳子：スポーツと食事 夏バテを解消する食事のポイント. ウイング, Vol. 49:13, (財)広島市スポーツ協会, 2007.6.
- ・源内徳子：食事療法—メタボリックシンドロームの食事療法は?—. 肥満と糖尿病, Vol.6:No.6:916—917, 2007.
- ・入江三枝子：疾病予防の立場から—メタボリックシンドロームに効果的な運動—. 日本体質医学会雑誌 Vol.69:No.1:93—97, 2007.

Ⅶ 資 料

1 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

| 年 度 | 事 業 名 | 事業費総額 | 配分金額 |
|-------------|--|---------------|-------------|
| 昭和 34 35 | 原爆被爆者福祉センター本館建設 | 55,844,000 | 52,300,000 |
| 38 | 健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置 | 27,379,000 | 16,850,000 |
| 41 | 原爆被爆者福祉センター増築 | 92,100,000 | 41,000,000 |
| 43 | テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置 | 30,490,000 | 20,000,000 |
| 45 | 原爆被爆者福祉センター増改築 | 56,548,000 | 25,000,000 |
| 47 | ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置 | 59,000,000 | 29,000,000 |
| 49 | コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置 | 39,828,000 | 24,000,000 |
| 51 | 胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置 | 43,900,000 | 23,000,000 |
| 53 | X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備 | 37,600,000 | 23,000,000 |
| 55 | 自動血球分類装置(diff-3) | 50,000,000 | 28,000,000 |
| 57 | コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入 | 42,800,000 | 28,000,000 |
| 59 | コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 | 42,920,000 | 30,000,000 |
| 61 | コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備 | 76,000,000 | 40,000,000 |
| 63 | コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備 | 156,000,000 | 70,000,000 |
| 平成 2 | 超電導 MRI 装置設置 | 83,430,000 | 50,000,000 |
| 4 | コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新) | 78,000,000 | 46,000,000 |
| 6 | コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置 | 134,000,000 | 67,000,000 |
| 8 | CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ | 92,000,000 | 36,000,000 |
| 10 | コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム | 73,500,000 | 25,725,000 |
| 12 | MRI 装置(更新) | 144,375,000 | 10,000,000 |
| 14 | 自動血球計算装置(更新) | 21,315,000 | 7,460,000 |
| 16 | 全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新) | 33,180,000 | 10,000,000 |
| 18 | 全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新) | 27,615,000 | 2,060,000 |
| 合 計 | | 1,498,054,000 | 704,395,000 |

2 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

| 年 度 | 事 業 名 | 事業費総額 | 補 助 金 |
|-------|---|-------------|-------------|
| 昭和 41 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備 | 46,885,000 | 29,150,000 |
| 42 | 原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備 | 5,565,000 | 2,550,000 |
| 43 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事 | 15,401,000 | 5,430,000 |
| 平成元 | 原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置 | 74,469,000 | 37,234,500 |
| 3 | 原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置 | 29,272,000 | 14,636,000 |
| 5 | 原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置 | 65,000,000 | 32,500,000 |
| 7 | 原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置 | 36,000,000 | 14,420,000 |
| 9 | 原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置 | 24,675,000 | 6,825,000 |
| 11 | 原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム) | 32,025,000 | 14,700,000 |
| 13 | 原爆症診療機器の整備 超音波診断装置 | 16,695,000 | 8,242,000 |
| 合 計 | | 345,987,000 | 165,687,500 |

3 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

| 年 度 | 事 業 名 | 事業費総額 | 補 助 金 |
|-------|--|-------------|------------|
| 昭和 53 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事 | 22,550,000 | 7,560,000 |
| 62 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等 | 21,390,000 | 14,260,000 |
| 平成 4 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等 | 45,629,000 | 29,520,000 |
| 9 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事 | 36,236,500 | 15,300,000 |
| 10 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事 | 20,454,000 | 10,220,000 |
| 19 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事 | 15,855,000 | 7,920,000 |
| 合 計 | | 162,114,500 | 84,780,000 |

4 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

| 年 度 | 事 業 名 | 事業費総額 | 補 助 金 |
|-------|--|-------------------------|------------------------|
| 昭和 41 | 被爆者援護福祉事業 | 2,906,964 | 800,000 |
| 42 | 被爆者援護福祉事業 | 1,998,945 | 800,000 |
| 43 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事 | 2,900,650 15,401,000 | 800,000 3,000,000 |
| 44 | 被爆者援護福祉事業 | 2,957,580 | 800,000 |
| 45 | 被爆者援護福祉事業 | 3,010,450 | 800,000 |
| 46 | 被爆者援護福祉事業 | 2,753,710 | 800,000 |
| 47 | 被爆者援護福祉事業 | 3,209,700 | 800,000 |
| 48 | 被爆者援護福祉事業 | 4,227,500 | 1,300,000 |
| 49 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事 | 4,028,242 6,350,000 | 1,500,000 3,000,000 |
| 50 | 被爆者援護福祉事業 | 5,568,000 | 1,500,000 |
| 51 | 被爆者援護福祉事業 | 5,260,000 | 1,500,000 |
| 52 | 被爆者援護福祉事業 | 5,372,000 | 1,500,000 |
| 53 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等 | 6,188,000 22,550,000 | 1,500,000 6,000,000 |
| 54 | 被爆者援護福祉事業 | 6,494,000 | 1,500,000 |
| 55 | 被爆者援護福祉事業 | 6,335,000 | 1,500,000 |
| 56 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等 | 6,447,000 15,100,000 | 1,500,000 6,040,000 |
| 57 | 被爆者援護福祉事業 | 5,660,000 | 1,500,000 |
| 58 | 被爆者援護福祉事業 | 6,011,000 | 1,500,000 |
| 59 | 被爆者援護福祉事業 | 5,467,000 | 1,500,000 |
| 60 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等 | 5,541,000 13,400,000 | 1,500,000 4,280,000 |
| 61 | 被爆者援護福祉事業 | 5,511,000 | 1,500,000 |
| 62 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等 | 6,145,000 21,390,000 | 1,500,000 2,852,000 |
| 63 | 被爆者援護福祉事業 | 6,230,000 | 1,500,000 |
| 平成元 | 被爆者援護福祉事業 | 6,473,000 | 1,500,000 |
| 2 | 被爆者援護福祉事業 | 6,621,000 | 1,500,000 |
| 3 | 被爆者援護福祉事業 | 6,775,000 | 1,500,000 |
| 4 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等 | 6,914,000 45,629,000 | 1,500,000 6,442,000 |
| 5 | 被爆者援護福祉事業 | 6,043,000 | 1,500,000 |
| 6 | 被爆者援護福祉事業 | 4,364,000 | 1,500,000 |
| 7 | 被爆者援護福祉事業 | 4,717,780 | 1,500,000 |
| 8 | 被爆者援護福祉事業 | 4,571,000 | 1,500,000 |
| 9 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等 | 4,637,000 36,236,500 | 1,500,000 7,800,000 |
| 10 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等 | 4,771,000 20,454,000 | 1,366,000 4,093,000 |
| 11 | 被爆者援護福祉事業 | 4,026,000 | 1,146,000 |
| 12 | 被爆者援護福祉事業 | 3,587,000 | 1,123,000 |
| 13 | 被爆者援護福祉事業 | 2,023,000 | 694,000 |
| 14 | 被爆者援護福祉事業 原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等 | 2,272,000 15,823,500 | 951,000 5,279,000 |
| 15 | 被爆者援護福祉事業 | 2,612,000 | 1,148,000 |
| 16 | 被爆者援護福祉事業 | 3,099,000 | 1,033,000 |
| 19 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事 | 15,855,000 | 2,156,000 |
| | 合 計 | 411,917,521 | 101,303,000 |

5 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

| 年 度 | 事 業 名 | 事業費総額 | 補 助 金 |
|-------|---------------------------|-------------|-------------|
| 昭和 41 | 被爆者援護福祉事業 | 2,903,964 | 1,500,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事 | 46,885,000 | 9,727,000 |
| 42 | 被爆者援護福祉事業 | 1,998,945 | 1,000,000 |
| 43 | 被爆者援護福祉事業 | 2,900,650 | 1,000,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事 | 15,401,000 | 3,000,000 |
| 44 | 被爆者援護福祉事業 | 2,957,580 | 1,000,000 |
| 45 | 被爆者援護福祉事業 | 3,010,450 | 1,000,000 |
| 46 | 被爆者援護福祉事業 | 2,753,710 | 1,000,000 |
| 47 | 被爆者援護福祉事業 | 3,209,700 | 1,000,000 |
| 48 | 被爆者援護福祉事業 | 4,227,500 | 1,500,000 |
| 49 | 被爆者援護福祉事業 | 4,028,242 | 1,500,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事 | 6,350,000 | 3,000,000 |
| 50 | 被爆者援護福祉事業 | 5,568,000 | 1,700,000 |
| 51 | 被爆者援護福祉事業 | 5,260,000 | 1,700,000 |
| 52 | 被爆者援護福祉事業 | 5,372,000 | 1,700,000 |
| 53 | 被爆者援護福祉事業 | 6,188,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等 | 22,550,000 | 6,000,000 |
| 54 | 被爆者援護福祉事業 | 6,494,000 | 1,700,000 |
| 55 | 被爆者援護福祉事業 | 6,335,000 | 1,700,000 |
| 56 | 被爆者援護福祉事業 | 6,447,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等 | 15,100,000 | 6,040,000 |
| 57 | 被爆者援護福祉事業 | 5,660,000 | 1,700,000 |
| 58 | 被爆者援護福祉事業 | 6,011,000 | 1,700,000 |
| 59 | 被爆者援護福祉事業 | 5,467,000 | 1,700,000 |
| 60 | 被爆者援護福祉事業 | 5,541,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等 | 13,400,000 | 4,280,000 |
| 61 | 被爆者援護福祉事業 | 5,511,000 | 1,700,000 |
| 62 | 被爆者援護福祉事業 | 6,145,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等 | 21,390,000 | 2,852,000 |
| 63 | 被爆者援護福祉事業 | 6,230,000 | 1,700,000 |
| 平成元 | 被爆者援護福祉事業 | 6,473,000 | 1,700,000 |
| 2 | 被爆者援護福祉事業 | 6,621,000 | 1,700,000 |
| 3 | 被爆者援護福祉事業 | 6,775,000 | 1,700,000 |
| 4 | 被爆者援護福祉事業 | 6,914,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等 | 45,629,000 | 6,442,000 |
| 5 | 被爆者援護福祉事業 | 6,043,000 | 1,700,000 |
| 6 | 被爆者援護福祉事業 | 4,364,000 | 1,700,000 |
| 7 | 被爆者援護福祉事業 | 4,717,780 | 1,700,000 |
| 8 | 被爆者援護福祉事業 | 4,571,000 | 1,700,000 |
| 9 | 被爆者援護福祉事業 | 4,637,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等 | 36,236,500 | 7,800,000 |
| 10 | 被爆者援護福祉事業 | 4,771,000 | 1,700,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等 | 20,454,000 | 4,093,000 |
| 11 | 被爆者援護福祉事業 | 4,026,000 | 1,530,000 |
| 12 | 被爆者援護福祉事業 | 3,587,000 | 1,530,000 |
| 13 | 被爆者援護福祉事業 | 2,023,000 | 1,329,000 |
| 14 | 被爆者援護福祉事業 | 2,272,000 | 1,300,000 |
| | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等 | 15,823,500 | 5,279,000 |
| 15 | 被爆者援護福祉事業 | 2,612,000 | 1,300,000 |
| 16 | 被爆者援護福祉事業 | 3,099,000 | 715,520 |
| 19 | 原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事 | 15,855,000 | 2,156,000 |
| 合 計 | | 458,799,521 | 119,673,520 |

6 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位:円)

| 年 度 | 日本高等学校教職員組合 | 個人・その他の団体 | 合 計 |
|-------|-------------|------------|------------|
| 昭和 38 | 30,000 | 180,638 | 210,638 |
| 39 | 37,298 | 158,881 | 196,179 |
| 40 | - | 485,027 | 485,027 |
| 41 | 30,000 | 385,603 | 415,603 |
| 42 | - | 503,278 | 503,278 |
| 43 | 97,075 | 354,883 | 451,958 |
| 44 | 72,916 | 556,012 | 628,928 |
| 45 | 276,389 | 220,175 | 496,564 |
| 46 | 176,664 | 435,108 | 611,772 |
| 47 | 475,358 | 533,674 | 1,009,032 |
| 48 | 630,433 | 358,972 | 989,405 |
| 49 | 876,166 | 432,000 | 1,308,166 |
| 50 | 1,008,761 | 450,982 | 1,459,743 |
| 51 | 1,091,674 | 290,000 | 1,381,674 |
| 52 | 1,212,000 | 235,500 | 1,447,500 |
| 53 | 1,224,093 | 943,000 | 2,167,093 |
| 54 | 1,464,294 | 150,000 | 1,614,294 |
| 55 | 1,444,053 | 380,000 | 1,824,053 |
| 56 | 1,316,185 | 85,000 | 1,401,185 |
| 57 | 1,514,511 | 580,070 | 2,094,581 |
| 58 | 1,583,894 | 308,000 | 1,891,894 |
| 59 | 1,532,635 | 342,000 | 1,874,635 |
| 60 | 1,505,193 | 103,000 | 1,608,193 |
| 61 | 1,468,864 | 1,710,500 | 3,179,364 |
| 62 | 1,496,799 | 88,400 | 1,585,199 |
| 63 | 1,514,795 | 63,755 | 1,578,550 |
| 平成元 | 1,574,770 | 305,000 | 1,879,770 |
| 2 | 1,501,600 | 415,000 | 1,916,600 |
| 3 | 1,586,500 | 5,000 | 1,591,500 |
| 4 | 1,617,000 | 0 | 1,617,000 |
| 5 | 1,487,000 | 0 | 1,487,000 |
| 6 | 1,425,000 | 510,000 | 1,935,000 |
| 7 | 1,480,000 | 0 | 1,480,000 |
| 8 | 1,525,000 | 470,000 | 1,995,000 |
| 9 | 1,400,000 | 1,800,000 | 3,200,000 |
| 10 | 1,435,000 | 0 | 1,435,000 |
| 11 | 1,345,000 | 250,000 | 1,595,000 |
| 12 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 |
| 13 | 1,270,000 | 0 | 1,270,000 |
| 14 | 1,160,000 | 50,000 | 1,210,000 |
| 15 | 1,110,000 | 5,025,000 | 6,135,000 |
| 16 | 970,000 | 0 | 970,000 |
| 17 | 980,000 | 301,033 | 1,281,033 |
| 18 | 930,000 | 0 | 930,000 |
| 19 | 870,000 | 0 | 870,000 |
| 合計 | 47,046,920 | 19,465,491 | 66,512,411 |

7 全国から寄せられた寄付金

(資料6再掲、敬称略)

| 年度 | 合計金額 | 件数 | 寄付者氏名 |
|------|------------|-----|---|
| 昭和29 | 239,486円 | 39件 | 埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攬, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ピカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔 |
| 30 | 419,804円 | 38件 | 池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外 24名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会 |
| 31 | 3,230,819円 | 98件 | 原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨城県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年D組ひらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎彦彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク |
| 32 | 149,684円 | 21件 | 大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン |
| 33 | 293,316円 | 50件 | 日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, |

| 年度 | 合計金額 | 件数 | 寄付者氏名 |
|------|-------------|------|--|
| 昭和33 | | | 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会, 東町連合子供クラブ一同, 川崎市東芝○附工, 段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三, 野口あき, 東京電気大学○○学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・○川○○, 屋代小・中学校・戸倉中学校, 匿名, 広島県○○○・吉本勝・浜田カヨ子, 山田千恵子, 高橋昭博, 杉渕徳治, 山田千恵子, 河野次郎・県教職組合・乃美小学校6年○組, ○尾富美子 |
| 34 | 575,892 円 | 32 件 | 丸本杏男, 山田千恵子, 日本むつみ会, 山田千恵子, 奈良県一〇人, 山田千恵子, 吉岡隆夫, 神戸市親和高校グループ, 日本むつみ会老生, 山田千恵子, 金沢兼之助, 東京福祉協会理事小祝昌弘, 四人の女月光仮面, 一読者, 愛知トマトKK他7社, 日本むつみ会老生, (匿名), 大阪一女性, 匿名者, 田口正治, グレチエン・タットヒル, 古賀和紀, グレチエン・タットヒル, 金光教群馬県西部連合会, 藤村弘, 全日労組合広島地方会議組合員, 篠村つる子, 香川県千羽鶴運動実行委員会, イタリア生, (匿名), 浦辺和美外三名, 徳竹道生外一名 |
| 35 | 78,957 円 | 17 件 | 広島予研支所匿名, 広島予研支所匿名, アーサー・マリー・アイビンダー, 赤松鉄也, 赤松鉄也, 匿名, 篠村つる子, 金子健次郎, 大阪 K.E.氏, 匿名, 匿名, 山田千恵子, 山田千恵子, 森新一, 山田千恵子, 原水爆禁止大川市協議会長古賀清治, 広島県競輪選手会 |
| 36 | 1,935,402 円 | 30 件 | 紺野光吉, 紺野光吉, 日本原水爆被災者救援協会代表富井令子, 石田久子, 山田キク, 関つる, 山蔭貫之, 関つる, 紺野光吉, 日本電装労働組合, ルイス・カヴレル, 匿名, 匿名2名, 全大丸労働組合神戸支部, 全国財務労働組合, 紺野光吉, 原田東岷, 安佐郡長東地区婦人会長原田静枝, 寺本典夫, 佐藤富子, 土井憲策, 山崎君子, 愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同, 石川県立工業高等学校デザイン科有志, 紺野光吉, 原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング, 紺野光吉, 柿原幸二, 小崎芳子, 紺野光吉 |
| 37 | 140,129 円 | 19 件 | 紺野光吉・無名氏, 三次中学校, 三次町本通一子供会, 紺野光吉・匿名, 山田千恵子, 小川亀三, 日〇一社員外三氏匿名, 紺野光吉・m.y., 清水芳郎, 駒込学園一同, 呉造船労組宮原地区家族会, 日本司法書士会連合会総会出席者, 東大教育学部高校一年A組, 板木節夫, 藤田正行, 河原卓一, 安永茂雄, 日下部春一, 岩滝宗雄 |
| 38 | 210,638 円 | 23 件 | 神戸市育英高等学校一年十組, 中村勝弥, 奥田光太郎, 空調タイムス社代表取締役杉本英太郎, 大歳盛明, 志村寛一, ノートルダム清心高等学校三年生一同, 山田千恵子, 山田千恵子, 徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫, 般若太郎外七口, 岡本稔雄・吉田町役場職員組合, 村上春雄, ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団, 日本高等学校教職員組合, 中川シゲノ, 山口親愛教会 S 氏, (匿名), 本間妙海, 匿名, 村上和輝, 日赤東京都支部寄託, 読売新聞社寄託 |
| 39 | 196,179 円 | 18 件 | 読売新聞社寄託2名, 日赤東京都支部寄託, 匿名, 山田千恵子, 中国新聞社会事業団寄託, 政治経済研究会代表番匠朝昭, 日本高等学校教職員組合代表磯本達則, 中国新聞社会事業団寄託, 土手と海外二名, 原水爆禁止門〇市協議会会長東重太郎, 金沢なでしこ会三人, 金光教広島県連合会外二件, 岐阜県立中津高等学校職員二学年一同, 黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同, 福島県石川実務学園長外三ヶ所, 朝日新聞山口支局寄託, 石川県立金沢高等学校二四ホーム一同, 大〇七一 |
| 40 | 485,027 円 | 23 件 | 神戸新聞厚生事業団寄託, 石川県金沢高等学校修学旅行団, パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻, 中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同, ○生製作所労組, 渋谷区代々木善明会教団, 全国自動車産業労働組合連合会東海支部, 山形県16歳学生, 中島マチ, 豊島区 S.K, こばやし, 塚本利光, 大豊〇樹, 尾川昭外七ヶ所, 比和中学校福田部落会生徒, キリンビール労働組合広島工場支部長〇〇永〇〇, 松岡洋子・岡本・玉置せき, 東京電気大学高校普通科二年生一同, 日本大学豊山学園友輪会, 豊橋市時〇〇高校二年一組一同, 豊川地方労働組合, ○田照夫, 石本タケノ |
| 41 | 415,603 円 | 18 件 | 喫茶ガーネット、小池静子外二名, 県内に住む一女性, 三宅千代子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則, 善明会教団東京支部, セント・ジェルジ博士, 右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名, 東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒〇〇〇キリスト〇〇, 大阪市旅行クラブ「浪花会」, 国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージーランド委員会, 吉田達雄, 安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同, 土井憲作, 南千田ヘルスセンター, 山本雅子, 矢沢一民, 旧普通科神〇高等学校一年三組, |
| 42 | 503,278 円 | 21 件 | 川上ナルエ, 堤健一郎, 徳原スミ子, 飯田商店外二者, 杉山博康, 小松修, 神戸外大二部原水禁実行委員会一同, 片山茂樹, 法眼〇外五件, 三次市栗原町婦人会外二件, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円, 読売新聞社寄託, 金洞海, 山形 KO |

| 年度 | 合計金額 | 件数 | 寄付者氏名 |
|----|-------------|------|--|
| 43 | 451,958 円 | 20 件 | 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同、奈良県青龍寺小西妙淳、全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合、フランス人シャンボイゼ、新田修三、関川守彦、下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校 日本高等学校教職員組合、長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武、日本火薬福山工場ダンス同好会一同、本田英郎、日本高等学校教職員組合、大口あさを、金井政吉、姫路市匿名、舟入本町商店街、広島市の者、藤井音次郎、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓、沖一成、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合、東海大学原子力教室、ビクターオート(株)広島営業所、酒井幸四郎、藤井音次郎、藤井音次郎 |
| 44 | 628,928 円 | 23 件 | 香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、藤井音次郎、水木ナツ、藤井音次郎、小島静江、金井政吉、入田律子、舟入本通会、一老人、田中茂、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、桂雄一、徳山市蟻の会代表水木敏郎、鈴川寅二、ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩、鯉城クラブ、藤井音次郎、大園英彦、藤井音次郎、小野広秋 |
| 45 | 496,564 円 | 27 件 | 藤井音次郎、友広和夫、一匿名者、一匿名者、金井政吉、匿名の一少女、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、藤井音次郎、神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志、堀内登久子、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、匿名者、湧井雅晴、小西清、高田和典、法政大学女子高校 1 年 F 組、岩室久一、横光利之、苫小牧西高等学校新聞局、明大附属中野中学校 2 年生、藤井音次郎、一市民、狩野重治、藤井音次郎、岡野チヨノ、八木千代、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一 |
| 46 | 611,772 円 | 19 件 | 藤井音次郎、藤井音次郎、金井政吉、広島市無名氏、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、柴崎英治、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、三重県立紀南高等学校修学旅行団一同、藤井音次郎、今田稔穂、広島木工製材機械協会、森崎律子、藤井音次郎、広島市匿名氏、安佐ボール社長武智義則、広島市無名氏、藤井音次郎、藤井音次郎 |
| 47 | 1,009,032 円 | 20 件 | 山口大学 YMCA 代表者山崎まり子、藤井音次郎、松川宣正、松川宣正、広島市 Y 子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店長小野敏次、広島市無名氏、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、新谷五郎、松坂次男、藤井音次郎、原田東岷、飯田昭二、藤井音次郎、エア・ポートレーン支配人登勝志、広島市民無名氏、福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴、岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良、藤井音次郎 |
| 48 | 989,405 円 | 13 件 | 広島木工製材機械協会会長金子堅一、藤井音次郎、大高美代、岡儀造、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次、原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平、藤井音次郎他、藤井音次郎、岡正造、藤井音次郎、甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹、藤井音次郎 |
| 49 | 1,308,166 円 | 11 件 | 渡辺ツルコ、足門ミドリ、日本高等学校教職員組合、広島市内原爆被爆者、原水爆禁止十日町市協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎、奥野ワカヨ、広島市原爆被爆者、市山律子、上山しのぶ |
| 50 | 1,459,743 円 | 11 件 | 坂本悦治、乙井ミツエ、愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典、広島市民被爆無名者、広島第一劇場代表取締役吉田尚行、広島木工製材機械協会会長金子堅一、西部浩子、日本高等学校教職員組合、関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫、初倉利明、西部浩子 |
| 51 | 1,381,674 円 | 4 件 | 広島鉄道管理局広島工場桂哲雄、河野和夫、日本高等学校教職員組合、長崎正明 |
| 52 | 1,447,500 円 | 7 件 | 大山ミチ子、松上年雄、広島木工製材機械協会、東京の一学生、日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫、清水由紀子、高橋彰温 |
| 53 | 2,167,093 円 | 9 件 | 日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作、浜井澄人、山口能弘、荒木邦男、山田春三、府中農協病院植田繁男、川村法人 |
| 54 | 1,614,294 円 | 2 件 | 日本高等学校教職員組合、東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠 |
| 55 | 1,824,053 円 | 4 件 | 寺岡聖、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、森崎利樹、藤井幸子 |
| 56 | 1,401,185 円 | 4 件 | 高野慶子、山口大学平和キャラバン隊、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、巖利文 |
| 57 | 2,094,581 円 | 5 件 | 日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信、山口大学ユネスコクラブ第 12 回平和キャラバン隊、花田実男、栃木県烏山女子高等学校三年一組一同、大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会 |
| 58 | 1,891,894 円 | 6 件 | 大高美代、京極春子、山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬、日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫 |

| 年度 | 合計金額 | 件数 | 寄付者氏名 |
|-----|-------------|------|--|
| | | | 大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫 |
| 59 | 1,874,635 円 | 9 件 | 全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市 |
| 60 | 1,608,193 円 | 12 件 | 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市 |
| 61 | 3,179,364 円 | 11 件 | 大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦 |
| 62 | 1,585,199 円 | 5 件 | 財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者 |
| 63 | 1,578,550 円 | 6 件 | 森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者 |
| 平成元 | 1,879,770 円 | 5 件 | 藤原雄, 広島木工製材機械協会会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正 |
| 2 | 1,916,600 円 | 5 件 | 柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合 |
| 3 | 1,591,500 円 | 2 件 | 大高美代, 日本高等学校教職員組合 |
| 4 | 1,617,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 5 | 1,487,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 6 | 1,935,000 円 | 4 件 | 日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝 |
| 7 | 1,480,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 8 | 1,995,000 円 | 6 件 | 日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子 |
| 9 | 3,200,000 円 | 5 件 | 日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子 |
| 10 | 1,435,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 11 | 1,595,000 円 | 3 件 | 日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子 |
| 12 | 1,300,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 13 | 1,270,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 14 | 1,210,000 円 | 3 件 | 日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会 |
| 15 | 6,135,000 円 | 3 件 | 日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会 |
| 16 | 970,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 17 | 1,281,033 円 | 3 件 | 日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会 |
| 18 | 930,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |
| 19 | 870,000 円 | 1 件 | 日本高等学校教職員組合 |

8 核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品

(単位：円)

| 年 度 | 寄 贈 物 品 | 評 価 額 |
|-----|------------------------------------|------------|
| 45 | 毛糸編機 6 台、ラジオ 1 台 | 292,000 |
| 46 | カラーテレビ 1 台、長イス 11 脚 | 237,000 |
| 47 | フィルム保管庫 5 台 | 125,000 |
| 49 | フィルム格納庫 9 台 | 251,000 |
| 50 | スロンブエラストグラフ 1 台、毛糸編機 4 台 | 1,750,000 |
| 52 | 顕微鏡 1 台、毛糸編機 3 台 | 442,000 |
| 53 | 胃カメラ 1 台 | 1,210,000 |
| 54 | 気管支ファイバースコープ 1 台 | 1,300,000 |
| 55 | 眼底カメラ 1 式 | 1,385,000 |
| 56 | ガストロファイバースコープ 1 台 | 1,500,000 |
| 57 | ガストロファイバースコープ 1 台 | 1,313,500 |
| 58 | 大腸ファイバースコープ 1 台 | 1,411,000 |
| 59 | 気管支ファイバースコープ 1 台 | 1,115,000 |
| 60 | オートプロジェクター 1 台、内視鏡格納棚 1 台、吸引器 1 台 | 915,000 |
| 61 | ガストロファイバースコープ 1 台 | 1,300,000 |
| 62 | 顕微鏡 2 台 | 1,009,000 |
| 63 | 超音波診断装置備品 | 1,044,000 |
| 平成元 | 顕微鏡 1 台 | 1,510,000 |
| 3 | 全自動身長体重計 | 708,000 |
| 5 | 体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡 1 組、パルスオキシメーター 1 台 | 958,106 |
| 6 | 体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシーン | 826,825 |
| 7 | 造影剤遠隔注排装置一式 | 1,000,000 |
| 8 | 血圧監視装置、視力表照明装置 | 994,980 |
| 9 | 酸化電位水生成機 | 875,000 |
| 10 | ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機 | 907,370 |
| 12 | 自動グルコース測定装置 | 1,500,000 |
| 14 | 上部消化管用スコープ | 1,491,000 |
| 16 | 全自動グルコース測定装置 | 1,250,000 |
| 18 | 内視鏡洗浄器 | 1,249,500 |
| 合 計 | | 29,870,281 |

※ただし、平成 6 年度以降は、核兵器禁止平和建設国民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

9 日本労働組合総連合会広島県連合会

| 年 度 | 寄 贈 物 品 | 評 価 額 |
|-------|----------------------------------|-----------|
| 平成 10 | 気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台 | 2,477,916 |
| 13 | 自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本 | 1,839,915 |
| 15 | 下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台 | 3,200,400 |
| 合 計 | | 7,518,231 |

事業概要 平成 20 年（2008 年）

財団法人 広島原爆障害対策協議会
（略称：広島原対協）

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)
FAX 082-241-0414
URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
